

和歌山県立近代美術館年報

二〇一六(平成28)年度



目 次

刊行にあたって	1
和歌山県立近代美術館の使命	2
沿革	3
展覧会事業	7
普及事業	49
作品貸付	56
調査・研究・発表活動および对外協力活動	58
収集事業	60
図書資料収集	72
保存事業	74
管理運営	75
関係法規・規則・規定等	78
建築概要	84
案内	86

刊行にあたって

2016(平成28)年度の年報を刊行いたします。

和歌山県立近代美術館は、1963(昭和38)年に和歌山城二の丸跡に開館した和歌山県立美術館を前身とし、1970(昭和45)年、近代美術を標榜するわが国5番目の美術館として県民文化会館1階に開館しました。そこで23年間の活動を続けたあと、1994(平成6)年7月、現在の場所に新築移転しました。

開館以来、当館は和歌山県にゆかりのある作家について調査と紹介を続ける一方、「和歌山版画ビエンナーレ」や「関西の美術家シリーズ」など独自の展覧会を通じて、日本国内はもとより海外に向けても、個性的な文化の発信地としての役割を果たしてまいりました。これらは、近代美術の展示・収集活動にとどまらず、今日の多様化する表現に対応し、幅広い美術を紹介する礎となっています。

新館のオープンから20年以上を経過し、前後に開館した公立美術館がいずれも運営に苦心を強いられる状況下で、本年度は特に県の機能強化を受けた大規模展「動き出す！絵画」展を開催することができました。また企画展・常設展においても、それぞれ内容に工夫をこらし、多様な切り口から作品の紹介に取り組みました。展覧会企画の裏付けとなる調査・研究活動は、一方で作品・資料収集の契機ともなり、その充実がまた新しい企画を生み出す好循環が、基本的に保たれてきていています。

教育普及活動においても、教育現場や大学との連携を密に保つことによって、多彩な美術館教育を日常的に提供しました。その結果とりわけ夏期における賑わいが年々見られるようになってきています。

作品・資料の保存・管理、施設の維持・修繕なども概ね行いましたが、収蔵庫の狭隘化と空調をはじめ設備の老朽化は限界に近づいており、大規模改修をにらんでのロードマップ作成は、今後の課題です。

当館の活動は、ご来館くださる方々をはじめ、多くの皆様のご支援とご協力によって成り立っています。ここに心から感謝申し上げるとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎とするため、本年報を刊行いたします。

2018(平成30)年3月

和歌山県立近代美術館

和歌山県立近代美術館の使命

芸術は、私たちに楽しさや深い感動、精神的な安らぎをもたらします。芸術作品に触れることで、人は豊かな人間性を涵養し、未来への創造力を自らのうちに育むことができます。

和歌山県立近代美術館は、展覧会等を通じて人々に国内外の優れた美術文化に接する機会を提供し、地域や学校と連携しながら各種事業を通じて学校教育や生涯学習を支援することをめざします。こうした活動を通じて文化による地域作りを活性化し、文化資源の保全と活用を図り、文化芸術を担う人作りの推進に努めます。

このような目的を実現するため、以下の基本方針をもって臨みます。

1 魅力ある展覧会を開催します。

県民に優れた美術作品を鑑賞する機会を提供するため、魅力的な特別企画展・企画展を開催するとともに、充実した館蔵品コレクションを活用して常設展を開催します。展覧会は次の4つの方針によって開催します。

- ①国内の近現代美術を紹介
- ②海外の多様な美術を紹介
- ③和歌山ゆかりの優れた作家を紹介
- ④現在活躍している若手作家を紹介

2 調査・研究の充実を図り成果の公表と反映に努めます。

美術史等の研究に寄与するため、充実した調査・研究を行い、その成果を展覧会や教育普及活動等に反映させ、印刷物、インターネット等を通して公開します。

3 作品・資料の収集を行います。

美術作品収集方針に沿って作品・資料の収集を行い、県民の文化遺産のさらなる形成に努めます。

4 所蔵作品・資料の状態調査、保存修復、保存環境の整備を行います。

収集した作品・資料を文化財として活用し、文化遺産として未来に伝えるため、状態調査及び保存修復、保存環境の整備に努めます。

5 地域と連携し学校教育や生涯学習を支援します。

地域の学校と連携して、子どもたちが団体鑑賞、体験的プログラムに参加できる環境を整備することによって、また鑑賞教材の作成等を通じて、幅広い学習支援を行います。多様化する県民の関心に応えるため、ワークショップや解説会への参加等を通して生涯学習の支援を行います。またボランティアや友の会との協働を図り、他の県立博物館施設をはじめとする生涯学習施設・関係機関・団体等と連携します。

6 国内外の美術館や関連組織等と連携し、多様な活動を展開します。

これまで深めてきたわが国の美術館や関連組織等との信頼関係を基に、さらなる学術交流を行い、より質の高い、幅広い事業を展開するように努めます。国内外の美術館に所蔵作品・資料を貸し出すことにより、当館の優れたコレクションの魅力を発信します。本県の美術文化の発展並びに博物館活動を通じて広く知的資源の蓄積に寄与できるよう努めます。

7 利用者が安全で快適に利用できるよう美術館運営を行います。

すべての利用者が安全で快適に利用できるよう、施設・設備の維持管理を行うとともに、危機管理、安全、アメニティーに対する職員の意識向上に努めます。また施設の美観の保持と衛生管理に努めます。

沿革

■和歌山県立美術館

- 1963(昭和38)年
3月17日 旧和歌山城二の丸跡に開館
7月 川口軌外展
10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展
11月 第17回和歌山県美術展(1969年第23回展まで開催)
- 1964(昭和39)年
4月 紀州陶磁器展
10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展
- 1965(昭和40)年
3月 祇園南海展
5月 長沢蘆雪名作展
7月 日高昌克展
10月 近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展
- 1966(昭和41)年
3月 ダリ・シャガール・ビュッフェ版画展
6月 石垣栄太郎遺作展
6月 日本伝統工芸秀作展
7月 川端龍子展
10月 松方コレクション展
- 1967(昭和42)年
4月 國際青年美術家展・日本／アメリカ展
8月 和歌山アンデパンダン展
10月 富岡鉄斎展
- 1968(昭和43)年
3月 桑山玉洲展
4月 浮世絵総合展(吉川觀方コレクション)
7月 1968和歌山アンデパンダン展
9月 扇絵展
10月 明治100年記念郷土作家回顧展
- 1969(昭和44)年
4月 保田龍門展
10月 明治大正昭和名作美術展
- 1970(昭和45)年
3月 京都の近代日本画展
4月 日本女装展(吉川觀方コレクション)
11月2日 廃館

■和歌山県立近代美術館

- 1970(昭和45)年
11月2日 和歌山県民文化会館内に開館
第24回和歌山県美術展(1993年第47回展まで開催)
- 1971(昭和46)年
3月 大夢・晩花展
4月 竹久夢二展
8月 紀州の風景画展
- 1972(昭和47)年
1月 浜口陽三版画展
3月 原勝四郎展
4月 現代日本絵画秀作展
10月 アメリカにおける日本人作家回顧展
—石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本
- 1973(昭和48)年
3月 地中海の古代美術展
4月 日本伝統工芸秀作展
10月 川口軌外展
- 1974(昭和49)年
4月 吉田政次遺作展
10月 豊伊之助展

- 1975(昭和50)年
10月 木下孝則回顧展
- 1976(昭和51)年
2月 1910年代における京都日本画の新動向
10月 木下義謙作品展
- 1977(昭和52)年
2月 田中恭吉展
10月 川端龍子展 龍子そのすべて
- 1978(昭和53)年
10月 日高昌克展
- 1979(昭和54)年
2月 神中糸子と工部美術学校展
5月 村井正誠展
10月 高井貞二展
- 1980(昭和55)年
3月 川口軌外とその周辺
—和歌山の初期独立展系作家たち—
10月 開館10周年記念1930年協会の作家たち展
- 1981(昭和56)年
3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展
10月 下村觀山—その人と芸術—
- 1982(昭和57)年
2月 建畠覚造展
7月 イタリア美術の一世纪展《1880-1990》
10月 稲田一穂展
- 1983(昭和58)年
7月 関西の美術家シリーズ1
—津高和一・泉茂・吉原英雄展
10月 日本の洋画秀作展
- 1984(昭和59)年
2月 和歌山の作家と県内洋画壇展
7月 関西の美術家シリーズ2 元永定正・白髮一雄展
10月 紀州の風景を描いた作家たち展
- 1985(昭和60)年
3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ3 彫刻の4人
—清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展
10月 開館15周年記念近代洋画の展開
—初期独立美術協会の作家たち展
- 1986(昭和61)年
7月 独創傑出の画家 朝井閑右衛門の世界
10月 瑛九とその周辺
- 1987(昭和62)年
3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ4 日本画の4人
—大野淑嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展
9月 太平洋を越えた日本の画家たち アメリカに学んだ18人
- 1988(昭和63)年
3月 描かれた動物たち
7月 関西の美術家シリーズ5 版画の4人
—井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展
10月 竹久夢二とその周辺
- 1989(昭和64・平成元)年
3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ6 現代の造形
—土と布と糸 荒木高子・前川強・濱谷明夫展
10月 親と子で見る世界の名画展
- 1990(平成2)年
7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在
—4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展

- 10月 現代の陶芸 1980-1990 関西の作家を中心として
 1991(平成3)年
- 3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展
 - 7月 関西の美術家シリーズ8 美術の現在
—彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展
 - 9月 ポスター芸術100年展 サントリー美術館所蔵グランヴィルコレクション
- 1992(平成3)年
- 10月 版画芸術の饗宴—ケネス・タイラーと巨匠たち:1963-1992
- 1993(平成4)年
- 3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

■新館計画

- 1988(昭和63)年
- 2月 政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建設を決定
 - 3月 新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置
 - 9月 新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設検討委員会」を設置
- 1989(昭和64・平成元)年
- 4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置
新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申
 - 8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置
美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置
 - 9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認
- 1990(平成2)年
- 3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に委託
- 1991(平成3)年
- 7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル《煉瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入
 - 10月 施設着工式を挙行
 - 11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ《赤の上の黄褐色と黒》(1957)を購入
- 1992(平成4)年
- 8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ《ラッカIII》(1968)を購入
- 1993(平成5)年
- 9月 和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ《ミノトロマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入
- 1994(平成6)年
- 2月 定礎式を挙行
 - 3月 工事完了
 - 4月 新美術館へ移転

■和歌山県立近代美術館 新館

- 7月8日 新近代美術館開館
開館記念展1 美術館へ行こう
- 10月 開館記念展2 大正のまなざし
—若き保田龍門とその時代—
- 11月 小企画展 ルオーの「ミゼレーレ」
- 1995(平成7)年
- 1月 恩地孝四郎—色と形の詩人—

- 2月 小企画展 和歌山ゆかりの作家たち
- 4月 1994年度新収蔵作品展
- 4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展
—イギリス絵画の350年
- 7月 村井正誠展 色と形と心—人間の詩
- 8月 小企画展 美術館に行ったよ!—風景ってなあに—
- 8月 小企画展 日本の近代版画
- 9月 保田春彦展
- 10月 野田裕示近作展
- 1996(平成8)年
- 1月 線画の世界—かたりの表現—
 - 2月 ひかる・うごく・おどがする 20世紀の静かならざる作品たち
 - 4月 美術館へ行ったら!?「絵画」というしくみ
 - 6月 紀伊半島を歩いて
—ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン
 - 8月 モスクワ、プーシキン美術館名作展—室内への視線—
 - 9月 ホックニーのグリム童話
 - 11月 日本のグラフィックデザイン
- 1997(平成9)年
- 1月 和歌山の版画家10人
 - 3月 新しい関西の美術家たち ものとあらわれ
 - 4月 美術館へ行ったよ! コレクションを見る東京
 - 5月 美術館へ行ったよ! コレクションを見るパリ
 - 7月 アルザスとフランス近代美術の歩み
—ストラスブル近代美術館展
 - 8月 版画の技法・表現の手法
 - 10月 マリノ・マリーニ展
 - 11月 アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち
- 1998(平成10)年
- 1月 心のかたち
 - 2月 泉茂 初期版画作品を中心に
 - 4月 世紀末芸術の華 オーブリー・ビアズリー展
 - 5月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1
 - 6月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2
 - 8月 静けさの中から 星の贈りもの
 - 9月 和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3
 - 10月 意味とイメージ 一あらわれる浪漫主義の明治
 - 12月 フランス現代美術展 眼と精神
- 1999(平成11)年
- 2月 関西の戦後美術 1950's-1990's
 - 4月 めいさく根掘葉掘 アートと知り合い!
 - 6月 デモクラート 1951-1957 開放された戦後美術
 - 7月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4
 - 8月 熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展
 - 9月 サンフランシスコ近代美術館展
—カリフォルニア・アートシーン 1920's-1930's
 - 11月 川口軌外展 ある洋画家の軌跡
 - 12月 越境する想像力 素材との出会い
- 2000(平成12)年
- 2月 コレクションにみる 芸術と社会
 - 4月 田中恭吉展
 - 5月 定規とコンパス?幾何学図形と美術の表現
 - 7月 印象派の巨匠 シスレー展
—イル・ド・フランスの光を愛して
 - 9月 東欧絵本の世界展 国境を超える 子どものためのアート
 - 11月 現代版画の軌跡 ゆめとめざめ
 - 12月 日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト
- 2001(平成13)年
- 2月 版画今昔

4月	夢の世界のおくりもの アンデルセン童話・絵本原画展 うごけば、かわる。	「夢二学校」+「テルヲ・パンカ」
5月		ふだん美術 一日常に向けた目と心—
8月	宇佐美圭司・絵画宇宙	特集展示 うるわしき技の世界 近現代美術の達人たち
9月	浜口陽三へのオマージュ	relations 関係 一藤本由紀夫 /FUJIMOTO and
10月	マックス・エルンスト展	relations 関係 一藤本由紀夫 /happy conceptual
12月	一期一会 であう めでる つたえる —コレクションによる全館展示	—杉山知子 + 藤本由紀夫 森のなかで
2002(平成14)年		12月 美術百科「色・いろいろ」の巻 —コレクションによる全館展示
4月	あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀	2008(平成20)年
5月	「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界	4月 抒情の様式
7月	アンジェ美術館展	6月 共作×共鳴×共感—ともに作られた作品たち
9月	山本容子の美術遊園地	7月 ルオーの〈ミセレーレ〉 人間へのまなざし
11月	美術百科「この人のこの一点」の巻 —コレクションによる全館展示	9月 点と面の詩情—上前智祐・山中嘉一・坪田政彦
2003(平成15)年		11月 彼岸の美術
4月	はじめての美術 絵本原画の世界展	12月 美術百科「この人はだれ」の巻 —コレクションによる全館展示
6月	チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド	2009(平成21)年
7月	近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	4月 原勝四郎展
9月	たがやすように 熟す画面の4つのかたち	4月 アメリカをめぐって
11月	和歌山県特別事業 創設40周年記念 文化表彰の歩み展	6月 油絵の理由—「あぶらえ」は好きですか?
12月	美術百科「七つの鍵」の巻 —コレクションによる全館展示	7月 生誕100年記念 浜口陽三展
2004(平成16)年		7月 サマー・ミュージアム—わかやま発見—
4月	和歌山県特別事業「日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ジャパン トウディ vol.6」	9月 自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展
4月	和歌山県特別事業 atW vol.1「永坂嘉光・鈴木理策 高野_熊野_聖地」	9月 コレクション名品展
6月	小野竹喬展	11月 世界遺産登録5周年記念 描かれた紀伊山地の靈場と参詣道
7月	ピノッキオ その誕生から現代まで展	11月 和歌山県特別事業 第63回和歌山県美術展覧会(以降継続)
11月	チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展	12月 美術百科「ここはどこ」の巻 —コレクションによる全館展示
2005(平成17)年		2010(平成22)年
1月	開館10周年記念 美術百科「版画」の巻 —コレクションによる全館展示	4月 開館40周年記念展I ようこそ彫刻の森へ
4月	没後10年 遺業・泉茂	4月 特集展示 宇佐美圭司 一絵画の歩み—
6月	世界の版画名品選	7月 特集展示 大亦新治郎のスケッチから —明治・大正の和歌山のまち
7月	夏休み わかやま美術探偵団 関連企画 鈴木昭男「点音 in 和歌山」	9月 開館40周年記念展II 日本近代の青春 創作版画の名品
9月	版画家たちの表情	10月 特集展示 保田春彦 近作デッサンを中心に
11月	佐伯祐三—芸術家への道—	11月 和歌山県特別事業 平山郁夫追悼展示、小沢道治展
2006(平成18)年		2011(平成23)年
1月	美術百科「世界一周」の巻 —コレクションによる全館展示	1月 開館40周年記念展III 油絵の魅力 イズムを超えて 版画の「アナ」 ガリ版がつなぐ孔版画の歴史
4月	ベトナム近代絵画展 花と銃 —インドシナ・モダンの半世紀	3月 特集展示 吉田政次の世界 ポップ?ポップ!ポップ♡
4月	小特集 追悼・建畠覚造 + 新収蔵作品	コレクションを見るポップなアートの50年
6月	現代「日本画」の展望 一内と外のあいだで—	6月 特集展示 生誕120年記念 恩地孝四郎・藤森静雄
8月	和歌山県特別事業 和歌山県美術展覧会第60回記念 和歌山の美術を担う作家たち展	7月 なつやすみの美術館「みること」「うつすこと」
7月	小特集 野田裕示 + 鈴木理策	9月 生誕100年 高井貞二展 一「昭和」を描いた人—
9月	森鷗外と美術	9月 特集展示 生誕120年 保田龍門
11月	小特集 没後20年高井貞二 —ニューヨークのタカイ	11月 吉原英雄展 画家のドラマ
11月	科学の感情—あたらしい時代の感覚と表現—	12月 特集展示 生誕130年 日高昌克
2007(平成19)年		12月 特集展示 吉原英雄を囲む作家たち
1月	美術百科「前衛の関西」の巻 —コレクションによる全館展示	2012(平成24)年
4月	教育普及課を設置	2月 ホックニーのグリム童話
4月	竹久夢二展—描くことが生きること—	3月 特集展示 井田照一
4月	特集展示 大正デカダンス	4月 人間と自然の美術

- 9月 特集展示 幻想の美術
 11月 生誕 120 年記念 川口軌外の歩み展
 12月 特集展示 没後 70 年 建畠大夢
- 2013(平成 25) 年
- 2月 膜写版の冒険 卓上印刷器からはじまったアート
 3月 特集展示 版画・図案・オブジェ
 4月 日本の絵画の五十年
 6月 特集展示 瑛九：紙の上の仕事
 7月 なつやすみの美術館 3 『美術の時間』
 9月 生誕 120 年記念 石垣栄太郎展
 9月 特集展示 没後 100 年 香山小鳥 ゆめの日のかけ
 12月 特集展示 人間と宇宙のドラマ：
 　　吹田文明・堀井英男・長岡國人
 12月 物質(モノ)と美術
- 2014(平成 26) 年
- 2月 版画について考える —101 年目の宿題—
 3月 特集展示 モノクロームの世界
 4月 美術館の運営状況等を評価することを目的として「和
 　　歌山県立近代美術館評価部会」を設置
 4月 建畠覚造と戦後の彫刻 かたちをさぐる
 6月 特集展示 生誕 120 年 大亦觀風
 7月 なつやすみの美術館 4 生きている！
 9月 特集展示 没後 50 年 野長瀬晩花
 11月 観光する美術 和歌山から始まる旅
 12月 特集展示 コレクション／ドネーション
- 2015(平成 27) 年
- 1月 『月映』展 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎
 　　一本版にいのちを刻んだ青春
 3月 和歌山と関西の美術家たち リアルのリアルのリアルの
 3月 特集展示 『版画』の明治—印刷と美術のはざまで
 3月 「和歌山県立近代美術館の使命」を公開
 5月 保田龍門・保田春彦展
 6月 特集展示 くりかえしの美
 7月 なつやすみの美術館 5 つぶやき おはなし ものがたり
 9月 ここだけの日本画
 9月 特集展示 アメリカ移民の歴史と芸術家たち
 9月 特集展示 生誕 120 年 逸見享
 12月 生誕 110 年 村井正誠展 ひとの居る場所
 12月 特集展示 光について
- 2016(平成 28) 年
- 3月 宇佐美圭司回顧展 絵画のロゴス
 3月 特集展示 膜写印刷工房から—印刷と美術のはざまで
 4月 恩地孝四郎展 抒情とモダン
 　　関連企画 本の美術：ルリユールへの誘い
 6月 特集展示 ドローイング—水彩・パステル・紙の世界
 7月 なつやすみの美術館 6 きろくときおく
 9月 特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現
 10月 和歌山県特別事業 第 1 回和歌山県ジュニア美術展覽
 　　会(以降継続)
 11月 動き出す！絵画 ペール北山の夢
 　　—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち
 11月 大正の異色画家たち(特別展「動き出す！絵画」第二部)
- 2017(平成 29) 年
- 1月 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた
 1月 特集展示 群像—交錯する声

2016(平成28)年度展覧会一覧

1. 特別展

-1.	恩地孝四郎展 抒情とモダン	8
	4月29日(金・祝)～6月12日(日)	
-2.	動き出す! 絵画 ペール北山の夢 —モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち	16
	11月19日(土)～2017(平成29)年1月15日(日)	

2. 企画展

-0.	宇佐美圭司回顧展 絵画のロゴス	前年度より継続
	3月1日(火)～4月17日(日)	
-1.	なつやすみの美術館6 きろくときおく	23
	7月2日(土)～9月19日(月・祝)	
-2.	泉茂 ハンサムな絵のつくりかた	28
	2017(平成29)年1月27日(金)～3月26日(日)	

3. 常設展

-0.	コレクション展 2016—春	前年度より継続
	3月29日(火)～5月29日(日)	
-0.	特集展示 謄写印刷工房から——印刷と美術のはざまで	前年度より継続
	3月29日(火)～5月29日(日)	
-1.	コレクション展 2016—夏	32
	6月7日(火)～9月4日(日)	
-2.	特集展示 ドローイング——水彩・パステル・紙の世界	34
	6月7日(火)～9月4日(日)	
-3.	コレクション展 2016—秋	36
	9月13日(火)～11月3日(木・祝)	
-4.	特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現	38
	9月13日(火)～11月3日(木・祝)	
-5.	大正の異色画家たち(特別展「動き出す! 絵画」第二部)	41
	11月19日(土)～2017(平成29)年1月15日(日)	
-6.	コレクション展 2017—春	45
	2017(平成29)年1月27日(金)～5月7日(日)	
-7.	特集展示 群像——交錯する声	47
	2017(平成29)年1月27日(金)～5月7日(日)	

1-1. 恩地孝四郎展 抒情とモダン

会期：2016（平成 28）年 4月 29 日（金・祝）～6月 12 日（日）
会場：展示室 C（2階）
主催：和歌山県立近代美術館、東京国立近代美術館、産経新聞社
共同開催：東京国立近代美術館（会期：2016 年 1月 13 日～2月 28 日）
内容：版画を中心に、装丁、写真など広範な領域で活躍し、近現代日本の美術に大きな足跡を残した恩地孝四郎（1891～1955）の画業を国内外から集めた約 400 点により回顧した。

担当学芸員：奥村一郎、藤本真名美

関連企画：製本工芸の展示「日本の美術：ルリュールへの誘い」

主催：和歌山県立近代美術館、東京製本俱楽部

会期：4月 29 日（金・祝）～6月 12 日（日）

会場：リーディングコーナー（1階）

内容：日本の製本家を中心に結成され展覧会等の活動を続けている東京製本俱楽部と和歌山県立近代美術館との協働により、最も伝統的な材料である皮革を用いた 14 作家によるルリュール 20 作品を展示了。

担当学芸員：井上芳子

関連事業：・記念講演会「抽象への方途 恩地孝四郎の版画」

日時：5月 8 日（日）33 名 14:00～

講師：松本透（東京国立近代美術館 特任研究員）

・記念講演会「恩地孝四郎の実験精神：創作版画から現代美術へ」

日時：5月 14 日（土）40 名 14:00～

講師：桑原規子（聖徳大学教授）

・フロアレクチャー（学芸員による展示解説）

日時：5月 3 日（火・祝）29 名、藤本真名美、5月 22 日（日）30 名、藤本真名美、6月 5 日（日）20 名、奥村一郎 各 14:00～

・解説会「恩地孝四郎を知ろう」

日時：5月 1 日（日）13 名 14:00～ 奥村一郎

・子ども美術館部「おんちさんとかたち探検」

日時：4月 30 日（土）5 名 14:00～ 青木加苗

・ワークショップ「フランス装の本をつくる」

日時：5月 29 日（日）21 名 13:00～16:00

講師：藤井敬子（版画家・製本家、東京製本俱楽部）

参加費：1000 円

制作物：・ポスター（B2 判、オフセット印刷）

・チラシ（A4 判、オフセット印刷）

・図録（A4 判変形 364 頁、オフセット印刷）

・出品目録（日本語版 A4 判 8 頁、英語版 A4 判 10 頁）

・展示解説（日本語版 A4 判 4 頁、英語版 A4 判 6 頁）

・関連企画 ダイレクトメール（はがき、オフセット印刷）

・関連企画 出品目録（A4 版 4 頁）

・プレスリリース（A4 判 4 頁）

・英語版概要（A4 判 1 頁）

展示点数：1 作家 392 点

入場料金：一般 700 円（560 円）、大学生 400 円（320 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金

工夫：東京国立近代美術館との共催により、国内外から集めた版画 243 点を中心に、油彩、素描、写真、ブック・デザインなど、領域横断的な仕事も併せて紹介した。様々なジャンルの作品が互いに影響しながら、作家の造形思考が深まり、作品が変化していく過程を辿れるような展示を心掛けた。また恩地孝四郎が携わった本の美術に関連し、14 作家 20 点の製本工芸（ルリュール）の特集展示と本作りのワークショップを東京製本俱楽部との共催で実施した。

自己評価・課題・改善案：1994 年に当館ほかで開催した恩地孝四郎展以来、約 20 年ぶりとなる回顧展を、海外からの里帰り作品や新出作品も含め、過去最大規模で開催することができた。作品保護のための照度制限や温湿度制限が厳しく、対応に追われた。設備の刷新や、照度が低くとも明るさを確保できる照明器具の導入、除湿機の設置などの工夫も課題として残された。

関連記事：・[無記名]「越境する抽象版画への道 恩地孝四郎」『版画芸術』No.170、阿部出版、2015 年 12 月 1 日、pp.100-104
・松本透「恩地孝四郎—境界なき抽象」『版画芸術』No.170、阿部出版、2015 年 12 月 1 日、p.105



ポスター

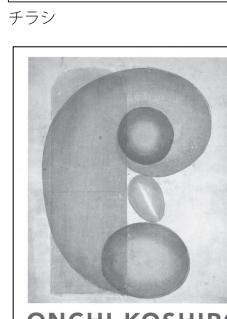


恩地孝四郎展

Ouchi Koshiro 抒情とモダン 版に重なるこころ

2016.4.29 fri. - 6.12 sun. The Museum of Modern Art, Wakayama

和歌山県立近代美術館



ONCHI KOSHIRO

恩地孝四郎展 表紙とモダン 版に重なるこころ

和歌山県立近代美術館

2016.4.29 fri. - 6.12 sun. The Museum of Modern Art, Wakayama

和歌山県立近代美術館



ダイレクトメール

- ・[無記名]「20年ぶりの回顧展は過去最大規模に 恩地孝四郎展」『月刊ギャラリー』第369号、ギャラリーステーション、2016年1月1日、pp.12-13
- ・井上晋治「恩地孝四郎 過去最大規模の回顧展」『讀賣新聞』、2016年2月11日、19面
- ・「恩地孝四郎展」『美術の窓』第35巻第2号通巻409号、生活の友社、2016年2月20日、p.104
- ・藤本真名美「恩地孝四郎のデッサンを見る」『美術の窓』第35巻第3号通巻410号、生活の友社、2016年3月20日、pp.36-39
- ・沢山遼「殻と糸くず 「恩地孝四郎」展」『美術手帖』第1035号、2016年4月1日、美術出版社、pp.190-192
- ・奥村一郎「恩地孝四郎展 上 抽象表現のパイオニア」『産経新聞』、2016年5月12日、23面
- ・奥村一郎「恩地孝四郎展 中 近代化する時代を表現」『産経新聞』、2016年5月13日、22面
- ・李田光「恩地孝四郎 軌跡追う」『朝日新聞』(和歌山版)、2016年5月14日、22面
- ・奥村一郎「恩地孝四郎展 下 布やレースを使った技法生み出す」『産経新聞』、2016年5月14日、23面
- ・加藤義夫「美術評 抽象表現 版画メディアで発信」『朝日新聞』(夕刊)、2016年5月20日、4面
- ・奥村一郎「恩地孝四郎展 上 具象との間に数々の名作」『産経新聞』、2016年5月24日、23面
- ・清水有香「新しさと抒情 刷り込み」『毎日新聞』、2016年5月25日、3面
- ・藤本真名美「恩地孝四郎展 中 空中旅行を追体験」『産経新聞』、2016年5月25日、25面
- ・藤本真名美「恩地孝四郎展 下 父の複雑な心境投影」『産経新聞』、2016年5月26日、27面
- ・正木利和「苦悩と喜び 一編の「詩」」『産経新聞』、2016年5月27日、4面
- ・田中真治「内なる視線 抽象版画に」『神戸新聞』、2016年6月2日、20面
- ・味岡千晶「恩地孝四郎展」『現代の眼』619、2016年6月1日、pp.6-7
- ・Ajioka Chiaki, ONCHI KOSHIRO - PIONEER OF ABSTRACT EXPRESSION, TAASA Review, vol. 25 no.3, 2016, pp.10-12

情報掲載:

- ・「恩地孝四郎展」『産経新聞』、2016年1月1日、17面
- ・「恩地孝四郎展 抒情とモダン」『産経新聞』、2016年3月10日、29面
- ・「恩地孝四郎の多彩な世界」『産経新聞』、2016年3月24日、4面
- ・「おすすめ展覧会」『産経新聞』、2016年4月3日、8面
- ・「版画界の巨星・恩地孝四郎展」『産経新聞』(和歌山)、2016年4月21日、27面
- ・「恩地孝四郎の世界堪能して」『産経新聞』(和歌山)、2016年4月29日、26面
- ・「恩地孝四郎の回顧展 きょう和歌山で開幕」『産経新聞』(大阪)、2016年4月29日、26面
- ・「美術館便り」『リビング和歌山』、2016年4月30日、8面
- ・「恩地孝四郎展 抒情とモダン 版に重なるこころ」『NATTS』5月号、p.16
- ・「20年ぶり大回顧展」『わかやま新報』、2016年5月1日、1面
- ・「恩地孝四郎展 抒情とモダン 版に重なるこころ」『WACA-P』vol.67、p.7
- ・「特別展 恩地孝四郎展」『ニュース和歌山』、2016年5月14日、7面
- ・「抽象表現を追求 恩地孝四郎展」『毎日新聞』(和歌山)、2016年5月17日、23面
- ・「恩地孝四郎 表現たどる」『讀賣新聞』、2016年5月17日、24面
- ・「恩地孝四郎の実験精神 近代芸術への橋渡し役に」『産経新聞』(和歌山)、2016年5月18日、23面
- ・「恩地孝四郎展」『産経新聞』、2016年5月24日、23面
- ・「恩地孝四郎展」『産経新聞』、2016年6月1日、6面
- ・「恩地孝四郎展」『和歌山特報』、2016年6月11日、16面

「恩地孝四郎展 抒情とモダン」出品目録

展示期間:「*」が付いている作品(P70, P187)は(4月29日~5月15日)「**」が付いている作品(P136, P161, Ph1, Ph2, Ph9)は(4月29日~5月22日)「***」が付いている作品(P71)は(5月17日~5月29日)「****」が付いている作品(P164, Ph4, Ph5, Ph13, P228)は(5月24日~6月12日)「*****」が付いている作品(P72)は(5月31日~6月12日)

※ジャンルごとに記号を付し、原則として制作年順に番号を付けている。版画:P油彩画:O素描:D写真:Ph装幀・出版創作:B資料:M

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年 / 出版社	材質、技法	寸法(cm)	所蔵 / 備考
I 『月映』に始まる 1909 ~ 1924 年						
P1	恩地 孝四郎	《LA DANCE》(『密室』6)	1913(大正2)	モノタイプ、紙	13.0 × 11.4	和歌山県立近代美術館
P2	恩地 孝四郎	めぐみのつゆ(私輯『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	25.0 × 11.2	和歌山県立近代美術館
P3	恩地 孝四郎	うみのさち(私輯『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	17.4 × 12.2	和歌山県立近代美術館
P4	恩地 孝四郎	祖春(私輯『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	13.0 × 11.0	和歌山県立近代美術館
P5	恩地 孝四郎	[失題]	1914(大正3)年4月	木版、紙	22.9 × 16.6	和歌山県立近代美術館
P6	恩地 孝四郎	泪(私輯『月映』III)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	13.5 × 11.0	和歌山県立近代美術館
P7	恩地 孝四郎	キリストとマリア(私輯『月映』III)	1914(大正3)	木版、紙	24.0 × 17.5	和歌山県立近代美術館
P8	恩地 孝四郎	赤き実をもてる少女(私輯『月映』III)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	19.3 × 8.5	和歌山県立近代美術館
P9	恩地 孝四郎	太陽の下(『良民』4-5口絵原画)	1914(大正3)	木版、紙	16.2 × 11.1	和歌山県立近代美術館
P10	恩地 孝四郎	うかむ種子(私輯『月映』IV)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	19.2 × 12.0	ドウファミリィ美術館
P11	恩地 孝四郎	そぐへる心(私輯『月映』IV)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	17.7 × 12.2	和歌山県立近代美術館
P12	恩地 孝四郎	よりそふもの(私輯『月映』IV)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	19.0 × 13.7	和歌山県立近代美術館
P13	恩地 孝四郎	くろきあさあけ(私輯『月映』IV)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	23.6 × 11.7	和歌山県立近代美術館
P14	恩地 孝四郎	[失題](『良民』4-6口絵原画)	1914(大正3)	木版、紙	15.9 × 11.3	和歌山県立近代美術館
P15	恩地 孝四郎	抒情II(私輯『月映』V)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	20.4 × 14.2	和歌山県立近代美術館
P16	恩地 孝四郎	裸形のくるしみI(私輯『月映』V)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	19.8 × 8.0	和歌山県立近代美術館
P17	恩地 孝四郎	裸形のくるしみII(私輯『月映』V)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	20.0 × 8.0	千葉市美術館
P18	恩地 孝四郎	裸形のくるしみIII(私輯『月映』V)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	22.1 × 7.9	和歌山県立近代美術館
P19	恩地 孝四郎	裸形のくるしみIV(私輯『月映』V)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	22.0 × 7.9	和歌山県立近代美術館
P20	恩地 孝四郎	抒情VII 伴病めり(私輯『月映』VI)	1914(大正3)	木版、紙(二折)	17.8 × 12.3	和歌山県立近代美術館

1-2. 動き出す! 絵画 ペール北山の夢 —モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち

会期：2016（平成28）年11月19日（土）～2017（平成29）年1月15日（日）
会場：展示室A・B（1階）
主催：和歌山県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
共同開催：東京ステーションギャラリー（2016（平成28）年9月17日～11月6日）、
下関市立美術館（2017（平成29）年1月28日～3月12日）
内容：西洋美術が紹介される機会の増大とともに、自己表現の追求が高まりを見せた大正時代の美術を、岸田劉生や木村荘八ら若い画家たちの制作、発表を支えた和歌山市出身の北山清太郎の視点からとらえ直す展覧会。北山らが紹介した西洋美術の作品も交え、より多くの県民に美術に親しむ機会を提供した。

担当学芸員：宮本久宣、青木加苗

関連企画：・対談講演会「動く私、動く自画像」

日時：11月26日（土）77名 14:00～

講師：森村泰昌（美術家）、聞き手：熊田司（館長）

・手回しアニメフィルム上映・解説会

日時：12月23日（金・祝）65名 14:00～

講師：松本夏樹（映像文化史研究家）

・レクチャーコンサート「出会う！音楽」

日時：1月8日（日）115名 14:00～

講師・ピアノ：松井淑恵（和歌山大学）、ヴァイオリン：日俣綾子

・フロアレクチャー（学芸員による展示解説）

日時：11月20日（日）75名、12月11日（日）70名、1月9日（月・祝）101名 14:00～ 宮本久宣、青木加苗

・こども美術館部「くらべてみようあの絵とこの絵」

日時：12月3日（土）21名 14:00～ 青木加苗

制作物：・ポスター（B2判、オフセット印刷）

・見開きチラシ（A4横判二つ折り、オフセット印刷）

・チラシ（A4判、オフセット印刷）

・図録（B5判344頁、オフセット印刷）

・出品目録（A4判12頁）

・鑑賞ガイド（B6判8頁、オフセット印刷）

・音声ガイド

・プレスリリース（A4判5頁）

・英語版概要（A4判1頁）

展示点数：73作家174点、資料98点、映像3作家3本

入場料金：一般1000円（800円）、大学生800円（600円）（ ）内は20名以上の団体料金

音声ガイド：500円

工夫：日本近代美術史上の新知見を紹介するという意欲的な展覧会であり、会場構成にも配慮しつつ、テーマ解説や作品解説、映像コーナー、音声ガイド、鑑賞ガイドとなる小冊子を駆使し、分かりやすく、楽しみながら鑑賞してもらえるよう工夫した。広報活動についても、和歌山市域を中心とする小中学校の生徒へのチラシ配布、ロータリークラブでの卓話、県内外に支店を有する企業へのポスター・チラシ設置依頼、県庁の大看板等の活用、地元タウン情報誌等への広告掲載、JR和歌山駅の壁面広告、JR大阪駅での電子掲示板広告など、これまでにない取り組みを行った。

自己評価・課題・改善案：地元出身の人物の業績を顕彰しつつ、近代美術に関わる地道な調査研究に基づく研究成果を活かした展覧会でありながら、専門家だけに留まらず、多くの一般来館者を迎えることができ、それぞれの立場で美術や作品への関心を深める展覧会とすることができたのは評価されよう。また北山清太郎という和歌山出身の人物をはじめて広く紹介することができたのは意義深い。今後も本展で行ったような広報活動についても充実させていきたい。

関連記事：・宮本久宣「動き出す！絵画」『美連協ニュース』No.130、2016年5月号、p.26

・岸桂子「ペール・北山の目」『毎日新聞』、2016年6月15日、9面

・宮本久宣「動き出す！絵画 ペール北山の夢」『新美術新聞』No.1418、2016年9月11日、1面

・宮本久宣「動き出す！絵画 ペール北山の夢」ウェブサイト『アートアニュアルオンライン』2016年9月15日

・[無記名]「和歌山県教育委員会からのお知らせ「動き出す！絵画」」『わかやまと探検ミュージアム』vol.37、2016年10月1日、白光印刷株式会社、p.12

・石川健二「動き出す！絵画 ペール北山の夢」『サンデー毎日』第95巻第47号（通巻5365号）、2016年10月30日、p.120

・青木加苗「ペール北山の夢（上）」『紀伊民報』第22276号、2016年11月5日、8面

・宮本久宣「ペール北山の夢（下）」『紀伊民報』第22282号、2016年11月12日、7面

・坂口佳代「近代美術 目玉作品が集結」『毎日新聞』（和歌山）、2016年11月17日、27面

・石黒彩子「新時代へ描いた夢」『讀賣新聞』（地域）、2016年11月19日、27面

・森本大貴「大正のパトロン 描いた夢」『朝日新聞』（和歌山）、2016年11月20日、30面

・[無記名]「「動き出す！絵画」展開幕」『讀賣新聞』（地域）、2016年11月20日、29面

・坂口佳代「支局長からの手紙 展覧会の開幕まで」『毎日新聞』（和歌山）、2016年11月21日、26面



- ・[無記名]「“動き出す”時代の美術」『わかやま新報』、2016年11月23日、1面
 - ・[無記名]「動き出す！」展 森村泰昌さん語る』『讀賣新聞』(地域)、2016年11月27日、33面
 - ・[無記名]「企画展「動き出す!絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」開催中!」『わかやま探検ミュージアム』vol.38、白光印刷株式会社、2016年12月1日、p.4
 - ・斎藤博美「新・学芸員の企画術 キュレーションの壇 和歌山県立近代美術館 主査学芸員 宮本久宣」『月刊ギャラリー』380号、2016年、pp.98-101
 - ・足立元「reviews04 おだやかな時代の獣たち」『美術手帖』vol.68 no.1046、2016、pp.208-209
 - ・大西若人「大正期 西洋美術への情熱」『朝日新聞』(夕刊)、2016年12月9日、4面
 - ・正木利和「美術仕掛け人 献身的な愛」『産経新聞』(夕刊)、2016年12月9日、4面
 - ・[無記名]「あの記事なーに? 日本で初めてアニメを作った人」『ニュース和歌山』、2016年12月14日、4面
 - ・清水有香「画家と両輪 時代動かす」『毎日新聞』(夕刊)、2016年12月14日、7面
 - ・田中真治「新視点で大正美術一望」『神戸新聞』、2016年12月16日、20面
 - ・井上晋治「近代絵画支えた「おやじ」」『讀賣新聞』(夕刊)、2016年12月19日、2面
 - ・大西若人「(回顧 2016) 美術 芸術祭・美術館の使命とは」『朝日新聞デジタル』、2016年12月20日
 - ・青木加苗「動き出す!絵画 ペール北山の夢(上) 大正の若者 憧れと熱 ピエール＝オーギュスト・ルノワール「泉による女」」『讀賣新聞』、2016年12月21日、34面
 - ・[無記名]「ペール北山展に1万人」『讀賣新聞』、2016年12月21日、34面
 - ・宮本久宣「動き出す!絵画 ペール北山の夢(中) パリ留学 深まる作風 藤島武二「巴里寓居の紀念」」『讀賣新聞』、2016年12月22日、26面
 - ・青木加苗「動き出す!絵画 ペール北山の夢(下) 自己表現 強い眼差し 岸田劉生「黒き帽子の自画像」」『讀賣新聞』、2016年12月23日、32面
 - ・[無記名]「大正アニメじっくり鑑賞 動き出す!絵画展」『讀賣新聞』、2016年12月24日、23面
 - ・[無記名]「来館1万人を達成 近代美術館「動き出す!絵画」展」『わかやま新報』、2016年12月25日、2面
 - ・青木加苗「河野通勢旧蔵資料調査から」『美 愛 真』第32号、調布市武者小路実篤記念館、2017年3月31日、p.5
 - ・宮本久宣「2016年 美連協力タログ論文賞 優秀論文賞 美連協展部門」『美連協ニュース』No.134、2017年5月号、p.11
- 情報掲載:
- ・「動き出す!絵画」『潮流』127号、下関市立美術館、2016年9月1日、p.4
 - ・「動き出す!絵画」『AERA』29巻41号(通巻1583号)、朝日新聞出版、2016年9月26日、p.79
 - ・「動き出す!絵画」『週刊朝日』121巻53号(通巻5396号)、朝日新聞出版、2016年9月30日、p.8
 - ・「動き出す!絵画」『HANAKO』1119号、マガジンハウス、2016年10月13日、p.4
 - ・「動き出す!絵画」『agusus』vol.448、アガサス、2016年10月25日、p.1
 - ・「モネやゴッホが集結」『わかやま新報』、2016年10月29日、1面
 - ・「本で絵画を楽しんで 県立図書館 近代美術館と連携企画」『わかやま新報』、2016年10月29日、7面
 - ・「動き出す!絵画」『NATTs』193号、2016年11月号、p.16
 - ・「動き出す!絵画 ペール北山の夢」『WACA-P』vol.70、和歌山県、平成28年11月、p.7
 - ・「動き出す!絵画 ペール北山の夢」『美連協ニュース』No.132、2016年11月号、p.29
 - ・「動き出す!絵画 ペール北山の夢」『CLasism』第1巻第4号通巻4号、株式会社ゆめディア、2016年冬号、p.15
 - ・「デカ看板 県庁玄関でアピール」『和歌山特報』、2016年11月11日、16面
 - ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年11月11日、18面
 - ・「動き出す!絵画 ペール北山の夢」『讀賣新聞』、2016年11月11日、30面
 - ・「特別展「動き出す!絵画」」『日高新報』、2016年11月16日、10面
 - ・「若き洋画家支えたペール北山」『ニュース和歌山』、2016年11月19日、10面
 - ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年11月21日、16面
 - ・「A+1」朝日新聞(夕刊)、2016年11月25日、5面
 - ・「「動き出す!絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」開催中」『agusus』vol.449、2016年11月25日、p.43
 - ・「動き出す!絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」『Lism』vol.155、2016年12月号
 - ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年12月1日、18面
 - ・「動き出す!絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」『電車&ウォーク』2016年12月号、JR西日本、p.5
 - ・「動き出す!絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」『ニュース和歌山』、2016年12月3日、6面
 - ・「A+1」『朝日新聞』(夕刊)、2016年12月9日、4面
 - ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年12月11日、16面
 - ・「動き出す!絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」『ニュース和歌山』、2016年12月17日、5面
 - ・「県立近代美術館展覧会案内」『有田タイムス』、平成28年12月17日
 - ・「「動き出す!絵画」展・来館者1万人達成」ウェブサイト『和歌山放送ニュース』2016年12月20日
 - ・「動き出す!絵画」『芸術新潮』第67巻第12号(通巻804号)、2016年12月25日、p.120
 - ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2017年1月1日、26面
 - ・「A+1」『朝日新聞』(夕刊)、2017年1月6日、4面

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
資 4-14	北山清太郎	椿貞雄宛 葉書	1915(大正4)年3月26日付		14.0×9.0	米沢市上杉博物館
資 4-15	北山清太郎/美術雑誌社	『現代の美術社主催第一回美術展覧会出品目録』	1915(大正4)年10月発行		19.2×13.0×0.2	和歌山県立近代美術館
資 4-16	北山清太郎/美術社	『草土社第二回美術展覧会出品目録』	1916(大正5)年4月発行		19.0×13.0×0.2	和歌山県立近代美術館
資 4-17	木村莊八/草土社事務所編/洛陽堂	『第三回草土社展覧会出品目録』	1916(大正5)年11月発行		18.8×12.8×0.3	和歌山県立近代美術館
資 4-18	木村莊八/草土社事務所[推定]	『第四回草土社展覧会出品目録』	1917(大正6)年4月発行		27.3×39.4	米沢市上杉博物館
資 4-19	木村莊八/草土社事務所	『草土社第五回美術展覧会出品目録』	1917(大正6)年12月発行		18.8×12.8×0.2	和歌山県立近代美術館
資 4-20	木村莊八/草土社事務所	『草土社第六回美術展覧会出品目録』	1918(大正7)年12月発行		18.4×12.8×0.4	東京都現代美術館美術図書室
資 4-21	木村莊八/草土社事務所	『草土社第七回美術展覧会出品目録』	1919(大正8)年12月発行		18.6×13.0×0.2	和歌山県立近代美術館
資 4-22	木村莊八/草土社事務所	『草土社第八回美術展覧会出品目録』	1920(大正9)年12月発行		18.7×12.8×0.3	下関市立美術館
資 4-23	高石徳三郎/草土社事務所[推定]	『草土社第九回美術展覧会出品目録』	1922(大正11)年11月発行		18.8×13.0×0.3	下関市立美術館
資 4-24	北山清太郎/美術社	『美術雑誌』創刊号	1915(大正4)年11月20日発行		22.5×15.2×0.2	横浜美術館美術情報センター
資 4-25	北山清太郎/美術社	『美術雑誌』第1号	1916(大正5)年1月1日発行		21.9×14.8×0.6	個人蔵
資 4-26	北山清太郎/美術社	『美術雑誌』第2・3号	1916(大正5)年2月20日発行		21.7×15.0×0.9	国立新美術館
資 4-27	北山清太郎/美術社	『美術雑誌』臨時号	1916(大正5)年4月16日発行		32.0×23.9	東京文化財研究所
資 4-28	北山清太郎/美術社	『美術雑誌』第4号	1916(大正5)年7月1日発行		22.4×15.2×0.5	国立新美術館
資 4-29	北山清太郎/美術社	『美術雑誌』臨時号	1916(大正5)年7月17日発行		22.3×15.0×0.2	宮城県美術館

エピローグ 動き出す絵——北山清太郎と日本アニメーションの誕生

資 5-01	幸内 純一	なまぐら刀	1917(大正6)	デジタル復元映像 4分	東京国立近代美術館フィルムセンター[原版一部提供:松本夏樹]
資 5-02	北山清太郎	浦島太郎	1918(大正7)	デジタル復元映像 2分	東京国立近代美術館フィルムセンター[原版提供:松本夏樹]
資 5-03	長谷川誠也/博文館	『幼年世界』第8巻第10号	1918(大正7)年10月1日	22.0×15.0×0.7	大阪府立中央図書館 国際児童文学館
資 5-04	撮影者不詳	アニメーション原画作画中の北山清太郎(東京市麹町区の自宅にて)	1919(大正8)頃	写真	8.2×11.6 個人蔵
資 5-05	撮影者不詳	北山映画製作所の作画風景	1922(大正11)頃	写真[複製]	8.4×12.0 個人蔵
資 5-06	山本早苗	兎と亀	1924(大正13)	デジタル復元映像 9分	プラネット映画資料図書館



ポスター



チラシ



図録



鑑賞ガイド

2-1. なつやすみの美術館6 きろくときおく

- 会期：2016（平成 28）年 7月 2 日（土）～9月 19 日（月・祝）
会場：展示室 C（2 階）
主催：和歌山県立近代美術館
内容：学校教育と連携し、夏休み中の子供たちが積極的に美術館へ足を運べるように、また子供と大人が一緒に美術館のおもしろさに触られるように開催する展覧会の 6 回目。記録と記憶をテーマに、場所・人・物・時間・出来事・美術館という 6 つの章に分け、幅広い作品を選んで紹介した。
担当学芸員：奥村一郎
関連事業：・きろくときおくをめぐるワークショップ「なに？ぬの？」
主催：和歌山県、一般財団法人和歌山県文化振興財団
企画・運営協力：NPO 和歌山芸術文化支援協会
協力：和歌山県立近代美術館
日時：8月 28 日（日）10:00～12:00 20名
講師：妻木良三（美術家）
・フロアレクチャー（学芸員による展示解説）
日時：7月 30 日（土）21名、8月 21 日（日）9名、9月 19 日（月・祝）10名 各 14:00～ 奥村一郎
・子ども美術館部「おぼえるってどんなこと」
日時：8月 6 日（土）24名 14:00～ 青木加苗
・子どもギャラリートーク
日時：7月 31 日（日）7名、8月 14 日（日）15名 各 14:00～ 青木加苗
・たまごせんせいと「わくわくアートツアー」（和歌山大学生による鑑賞ツアー）
日時：8月 10 日（水）～13 日（土）、16 日（火）～19 日（金）各日 3 回、① 11:00～、② 13:30～、③ 15:00～
8/10 ① 14 名、8/10 ② 44 名、8/10 ③ 5 名 8/11 ① 23 名、8/11 ② 8 名、8/11 ③ 3 名 8/12 ① 14 名、8/12 ② 11 名、8/12 ③ 6 名 8/13 ① 4 名、8/13 ② 11 名、8/13 ③ 2 名 8/16 ① 5 名、8/16 ② 9 名、8/16 ③ 6 名 8/17 ① 6 名、8/17 ② 11 名、8/17 ③ 4 名 8/18 ① 15 名、8/18 ② 27 名、8/18 ③ 3 名 8/19 ① 17 名、8/19 ② 8 名、8/19 ③ 5 名
制作物：・ポスター（B2 判、オフセット印刷）
・チラシ（A4 判、オフセット印刷）
・出品目録（A4 判 10 頁）
・ワークシート 3 種（小学生版、中学生版、高校生版）
・たまごせんせいのわくわく手帳（和歌山大学生による鑑賞ガイド）
・プレスリリース（A4 判 3 頁）
・英語版概要（A4 判 1 頁）
展示点数：35 作家 207 点
入場料金：一般 510 円（410 円）、大学生 300 円（250 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金 高校生以下、65 歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料
工夫：美術作品や美術館はさまざまの「記録や記憶」の集積であることに注目し、子供も大人も一緒にそれらを共有し対話できるような展示を試みた。和歌山という風土、家族といった身近な題材を扱った作品から始め、歴史や社会、そして美術館という施設や活動についても、理解を深められるように工夫した。
自己評価・課題・改善案：「なつやすみの美術館」シリーズと共に続けている和歌山美術館教育研究会の学校教員らとの連携による小学生・中学生・高校生向けのワークシートの制作や、和歌山大学学生によるガイドなど、一連の関連事業は定着してきた。「記録と記憶」というテーマで美術作品を見ることで、親と子、祖父母と子など異なる世代の対話も引き出すことができた。コレクションを中心に構成するシリーズであるため、前回までと同じ作品を出品することも多く、テーマや展示構成などの工夫をいかに継続していくかが課題である。
関連記事：・[無記名]「記録」延長線上に「美術」 和歌山、子ども向け企画展』『讀賣新聞』、2016 年 7 月 8 日、28 面
・[無記名]「記録や記憶をテーマ 保存の大切さ考えて」『産経新聞』、2016 年 7 月 12 日、27 面
・[無記名]「きろくときおく」探って 近代美術館で夏休み企画展』『わかやま新報』、2016 年 8 月 10 日、3 面
・[ラジオ] テレビ和歌山「きのくに 21」にて、2016 年 7 月 24 日放送
・[テレビ] 和歌山放送「ラジオでお届け！県政最前線」にて、2016 年 7 月 26 日放送
・[テレビ]「ホンモノの美術に学ぶ」テレビ和歌山「教育広報テレビ番組「はばたく紀の国」～教育は今～」にて、2016 年 12 月 4 日放送
情報掲載：・『なつやすみの美術館 6 きろくときおく』/ 和歌山・和歌山県立近代美術館『SAVVY』2016 年 5 月号、p.63
・「なつやすみの美術館 6 きろくときおく」『朝日新聞』、2016 年 6 月 4 日、10 面
・「なつやすみの美術館 6 きろくときおく」『讀賣新聞』、2016 年 6 月 4 日、16 面
・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016 年 6 月 21 日、16 面
・「なつやすみの美術館 6 きろくときおく」『WACA-P』vol.70、p.7
・「カルチャーインフォメーション」『WACA-P』vol.68、p.8
・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016 年 7 月 1 日、14 面
・「なつやすみの美術館 6 きろくときおく」『電車&ウォーク』2016 年 7 月号、JR 西日本、p.5
・「なつやすみの美術館 6 きろくときおく」『地域創造レター』7 月号 No.255、地域創造、p.9
・「展覧会のテーマは「記録と記憶」大人も子どもと一緒に楽しんで」『リビング和歌山 夏休みおでかけガイド』和歌山リビング新聞社、2016 年 7 月 9 日、p.3
・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016 年 7 月 11 日、14 面
・「なつやすみの美術館 6 きろくときおく」『わかやま新報』、2016 年 7 月 20 日、3 面

2-2. 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた

- 会期：2017（平成 29）年 1月 27 日（金）～3月 26 日（日）
会場：展示室 C（2階）
主催：和歌山県立近代美術館
内容：2013（平成 26）年度に寄贈を受けた作品を初公開するとともに、実験的な制作を続け、関西の美術を牽引してきた泉茂（1922～1995）の画業を紹介した。
担当学芸員：植野比佐見
関連事業：
 - ・ジャズ・ライブ「探求を越えた発見。自己への挑戦。」
 - 日時：2月 11 日（土・祝）115 名 14:00～
 - 演奏：川嶋哲郎（サックス奏者）
 - ・こども美術館部「ぶぶんとぜんたい」
 - 日時：2月 18 日（土）5 名 14:00～ 青木加苗
 - ・講演会「泉茂の若き日々 デモクラートの活動を中心に」
 - 日時：2月 25 日（土）22 名 14:00～
 - 講師：安來正博（国立国際美術館主任研究員）
 - ・フロアレクチャー（学芸員による展示解説）
 - 日時：3月 11 日（土）27 名 14:00～ 植野比佐見
 - ・講演会「泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」
 - 日時：3月 25 日（土）28 名 14:00～
 - 講師：植野比佐見（当館主任学芸員）- 制作物：
 - ・ポスター（B2 判、オフセット印刷）
 - ・チラシ（A4 判、オフセット印刷）
 - ・出品目録（A4 判 4 頁）
 - ・プレスリリース（A4 判 3 頁）
 - ・英語版概要（A4 判 1 頁）
- 展示点数：2 作家 179 点、資料 11 点
- 入场料金：一般 510 円（410 円）、大学生 300 円（250 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金
- 工夫：デモクラート美術家協会での活動により 1950 年代の版画家という印象が強い泉茂の画業を再考し、1960 年代以降の作風の展開も視野に收め、魅力的な作家であることをあらためて紹介した。大阪市内のギャラリーで同時期に開催された泉茂展に協力したほか、コンサートや講演会を充実させることで新たな層の集客を目指した。
- 自己評価・課題・改善案：没後 20 年を経て、作家を知る世代、そして知らない世代にもその画業をあらためて紹介することができた。大胆な作風の展開を繰り返したこととは、泉茂という特異な個性をもつ画家にとって必要であったことを改めて呈示し、これまでにはない回顧展という評価を得られた。また、この展覧会を機に、版画を中心だった当館の泉茂作品に新たな油彩画作品を加えることができた。図録を作成できなかつたことは残念だが、その画業を記録として残すことの意義を痛切に感じた。
- 関連記事：
 - ・[無記名]「変化求めた画業たどる」『わかやま新報』、2017 年 2 月 1 日、3 面
 - ・[無記名]「初期の版画から晩年まで 190 点」『産経新聞』、2017 年 2 月 2 日、25 面
 - ・成田有佳「多様な表現 泉茂の 180 点」『毎日新聞』、2017 年 2 月 23 日、25 面
 - ・今岡竜弥「作風変化 泉茂の息遣い」『讀賣新聞』（夕刊）、2017 年 3 月 6 日、2 面
 - ・清水有香「湧き出るイメージ」『毎日新聞』（夕刊）、2017 年 3 月 8 日、7 面
- 情報掲載：
 - ・「ミュージアム 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」『紀州浪漫』vol.59 2016 冬号、和歌山県観光連盟、2016 年 12 月 1 日、p.19
 - ・「アート 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」『NATTS』vol.195、京阪神エルマガジン社、2017 年 1 月、p.12
 - ・「和歌山県立近代美術館便り 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」『WACA-P』vol.71 2017 年 1・2 月号、和歌山県、p.7
 - ・「カルチャーインフォメーション」『WACA-P』vol.71 2017 年 1・2 月号、和歌山県、p.8
 - ・「泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」『月刊ギャラリー』2017 vol.1 通巻 381 号、ギャラリーステーション、p.47
 - ・「泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」『電車&ウォーク』2017 1、JR 西日本
 - ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2017 年 1 月 11 日、20 面
 - ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2017 年 1 月 21 日、11 面
 - ・「A+1」『朝日新聞』（夕刊）、2017 年 11 月 27 日、4 面
 - ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2017 年 2 月 1 日、14 面
 - ・「サックス奏者の川嶋さん 11 日 近代美術館でライブ」『わかやま新報』、2017 年 2 月 10 日、7 面
 - ・「A+1」『朝日新聞』（夕刊）、2017 年 2 月 10 日、5 面
 - ・「絵画展×ジャズ 川嶋さんサックス演奏」『讀賣新聞』、2017 年 2 月 10 日、25 面
 - ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2017 年 2 月 11 日、16 面
 - ・「ミュージアム 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」『紀州浪漫』vol.60 2017 春号、和歌山県観光連盟、2017 年 3 月 1 日、p.19
 - ・「カルチャーインフォメーション」『WACA-P』vol.72 2017 年 3・4 月号、和歌山県、p.7
 - ・「Shigeru Izumi "How to Make a Handsome Painting"」『Kansai Scene』#202、March 2017、p.10

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
146	泉茂	RF1002	1979 (昭和 54)	油彩、キャンバス	161.8 × 130.2	
147	泉茂	RF1001	1979 (昭和 54)	油彩、キャンバス	162.2 × 130.5	
148	泉茂	伸びる三角	1981 (昭和 56)	油彩、キャンバス	260.0 × 196.0	
149	泉茂	皺三角	1983 (昭和 58)	油彩、キャンバス	163.0 × 130.8	
150	泉茂	割れる三角	1983 (昭和 58)	油彩、キャンバス	259.0 × 194.0	
151	泉茂	割れる矩形	1983 (昭和 58)	油彩、キャンバス	259.0 × 194.0	
152	泉茂	バアード オブ トライアングル	1987 (昭和 62) 頃	アクリル、キャンバス	194.6 × 131	泉照子氏寄贈
153	泉茂	秋のソナチネ	1987 (昭和 62)	アクリル絵具、キャンバス	131.0 × 162.8	
154	泉茂	ラブソディ・イン・オータム	1987 (昭和 62)	アクリル絵具、キャンバス	130.4 × 194.1	
155	泉茂	[不詳]	1986 (昭和 61) 頃	アクリル絵具、キャンバス	130.0 × 89.5	泉照子氏寄贈
156	泉茂	鎮魂歌	1988 (昭和 63)	アクリル絵具、キャンバス	260.0 × 195.3	
157-162	泉茂	版画集『Tabigeinin』より 6 点	1990 (平成 2) [1992 年手稿] シルクスクリーン・色鉛筆、紙			泉照子氏寄贈
		1: Elephant Man			55.1 × 38.0	
		2: Top Runner			55.1 × 38.0	
		3: Ishinoue ni Sannenn			55.1 × 38.0	
		4: Kirareyosaburo			55.1 × 38.0	
		5: Humoresque			55.1 × 38.0	
		6: A heavy drinker			55.1 × 38.0	
163-170	泉茂	"A line drawing for color シリーズより 8 点"	1983 (昭和 58)	ソフトグランドエッチング・色鉛筆、紙		泉照子氏寄贈
		1: 23.7 × 17.9			5: 23.7 × 17.9	
		2: 23.7 × 17.9			6: 23.7 × 17.9	
		3: 23.7 × 17.9			7: 23.7 × 17.9	
		4: 23.7 × 17.9			8: 23.7 × 17.9	
171	泉茂	[不詳]	1987 (昭和 62)	水彩、紙	55.5 × 76.1	泉照子氏寄贈
172	泉茂	[不詳]	1986 (昭和 61) 頃	水彩、紙	55.4 × 74.3	泉照子氏寄贈
173	泉茂	森の唄	1988 (昭和 63)	アクリル絵具、キャンバス	162.0 × 130.5	泉照子氏寄贈
174	泉茂	[不詳]	1990 (平成 2) 頃	アクリル絵具、キャンバス	162.0 × 130.5	泉照子氏寄贈
175	泉茂	闇の音	1990 (平成 2)	アクリル絵具、キャンバス	162.0 × 130.4	泉照子氏寄贈
176	泉茂	聖域	1991 (平成 3)	アクリル絵具、キャンバス	194.4 × 162.3	
177	泉茂	侵入	1991 (平成 3)	アクリル絵具、キャンバス	194.0 × 162.5	
178	泉茂	分裂	1992 (平成 4)	アクリル絵具、キャンバス	194.3 × 162.2	
179	泉茂	[不詳]	1992 (平成 4)	アクリル絵具、キャンバス	194.1 × 162.4	



ポスター



チラシ

3-1. コレクション展 2016一夏

会期：2016（平成28）年6月7日（火）～9月4日（日）

会場：展示室A（1階）

内容：所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心とした近現代美術の秀作を展示した。

担当学芸員：奥村泰彦

制作物：出品目録（A4判6頁）

展示点数：74作家92点

入場料金：一般340円（270円）、大学生230円（180円）（ ）内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料 特集展示「ドローイング—水彩・パステル・紙の世界」と共通

工夫：入館者の多い時期に当たるため、作品の保全に配慮しつつ見やすい展示空間になるように工夫した。和歌山ゆかりの作家を交えて日本の近代美術の歴史を概観し、戦後から現代にかけては海外作家の作品も交えて紹介した。また版画作品で季節感の表されたコーナーを設けた。

自己評価・課題・改善案：事業費も限られた中で、会期中全面的な展示替えを行うことはできなかったが、それでも日本画7点と版画16点は展示替えした。当館の豊富なコレクションを再確認し、展示のテーマ、新たな構成を今後も試みていきたい。

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名／題名	制作年／発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵／備考
和歌山ゆかりの作家と近現代の美術 明治から大正へ						
1	神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈
2	神中 糸子	妙義山	1918(大正7)頃	油彩、キャンバス	60.8×50.0	
3	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
4	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
5	保田 龍門	少年	1912(明治45/大正元)	油彩、キャンバス	45.8×60.6	保田春彦氏寄贈
6	保田 龍門	アンドレの首	1922(大正11)	ブロンズ	20.3×20.0×20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈
7	建畠 大夢	感に打たれた女	1932(昭和7)/鑄造年不明(生前鋳造)	ブロンズ	高さ161.0cm	
8	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
9	高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.3	
『月映』の3人—恩地孝四郎展に寄せて						
10	田中 恭吉	初夏	1912(明治45)	油彩、キャンバス	45.8×33.6	恩地邦郎氏寄贈
11	田中 恭吉	自像	1914(大正3)	油彩、板	33.0×23.4	恩地邦郎氏寄贈
12	田中 恭吉	バラの刺	1914(大正3)	油彩、キャンバス	45.5×33.4	恩地邦郎氏寄贈
13	恩地 孝四郎	[推定]風景	大正初期頃	油彩、キャンバス	33.4×45.5	恩地邦郎氏寄贈
14	恩地 孝四郎	妻のぶ像	1916(大正5)	油彩、キャンバス	60.6×40.9	恩地邦郎氏寄贈
15	恩地 孝四郎	印象	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	41.2×31.7	
16	藤森 静雄	花	1915(大正4)	油彩、キャンバス	33.0×24.0	恩地邦郎氏寄贈
17	藤森 静雄	眠る少女	大正初期頃	油彩、キャンバス	23.8×32.6	恩地邦郎氏寄贈
和歌山ゆかりの作家と近現代の美術 日本画						
18	下村 観山	白描魔障図	1910(明治43)	墨、絹	67.2×164.6	
19	山口 八九子	観蓮図	1925(大正14)	墨・彩色、紙	138.8×32.8	
20	富岡 鉄斎	漁夫假傲図	1920(大正9)	顔料・墨、紙	133.2×31.8	瀧川正徳氏、作子氏寄贈
21	川村 曼舟	移る潮	1926(大正15)	顔料、絹	119.8×144.0	加納庸元氏寄贈
22	日高 昌克	夏山雨後図	1957(昭和32)	墨・彩色、紙	40.5×45.5	青木正夫氏寄贈
23	川端 龍子	白浜・円月島	1958(昭和33)	墨・顔料、紙	48.5×72.0	川端紀美子氏寄贈
24	亀井 玄兵衛	夏の夜	昭和初期	墨・顔料、紙	51.6×78.4	亀井寛子氏寄贈
和歌山ゆかりの作家と近現代の美術 フランスに学んだ画家たち						
25	佐伯 裕三	帽子をかぶる自画像	1922(大正11)	油彩、キャンバス	73.3×53.9	玉井一郎氏寄贈
26	佐伯 裕三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	玉井一郎氏寄贈
27	佐伯 裕三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正14)	油彩、キャンバス	72.3×60.8	玉井一郎氏寄贈
28	佐伯 裕三	下落合風景	1926(大正15)頃	油彩、キャンバス	49.7×60.4	玉井一郎氏寄贈
29	佐伯 裕三	オプセルヴァトワール附近	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	73.2×91.8	玉井一郎氏寄贈
30	里見 勝藏	マダム Y.S.	1924(大正13)	油彩、キャンバス	64.7×53.0	個人蔵
31	原 勝四郎	画工像	1932(昭和7)	油彩、厚紙	65.0×52.6	
32	川口 軌外	キャフェにて	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	79.0×64.0	個人蔵
33	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
34	木下 孝則	七面鳥	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	130.5×80.4	
35	木下 義謙	カーニュ風景	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	62.0×73.2	作者寄贈
36	木下 雅子	肘つく女	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	72.8×61.0	木下義謙氏寄贈
和歌山ゆかりの作家と近現代の美術 アメリカに渡った画家たち						
37	浜地 清松	赤い帽子	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	100.0×73.0	
38	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0	
39	石垣 栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
40	杉本、ヘンリー	カーメルハイルンド海辺	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	80.6×106.0	作者寄贈
41	高井 貞二	感情の遊離	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	150.7×91.0	作者寄贈
42	松田 文雄	老鍛冶屋	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	162.0×94.5	森林平氏寄贈
43	松本 納介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
和歌山ゆかりの作家と近現代の美術 戦後の表現						
44	泉 茂	しゃも	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	65.2×48.5	

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
45	麿 嘴	鉄骨とクレーンと人と	1954 (昭和 29)	油彩、板	116.5 × 91.6	
46	池田 满寿夫	骨を持つ人 (C)	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	72.8 × 57.2	
47	中西 康進	独房の喜劇	1959 (昭和 34)	油彩、布、板、他	91.0 × 182.0	作者寄贈
48	オノサト トシノブ	A-11	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	116.0 × 91.2	
49	建島 覚造	有機体	1957 (昭和 32)	セメント、鉄	124.0 × 95.0 × 56.0	作者寄贈
50	今井 俊満	蝕	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	130.8 × 191.5	
51	津高 和一	アシタハキノウニナル	1964 (昭和 39)	油彩、キャンバス	193.0 × 129.8	
52	杉全 直	√と題して	1961 (昭和 36)	油彩、キャンバス	162.3 × 193.7	
53	村井 正誠	風の中の除幕式	1968 (昭和 43)	油彩、キャンバス	194.5 × 259.8	
現代の美術						
54	ウェッセルマン, トム	シースケープ #8	1966 (昭和 41)	アクリル絵具、キャンバス	172.9 × 106.8	
55	バスキア, ジャン=ミッシェル	無題	1983 (昭和 58)	シリクスクリーン、キャンバス	146.0 × 192.0	
56	シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6 × 359.9 × 270.4	
57	ノグチ, イサム	空虚	1971 (昭和 46)/1979 (昭和 54) 鋳造	ブロンズ	116.0 × 86.0 × 66.0	
58	ロスコ, マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6	
59	ヘップワース, バーバラ	絃を張った円板 (太陽)	1969 (昭和 44)	ブロンズ、紐	48.0 × 47.0 × 8.5	
60	李禹煥	点より	1980 (昭和 55)	岩彩、キャンバス	193.9 × 258.8	
61	菅井 済	Maru	1964 (昭和 39)	油彩、キャンバス	194.3 × 154.3	
62	野田 裕示	WORK 299	1987 (昭和 62)	アクリル絵具・木、キャンバス	229.5 × 187.0 × 9.4	
版画の名品 季節によせて						
63	船 伊之助	朝顔	1935 (昭和 10)	石版、紙	74.5 × 54.0	
64	浜口 陽三	西瓜	1981 (昭和 56)	銅版、紙	23.0 × 54.0	
65	織田 一磨	加茂川の花火 (画集風景版画の内)	1931 (昭和 6)	石版、紙	31.4 × 44.6	
66	徳力 富吉郎	祇園町の夜更	1933 (昭和 8)	木版、紙	27.4 × 39.0	
67	徳力 富吉郎	道頓堀の夜	1938 (昭和 13)	木版、紙	22.5 × 30.0	
68	駒井 哲郎	星座	1962 (昭和 37)	銅版、紙	27.0 × 35.8	
69	深沢 幸雄	新しい夜	1961 (昭和 36)	銅版、紙	36.0 × 33.8	
70	浜田 知明	詩人	1963 (昭和 38)	銅版、紙	25.6 × 20.8	
71	黒崎 彰	浄夜 66	1968 (昭和 43)	木版、紙	53.8 × 71.3	
72	中林 忠良	夜の碑	1974 (昭和 49)	銅版、紙	44.8 × 56.1	
73	ダイヌ, ジム	14 色の木版によるバスローブ	1982 (昭和 57)	木版、紙	166.7 × 90.3	
74	ホックニー, デヴィッド	太い線と細い線による水のリトグラフ (緑と水色と暗い青の淡彩)	1978-80 (昭和 53-55)	石版、紙	50.9 × 70.5	
75	ブラック, ジョルジュ	コンポジション (静物 I)	1911 (明治 44)/1950 (昭和 25) 刷	銅版、紙	34.7 × 21.8	
76	ピカソ, パブロ	ミノトーロマシー	1935 (昭和 10)	銅版、紙	49.5 × 69.0	
77	レジエ, フェルナン	軽業師マリー	1948 (昭和 23)	石版、紙	55.2 × 42.9	
78	土谷 武	蟬 I	1981 (昭和 56)	鉄	67.0 × 198.0 × 74.0	
展示室外の作品						
エントランス、展示ホール周辺						
79	ステラ, フランク	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル、キャンバス	304.0 × 760.0	
80	クルーガー, バーバラ	無題 (私を覚えていて)	1988 (昭和 63)	シリクスクリーン、ビニール	378.7 × 268.1	
81	建島 覚造	DISK 4	1977 (昭和 52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0	
82	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	
83	保田 春彦	格子と壁	1998 (平成 10)	ブロンズ	60.0 × 29.9 × 44.0	
84	グレコ, エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5	玉井一郎氏寄贈
85	北堅 吉彦	山並ー senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0 × 1020.0	作者の厚意により保存
2階ホワイエ						
86	フランガン, バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.0	
ライトコート						
87	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成 6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
88	ノグチ, イサム	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
屋外						
89	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	
90	建島 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	
91	スネルソン, ケネス	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	作者寄贈
92	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈

3-2. 特集展示 ドローイング—水彩・パステル・紙の世界

会期: 2016(平成28)年6月7日(火)～9月4日(日)

会場: 展示室B(1階)

内容: 特集展示として「ドローイング—水彩・パステル・紙の世界」を行った。

担当学芸員: 奥村泰彦

関連事業: ・フロアレクチャー(学芸員による展示解説)

日時: 6月19日(日) 8名、7月18日(月・祝) 5名、8月20日(土) 2名、9月3日(土) 5名 14:00～ 奥村泰彦

・こども美術館部「ドロドロ?! ドローイング」

日時: 6月11日(土) 16名 14:00～ 青木加苗

制作物: ・出品目録(A4判2頁)

・プレスリリース(A4判3頁)

・英語版概要(A4判1頁)

展示点数: 32作家87点

入場料金: 一般340円(270円)、大学生230円(180円)()内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料 「コレクション展 2016－夏」と共通

工夫: 学校の夏季休暇中に開催されることを考慮し、鉛筆や水彩絵具など多くの人が使った経験のある画材による作品により構成した。同時に、現代美術においてドローイングが重視されていることに鑑み、描写の直接性と計画性という二面から表現の特質を紹介した。また彫刻作品とドローイングを並べて紹介することで、展示が単調になることを避けた。

自己評価・課題・改善案: 素材に対する親しみを入口に、例えば鉛筆という同じ画材を用いて、自分にでも引けそうな単純な線から複雑な描写まで、表現には大きな広がりがあることを伝えることができた。作家や作品に対する興味を更に広げられるような材料を提示することが課題である。

・「集まれ こども美術館部」『ニュース和歌山』、2016年6月22日、4面

関連記事: ・[無記名]「身近な画材で生き生き」『讀賣新聞』、2016年6月27日、25面

・「ドローイング～水彩・パステル・紙の世界」『ニュース和歌山』、2016年6月4日、7面

情報掲載: ・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年6月21日、16面

・「カルチャーインフォメーション」『WACA-P』vol.68、2016年7・8月号、和歌山県、p.8

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年7月1日、14面

・「A+1」『朝日新聞』(夕刊)、2016年7月1日、6面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年7月11日、14面

・「ギャラリー」『わかやま新報』、2016年7月20日、3面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年7月21日、14面

・「A+1」『朝日新聞』(夕刊)、2016年7月29日、4面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年8月1日、14面

・「ギャラリー」『わかやま新報』、2016年8月10日、3面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年8月11日、14面

・「ギャラリー」『わかやま新報』、2016年8月17日、3面

・「A+1」『朝日新聞』(夕刊)、2016年7月19日、4面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年8月21日、14面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年9月1日、16面

・「A+1」『朝日新聞』(夕刊)、2016年9月2日、5面



「特集展示 ドローイング—水彩・パステル・紙の世界」 出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
1. イントロダクション						
1	フランシス・サム	無題	1970(昭和45)	アクリル絵具、紙	110.0×79.6	個人蔵
2	クリスト	囲まれた島々 / フロリダ州マイアミ、ビスケーン湾のためのプロジェクト	1983(昭和58)	鉛筆、パステル、布、紙、他	144.6×165.0	
2. 写すドローイング						
3	シニヤック、ポール	[フランスの港]	1929-30(昭和4-5)	水彩・鉛筆、紙	28.7×44.3	個人蔵
4	デュフィ、ラウル	窓辺	1926(昭和元)頃	水彩、紙	55.0×42.9	個人蔵
5	ロート、アンドレ	風景	制作年不詳	水彩、紙	35.4×53.8	
6	神中糸子	模写 フォンタネージ作《ローマ水道跡》	1878-80(明治11-13)	鉛筆、紙	12.5×23.5	神中茂次氏寄贈
7	神中糸子	模写 フォンタネージ作《風景》	1878-80(明治11-13)	鉛筆、紙	15.5×23.4	神中茂次氏寄贈
8	神中糸子	風景	1878-80(明治11-13)	鉛筆、紙	13.2×20.8	神中茂次氏寄贈
9	神中糸子	飯田町風景	1879(明治12)	鉛筆、紙	18.7×23.9	神中茂次氏寄贈
10	川口軌外	雲	1924-28(大正13-昭和3)	不透明水彩、紙	49.7×64.9	川口京村氏寄贈
11	川口軌外	ひまわり	1931(昭和6)	不透明水彩、紙	64.9×49.8	川口京村氏寄贈
12	川口軌外	水浴	1924-28(大正13-昭和3)頃	不透明水彩、紙	49.1×65.0	
13	佐伯祐三	自画像	1919(大正8)頃	インク、紙	9.2×8.9	玉井一郎氏寄贈

3-4. 特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現

会期：2016（平成 28）年 9月 13 日（火）～11月 3 日（木・祝）

会場：展示室 B（1階）

内容：特集展示として「薔薇色の鏡 銅版画の技と表現」を行った。

担当学芸員：植野比佐見

関連事業：・フロアレクチャー（学芸員による展示解説）

日時：9月 24 日（土）9名、10月 22 日（土）6名 14:00～ 植野比佐見

・子ども美術館部「ひっくり返して見てみよう」

日時：10月 8 日（土）4名 14:00～ 青木加苗

制作物：・出品目録（A4 判 6 頁）

・解説パンフレット（A4 判 4 頁）

・プレスリリース（A4 判 3 頁）

・英語版概要（A4 判 1 頁）

展示点数：34 作家 120 点

入場料金：一般 340 円（270 円）、大学生 230 円（180 円）（ ）内は 20 名以上の団体料金

高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料 「コレクション展 2016－秋」と共通

工夫：創作版画を源とする美術作品としての銅版画にどのような背景があるのかを示した。繊細な美術表現が、複製技術のために開発されてきた技法であることをパンフレットで解説した。

自己評価・課題・改善案：江戸時代以降の書籍や地図など、精緻な印刷術として銅版を駆使した資料を個人コレクションの協力を得て紹介した。実用的な印刷術のなかからデザインの意識、美術への志向が芽生えてきた様子を探り、戦前の木版画中心の創作版画運動のなかでの銅版画独自の魅力と、戦後の銅版画家たちの活躍を紹介することで、日常の実用的な技術も、芸術の手段となる可能性があることを示すことができた。

関連記事：・[無記名]「銅版画味わい方多彩」『讀賣新聞』、2016 年 9 月 22 日、29 面

・[無記名]「名画の作者気分で こども美術館部が活動中！」『わかやま新報』、2016 年 10 月 12 日、3 面

情報掲載：・「アート」『NATTS』2016 年 9 月号、p.16

・「ミュージアム」『紀州浪漫』vol.58 2016 秋、和歌山県観光連盟、p.19

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016 年 9 月 11 日、14 面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016 年 9 月 21 日、14 面

・「イベントカレンダー」『ニュース和歌山』、2016 年 9 月 24 日、6 面

・「イベントカレンダー」『ニュース和歌山』、2016 年 10 月 1 日、6 面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016 年 10 月 1 日、14 面

・「A+1」『朝日新聞』（夕刊）、2016 年 10 月 7 日、4 面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016 年 10 月 11 日、14 面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2016 年 10 月 21 日、14 面

・「A+1」『朝日新聞』（夕刊）、2016 年 10 月 21 日、4 面

「特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現」 出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名／題名	制作年／発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵／備考
1	駒井 哲郎	腐刻画	1966(昭和 41)	エッティング・ドライポイント・ルーレット、紙	26.9 × 16.6	中村太郎氏・光子氏寄贈
2	駒井 哲郎	《腐刻画》廃版刷	1966(昭和 41)[1980 年刷]	エッティング・ドライポイント・ルーレット、紙	26.9 × 16.6	中村太郎氏・光子氏寄贈
3	駒井 哲郎	《腐刻画》原版	1966(昭和 41)	エッティング・ドライポイント・ルーレット、銅板(鍍金)	27.3 × 16.7	中村太郎氏・光子氏寄贈
4	駒井 哲郎、安東 次男	詩画集『人それを呼んで反歌という』より『腐刻画』	1965(昭和 40)	エッティング・ドライポイント・ルーレット、紙	26.3 × 16.0	
5	結城 正明	ヒポクラテス像	1877(明治 10)	エッティング、紙	64.0 × 47.2	個人蔵
6	亜欽堂 田善	大日本金竜山之図	制作年不詳	エッティング、紙	25.6 × 52.7	個人蔵
7	細井 松夫	『日光山真図』	1886(明治 19)	エッティング、紙	60.0 × 80.8	個人蔵
8	森 琴石(響泉堂)	武藤吉次郎『改正大阪区分細見図』	1876(明治 9)	エッティング・木版、紙	68.5 × 92.1	個人蔵
9	森 琴石(響泉堂)	永田方正『暗射地球誤図』	1875(明治 8)	エッティング・合羽版、紙	71.2 × 91.3	個人蔵
10	松田 緑山(玄々堂)	ほか版画資料貼込帖『銅版画帖』	幕末 - 明治	エッティング、紙、冊子	29.0 × 41.0 × 2.8	個人蔵
11	森 琴石(響泉堂)ほか	響泉堂等銅版画資料貼込帖	1877-79(明治 10-12) 頃	エッティング、紙、冊子	31.0 × 21.8 × 3.2	個人蔵
12	細井 松夫	株券(印紙: 松田緑山)	1882(明治 15)	エッティング、紙	19.9 × 24.3	個人蔵
13	キヨッソーネ、エドアルド	地券	1876(明治 9)	エンゲレーヴィング、紙	25.4 × 32.8	個人蔵
14	森 琴石(響泉堂)	『小学用地図』	1877(明治 10)	エッティング、木版、紙、冊子	22.2 × 14.7 × 0.3	個人蔵
15	若林 清茂	『累年必要日曜早見表』	1886(明治 19)	エッティング、紙	18.0 × 12.4 × 0.2	個人蔵
16	岸田 劉生	『天地創造』より「欲望」	1914(大正 3)[1975 年刷]	エッティング、紙	12.6 × 12.6	
17	岸田 劉生	『天地創造』より「怒れるアダム」	1914(大正 3)[1975 年刷]	エッティング、紙	12.6 × 12.9	
18	岸田 劉生	『天地創造』より「石を噛む人」	1914(大正 3)[1975 年刷]	エッティング、紙	12.6 × 12.6	
19	[中村 鑑]	若き女	制作年不詳	エッティング、紙	10.5 × 7.5	保田春彦氏寄贈
20	[中村 鑑]	男の像	制作年不詳	エッティング、紙	15.7 × 12.0	保田春彦氏寄贈
21	[中村 鑑]	若き男	制作年不詳	エッティング、紙	8.9 × 6.5	保田春彦氏寄贈
22	石井 柏亭	堤の道哲『方寸』1-2	1907(明治 40)	エッティング、紙、冊子	16.1 × 11.3	個人蔵
23	森田 恒友	河岸『方寸』1-6	1909(明治 42)	エッティング、紙、冊子	15.7 × 10.8	個人蔵
24	石井 柏亭	遍路『丹青』1-1	1938(昭和 13)	エッティング、紙、冊子	15.1 × 12.0	

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
96	浜田 知明	刑場 A	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	24.9 × 18.3	
97	浜田 知明	初年兵哀歌 銃架のかげ	1951 (昭和 26)	エッチング・アクアチント、紙	19.0 × 16.8	
98	浜田 知明	初年兵哀歌 風景一隅	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	18.0 × 23.4	
99	浜田 知明	初年兵哀歌 風景	1952 (昭和 27)	エッチング、紙	14.8 × 20.3	
100	浜田 知明	初年兵哀歌 歩哨	1951 (昭和 26)	エッチング・アクアチント、紙	29.6 × 20.7	
101	浜口 陽三	永代橋	1951 (昭和 26)	メゾチント、紙	8.8 × 10.7	
102	浜口 陽三	魚河岸の汽車	1951 (昭和 26)	メゾチント、紙	8.8 × 10.8	
103	浜口 陽三	大川端	1951 (昭和 26)	メゾチント、紙	9.8 × 10.6	
104	浜口 陽三	大川端	1951 (昭和 26)	メゾチント、紙	8.8 × 10.7	
105	浜口 陽三	堀割	1951 (昭和 26)	メゾチント、紙	8.8 × 10.6	
106	浜口 陽三	アスパラガス	1957 (昭和 32)	メゾチント、紙	29.5 × 44.1	
107	浜口 陽三	アスパラガス	1964 (昭和 39)	メゾチント、紙	40.8 × 29.4	
108	浜口 陽三	キャベツ	1960 (昭和 35)	メゾチント、紙	29.5 × 44.4	
109	浜口 陽三	ざくろとナイフ	1960 (昭和 35)	メゾチント、紙	23.3 × 53.6	
110	浜口 陽三	ざくろ	1957 (昭和 32)	メゾチント、紙	29.4 × 34.3	
111	浜口 陽三	毛糸と編棒	1964 (昭和 39)	メゾチント、紙	23.3 × 53.7	
112	南桂子	冬	1965 (昭和 40)	エッチング・ソフトグランドエッ칭・サンドペーパー、紙	33.8 × 28.8	
113	南桂子	風景	1960 (昭和 35)	エッチング・ソフトグランドエッ칭・サンドペーパー、紙	33.8 × 28.2	
114	菊池 伶司	Finger Sample	1968 (昭和 43)	エッチング・アクアチント、紙	36.3 × 39.5	金子光晴氏寄贈
115	菊池 伶司	Alligator Message	1968 (昭和 43)	エッチング・アクアチント・リフトグランドエッ칭、紙	42.5 × 36.4	金子光晴氏寄贈
116	菊池 伶司	Observer-1	1968 (昭和 43)	エッチング・アクアチント・リフトグランドエッ칭・ドライポイント・リトグラフ、紙	44.7 × 36.0	金子光晴氏寄贈
117	菊池 伶司	Writing-Lecture	1968 (昭和 43)	エッチング・アクアチント、紙	41.2 × 42.8	金子光晴氏寄贈
118	中林 忠良	Position '81・腐蝕 II	1981 (昭和 56)	エッチング・アクアチント、紙	44.3 × 65.3	
119	中林 忠良	Position '80・腐蝕 I	1980 (昭和 55)	エッチング・アクアチント、紙	44.4 × 65.0	
120	白木 ゆり	Sound -10	1999 (平成 11)	エッチング・ドライポイント、紙	174.0 × 117.0	作者寄贈



3-5. 大正の異色画家たち

(特別展「動き出す!絵画 ペール北山の夢 —モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」第二部)

会期: 2016(平成28)年11月19日(土)~2017(平成29)年1月15日(日)

会場: 展示室C(2階)

内容: 特別展「動き出す!絵画 ペール北山の夢 —モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」第二部としてコレクションを中心に大正期の個性的な作品を紹介した。

担当学芸員: 井上芳子

関連事業: フロアレクチャー(学芸員による展示解説)

日時: 11月27日(日) 20名、12月17日(土) 27名、1月14日(土) 45名 14:00~ 井上芳子

制作物: •出品目録(A4判6頁)
•プレスリリース(A4判1頁)
•英語版概要(A4判1頁)

展示点数: 63作家187点

入場料金: 一般340円(270円)、大学生230円(180円)()内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料

工夫: 「動き出す!絵画」展と関連づけつつ、洋画を主軸としている同展とは対照的に、北山清太郎が関わった版画作品や、同時期の国画創作協会関連作家を中心とする日本画を多く出品した。また川口軌外や佐伯祐三など1930年協会の作家たちの洋画や、建畠大夢、保田龍門の彫刻など当館の主要なコレクションをあわせて紹介した。

自己評価・課題・改善案: 竹久夢二の大正初期の作品を個人所蔵家の協力により展示でき、展覧会の構成に一層の意義と魅力を加えることができた。特別展を盛り上げるため、当館コレクションの代表作をできるだけ選ぶようにした。版画や日本画の展示には会期が長く、他館からの貸出依頼に応えられない作品が生じた。展示替え等の工夫が課題である。

情報掲載: •カルチャーアンフォーメーション『WACA-P』vol.70、和歌山県、2016年11月、p.8
•「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年11月11日、18面
•「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年11月21日、16面
•「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年12月1日、18面
•「イベントガイド」『和歌山特報』、2016年12月11日、16面
•「イベントガイド」『和歌山特報』、2017年1月1日、26面

「大正の異色画家たち」出品目録

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
ペール北山周辺の版画家たち①						
1	清宮彬	『フュウザン』第4号 表紙 花	1913(大正2)年3月発行	木版、紙	16.8×12.9	
2	清宮彬	第3回草土社展覧会ポスター	1916(大正5)	木版、紙	66.5×25.5	
3	清宮彬	第5回草土社展覧会ポスター	1917(大正6)	木版、紙	69.5×25.6	
4	清宮彬	第6回草土社展覧会ポスター	1918(大正7)	木版、紙	69.7×26.0	
5	岸田劉生	築地風景	1912(大正元)	木版、紙	16.3×23.0	
6	岸田劉生	The Earth	1915(大正4)	木版、紙	40.5×30.3	個人蔵
7	カンディンスキイ、ワシリー	『響き(Klänge)』山々	1911(明治44)/1913(大正2)発行	木版、紙、書籍	28.5×28.0×1.5	
8	カンディンスキイ、ワシリー	『黙鐘』第1巻第6号 口絵 カンディンスキイ クレンゲより1915(大正4)年5月発行	石版、紙、冊子	22.5×15.0×0.4		
9	シガル、アルトゥール	『デア・シュトルム(DER STURM)』表紙 生の喜び	1912(明治45)年2月発行	木版、紙、冊子	44.5×32.5×0.1	
10	メンス、カール	『デア・シュトルム(DER STURM)』表紙	1914(大正3)年6月発行	リノカット、紙、冊子	41.7×31.5×0.1	
11	DER STURM	木版画展覧会目録	1914(大正3)	印刷、紙、冊子	19.0×12.8×0.1	恩地邦郎氏寄贈
12	萬 鐘五郎	羅布かづく人	1924(大正13)	木版、紙	17.2×12.6	
13	リーチ、バーナード	天壇	1916(大正5)	エッチング、紙	27.3×29.9	個人蔵
ペール北山周辺の版画家たち②						
14	富本憲吉	壺(竹林月夜)	1920(大正9)頃	木版・手彩、紙	31.9×47.8	
15	南薰造	舟おろし	1910-1913(明治43-大正2)	木版、紙	21.8×10.7	
16	山本鼎	ブルターニュの小湾	1913(大正2)	木版、紙	15.2×21.7	
17	太田三郎	錢湯	1914(大正3)	木版、紙	21.4×15.3	
18	太田三郎	カフェーの女『現代の洋画』第23号より	1914(大正3)年2月発行	木版、紙	20.9×11.3	
19	池田永治	早春『現代の洋画』第23号より	1914(大正3)年2月発行	木版、紙	14.0×11.6	
20	岡本帰一	風景『現代の洋画』第23号より	1914(大正3)年2月発行	木版、紙	12.5×18.5	
21	岡本帰一	夕の街路『現代の洋画』第23号より	1914(大正3)年2月発行	木版、紙	14.0×15.2	
22	岡本帰一	静物『現代の洋画』第23号より	1914(大正3)年2月発行	木版、紙	13.0×15.4	
23	峰島尚志	花	1913(大正2)	木版、紙	27.2×19.6	個人蔵
日本版画俱楽部の版画家たち						
24	長谷川潔	牧神の午後(ステファン・マラレムの牧歌)	1916(大正5)	木版、紙	21.5×18.2	個人蔵
25	長谷川潔	ダンス B	1914(大正3)	木版、紙	30.7×21.3	
26	長谷川潔	トライビスト修道院礼拝堂	1916(大正5)	木版、紙	30.6×32.7	個人蔵
27	永瀬義郎	抱擁	1915(大正4)	木版、紙	30.0×21.3	
28	永瀬義郎	風景	1916(大正5)	木版、紙	20.9×14.6	個人蔵
29	広島新太郎	夕暮小景	1916(大正5)頃	木版、紙	23.1×18.4	個人蔵
30	広島新太郎	泊船	1916(大正5)頃	木版、紙	18.0×21.0	

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
96	野長瀬 晚花	初夏	1912 (明治 45)	顔料、絹	110.2 × 41.8	
97	野長瀬 晚花	島の女	1916 (大正 5) 頃	顔料、絹	145.1 × 51.7	
98	野長瀬 晚花	三味線を弾く女	1917 (大正 6) 頃	顔料、絹	136.1 × 127.0	
99	小野 竹喬	春浅き海辺	1918 (大正 7)	顔料、絹	30.0 × 43.0	
100	吹田 草牧	南国之初夏	1919 (大正 8) 頃	顔料、絹	127.0 × 42.1	
101	杉田 勇次郎	蔬菜	1925 (大正 14) 頃	顔料、絹	45.5 × 52.5	
102	岡本 神草	舞妓図	1920 (大正 9) 頃	顔料、絹	42.0 × 51.0	
近代的な美人画と都会風景						
103	橋口 五葉	髪梳ける女	1920 (大正 9)	木版、紙	44.0 × 32.7	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
104	橋口 五葉	化粧の女	1918 (大正 7)	木版、紙	51.2 × 36.3	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
105	橋口 五葉	耶馬渓	1918 (大正 7)	木版、紙	37.5 × 50.0	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
106	橋口 五葉	京都三条大橋	1920 (大正 9)	木版、紙	28.4 × 44.5	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
107	橋口 五葉	長襦袢を着たる女	1920 (大正 9)	木版、紙	47.1 × 13.5	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
108	橋口 五葉	夏衣の女	1920 (大正 9)	木版、紙	43.9 × 28.0	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
109	橋口 五葉	神戸之宵月	1920 (大正 9)	木版、紙	28.3 × 44.7	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
110	橋口 五葉	鴨	1920 (大正 9)	木版、紙	24.2 × 38.0	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
111	橋口 五葉	浴後之女	1920 (大正 9)	木版、紙	43.8 × 29.1	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
112	橋口 五葉	盆持てる女	1920 (大正 9)	木版、紙	38.4 × 25.2	(財) 世界リゾート博記念財團寄贈
113	戸張 孤雁	鏡の前	1914 (大正 3) 頃	木版、紙	38.5 × 26.7	
114	戸張 孤雁	女学生	1920 (大正 9)	木版、紙	37.9 × 25.0	
115	戸張 孤雁	千住大橋の雨	1913 (大正 2)	木版、紙	49.3 × 36.1	
116	戸張 孤雁	十二階		木版、紙	20.9 × 19.9	
117	石井 柏亭	東京十二景 よし町	1910 (明治 43)	木版、紙	33.7 × 20.6	
118	石井 柏亭	東京十二景 向じま	1915 (大正 4)	木版、紙	34.0 × 25.8	
119	石井 柏亭	東京十二景 芝うら	1916 (大正 5) 頃	木版、紙	33.0 × 22.3	
120	石井 柏亭	東京十二景 新ばし	1915 (大正 4) 頃	木版、紙	38.9 × 25.7	
121	石井 柏亭	東京十二景 下谷	1914 (大正 3)	木版、紙	34.6 × 21.1	
122	石井 柏亭	東京十二景 日本ばし	1915 (大正 4) 頃	木版、紙	34.5 × 21.7	
1920 年代の版画						
123	恩地 孝四郎	人体 少女『詩と版画』第 11 輯より	1925 (大正 14) 年 5 月発行	木版、紙	18.0 × 12.7	
124	恩地 孝四郎	人貌	1924 (大正 13)	木版、紙	17.0 × 23.6	
125	恩地 孝四郎	詩と版画社第一回版画展覧会ポスター	1924 (大正 13)	木版、紙	37.7 × 25.3	藤森素彦氏寄贈
126	恩地 孝四郎	人体考察 No.5	1924 (大正 13) 頃	木版、紙	12.4 × 14.3	
127	藤森 静雄	木を切る	1923 (大正 12)	木版、紙	26.1 × 20.4	藤森素彦氏寄贈
128	藤森 静雄	一つの命	1923 (大正 12)	木版、紙	15.0 × 22.0	藤森素彦氏寄贈
129	藤森 静雄	窓	1924 (大正 13)	木版、紙	18.3 × 12.3	藤森素彦氏寄贈
130	藤森 静雄	静物	1924 (大正 13)	木版、紙	15.8 × 11.8	藤森素彦氏寄贈
131	藤森 静雄	漁師の夫婦		木版、紙	27.2 × 36.3	藤森素彦氏寄贈
132	藤森 静雄	新潮社封筒图案	1923 (大正 12)	木版、紙	20.0 × 12.5	藤森素彦氏寄贈
133	川西 英	錢湯図	1920 (大正 9)	木版、紙	23.6 × 28.9	
134	小泉 癸巳男	静物		木版、紙	26.2 × 38.6	
135	逸見 享	旅情	1925 (大正 14)	木版、紙	11.2 × 13.5	藤森素彦氏寄贈
136	平川 清蔵	風景	1926 (昭和元)	木版、紙	26.8 × 35.0	
137	深澤 素一	風景	1925 (大正 14)	木版、紙	21.2 × 15.4	
138	川上 澄生	春の伏兵	1924 (大正 13)	木版、紙	23.4 × 33.0	
139	前川 千帆	少女	1927 (昭和 2)	木版、紙	27.4 × 21.4	
140	稲垣 知雄	如水館	1924 (大正 13)	木版、紙	20.2 × 29.4	
141	平塚 遼一	東京震災跡風景 あさくざ	1925 (大正 14)	木版、紙	28.3 × 21.2	
142	河合 卵之助	ほたるふくろ	1924 (大正 13)	エッチング、紙	19.5 × 11.5	藤森素彦氏寄贈
143	織田 一磨	感覚	1920 (大正 9)	石版、紙	20.7 × 24.6	
144	山口 進	静物	1926 (昭和元)	木版、紙	23.8 × 16.3	
145	徳力 富吉郎	水路のある風景		木版、紙	14.8 × 20.5	
146	村山 知義	『マヴォ』1	1924 (大正 13) 年 7 月発行	リノカット・印刷、紙、冊子	31.5 × 23.1 × 0.1	個人蔵
147	村山 知義	『マヴォ』2	1924 (大正 13) 年 8 月発行	リノカット・印刷、紙、冊子	31.0 × 23.0 × 0.1	個人蔵
148	村山 知義	『マヴォ』3	1924 (大正 13) 年 9 月発行	リノカット・印刷ほか、紙、冊子	31.1 × 23.3 × 0.2	個人蔵
149	村山 知義	『死刑宣告』萩原恭次郎著	1925 (大正 14) 年 10 月発行	リノカット、紙、書籍	22.7 × 16.9 × 1.9	個人蔵
150	河合 卵之介	『詩と版画』第 6 輯 表紙	1924 (大正 13) 年 7 月発行	木版、紙、冊子	25.3 × 18.3 × 0.4	
151	平塚 遼一	『詩と版画』第 7 輯 表紙	1924 (大正 13) 年 9 月発行	木版、紙、冊子	25.3 × 18.3 × 0.4	
152	恩地 孝四郎	『詩と版画』第 8 輯 表紙	1924 (大正 13) 年 11 月発行	木版、紙、冊子	25.5 × 18.8 × 0.2	
153	藤森 静雄	『詩と版画』第 13 輯 表紙	1925 (大正 14) 年 8 月発行	木版、紙、冊子	26.5 × 18.8 × 0.4	
大正期の洋画コレクションを中心に①						
154	山下 新太郎	臥婦	1910 年代	油彩、キャンバス	79.5 × 140.7	個人蔵
155	石井 柏亭	滯船	1913 (大正 2)	不透明水彩、紙	52.5 × 73.0	
156	保田 龍門	自画像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	60.9 × 50.2	
157	保田 龍門	母の像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	73.0 × 60.9	保田春彥氏寄贈
158	国枝 金三	卓上静物	1919 (大正 8)	油彩、キャンバス	60.6 × 73.2	国枝ぬい氏寄贈
159	梅原 龍三郎	小川 (ブルターニュ風景)	1909 (明治 42)	油彩、キャンバス	24.6 × 32.4	
160	東郷 青児	静物	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	46.0 × 38.0	個人蔵

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
161	裕伊之助	ブザンソン風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	50.1 × 60.8	小島善太郎氏寄贈
162	保田龍門	アンドレの首	1922 (大正 11)	ブロンズ	20.3 × 20.0 × 20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈

大正期の洋画コレクションを中心②

163	国吉康雄	乳しづり	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.5	
164	浜地清松	赤い帽子	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	100.0 × 73.0	
165	石垣栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0 × 91.0	
166	石垣栄太郎	拳闘	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	75.4 × 91.2	
167	川口軌外	風景	1925 (大正 14)頃	油彩、キャンバス	65.0 × 81.2	川口京村氏寄贈
168	川口軌外	窓辺の静物	1924-26 (大正 13- 昭和元)	油彩、キャンバス	80.4 × 65.4	川口京村氏寄贈
169	川口軌外	静物	1927-29 (昭和 2-4)	油彩、キャンバス	73.4 × 60.4	川口京村氏寄贈
170	川口軌外	半身	1927-29 (昭和 2-4)	油彩、キャンバス	91.5 × 73.0	川口京村氏寄贈
171	川口軌外	キャフェにて	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	79.0 × 64.0	個人蔵
172	古賀春江	海水浴	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	91.3 × 117.0	
173	木下孝則	女優の像	1926 (大正 15/ 昭和元)	油彩、キャンバス	91.2 × 72.9	
174	木下孝則	猫	1926 (大正 15/ 昭和元)	油彩、キャンバス	50.2 × 59.0	
175	建畠大夢	魔法使いの女	1923 (大正 12)	ブロンズ	45.3 × 12.5 × 20.0	建畠覚造氏寄贈

大正期の洋画コレクションを中心③

176	佐伯祐三	帽子をかぶる自画像	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	73.3 × 53.9	玉井一郎氏寄贈
177	佐伯祐三	ベッドに坐る裸婦	1923 (大正 12)	油彩、キャンバス	91.1 × 65.5	玉井一郎氏寄贈
178	佐伯祐三	森と広場	1924 (大正 13)頃	油彩、キャンバス	37.5 × 45.2	玉井一郎氏寄贈
179	佐伯祐三	ポスターとロウソク立て	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	45.5 × 53.6	玉井一郎氏寄贈
180	佐伯祐三	オワーズ河周辺風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	45.5 × 53.0	玉井一郎氏寄贈
181	佐伯祐三	広告のある門	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	59.9 × 73.2	玉井一郎氏寄贈
182	佐伯祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	72.3 × 60.8	玉井一郎氏寄贈
183	佐伯祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	60.0 × 73.1	玉井一郎氏寄贈
184	佐伯祐三	下落合風景	1926 (大正 15/ 昭和元)頃	油彩、キャンバス	49.7 × 60.4	玉井一郎氏寄贈
185	佐伯祐三	男の顔 (K 氏の像)	1927 (昭和 2)	油彩、板	33.0 × 23.8	
186	佐伯祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.3	個人蔵
187	佐伯祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	73.2 × 91.8	玉井一郎氏寄贈



3-6. コレクション展 2017－春

会 期： 2017(平成 29) 年 1 月 27 日(金) ~ 5 月 7 日(日)

会 場： 展示室 A (1 階)

内 容： 所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示した。

担当学芸員： 藤本真名美

制 作 物： 出品目録 (A4 判 4 頁)

展 示 点 数： 57 作家 81 点

入 場 料 金： 一般 340 円 (270 円)、大学生 230 円 (180 円) () 内は 20 名以上の団体料金

高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料 特集展示「群像—交錯する声」と共通

工 夫： 新収蔵品を積極的に紹介するとともに、同時期に開催した企画展「泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」に合わせ、泉が活動したデモクラート美術家協会の作家たちのほか、同時代の重要な美術団体である具体美術協会の作家たちの作品を紹介した。

自己評価・課題・改善案： 彫刻作品の展示について、鑑賞と保全の双方に配慮することが課題である。

「コレクション展 2017- 春」出品目録

展示期間：「*」が付いている作品は、前期(1月 27 日～3 月 20 日) 「**」が付いている作品は、後期(3 月 22 日～5 月 7 日)

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵 / 備考
わかやまの名品選						
1	神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治 21-25)	油彩、キャンバス	38.0 × 80.4	神中茂次氏寄贈
2	神中 糸子	牡丹	1915-25(大正 4-14)	油彩、キャンバス	50.4 × 61.0	森上安也氏寄贈
3	中村 不折	白頭翁	1907(明治 40)	油彩、キャンバス	200.2 × 136.6	個人蔵
4	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治 39)	油彩、キャンバス	79.6 × 64.0	
5	保田 龍門	村の娘	1916(大正 5)	油彩、キャンバス	82.4 × 66.9	保田淳子氏寄贈
6	林 義明	婦人像	1924(大正 13)	油彩、キャンバス	53.4 × 41.5	林建樹氏寄贈
7	田中恭吉	すずらん	1912(明治 45/大正元)	油彩、板	22.2 × 15.8	恩地邦郎氏寄贈
8	田中恭吉	バラの刺	1914(大正 3)	油彩、キャンバス	45.5 × 33.4	恩地邦郎氏寄贈
9	梅原 龍三郎	小川(ブルターニュ風景)	1909(明治 42)	油彩、キャンバス	24.6 × 32.4	個人蔵
10	佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922(大正 11)	油彩、キャンバス	73.3 × 53.9	玉井一郎氏寄贈
11	佐伯 祐三	ベッドに坐る裸婦	1923(大正 12)	油彩、キャンバス	91.1 × 65.5	玉井一郎氏寄贈
12	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正 14)	油彩、キャンバス	72.3 × 60.8	玉井一郎氏寄贈
13	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927(昭和 2)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.3	個人蔵
14	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正 14)	油彩、キャンバス	60.0 × 73.1	玉井一郎氏寄贈
15	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927(昭和 2)	油彩、キャンバス	73.2 × 91.8	玉井一郎氏寄贈
16	建畠 大夢	少女胸像	昭和前期	大理石	46.0 × 36.0 × 24.5	建畠覚造氏寄贈
17	木下 雅子	肘つかく女	1929(昭和 4)	油彩、キャンバス	72.8 × 61.0	木下義謙氏寄贈
18	木下 義謙	赤衣半身像	1931(昭和 6)	油彩、キャンバス	91.4 × 73.0	作者寄贈
19	木下孝則	猫	1926(大正 15/昭和元)	油彩、キャンバス	50.2 × 59.0	
20	小糸 源太郎	横たわる裸婦	制作年不詳	油彩、ボード	22.8 × 35.3	篠田博之・篠田めぐみ氏寄贈
21	鳥海 青児	椿	制作年不詳	油彩、キャンバス	45.5 × 37.8	個人蔵
22	浜地 清松	裸婦	制作年不詳	油彩、キャンバス	98.8 × 80.5	
23	石垣 栄太郎	K.K.K.	1936(昭和 11)	油彩、キャンバス	76.8 × 91.6	
24	杉本、ヘンリー	カーメルハイランド海辺	1937(昭和 12)	油彩、キャンバス	80.6 × 106.0	作者寄贈
25*	川端 龍子	鶴	制作年不詳	顔料、絹	40.6 × 51.0	青木元治郎・山中嘉子氏寄贈
26*	川端 龍子	白梅図	制作年不詳	顔料、絹	40.8 × 51.0	青木元治郎・山中嘉子氏寄贈
27*	川端 龍子	貝寄図	制作年不詳	顔料、絹	43.1 × 50.6	青木元治郎・山中嘉子氏寄贈
28**	川端 龍子	玉筍図	制作年不詳	顔料、絹	41.7 × 50.9	青木元治郎・山中嘉子氏寄贈
29**	川端 龍子	金鱗図	制作年不詳	顔料、絹	40.5 × 51.0	青木元治郎・山中嘉子氏寄贈
30**	川端 龍子	麦	制作年不詳	顔料、絹	40.8 × 51.0	青木元治郎・山中嘉子氏寄贈
31	小林 古径	若鮎	1937(昭和 12)	顔料、絹	39.8 × 49.9	森佑一郎氏寄贈
32	日高 昌克	初夏峰巒図	制作年不詳	顔料、紙	58.1 × 30.7	池田壽一氏寄贈
33	稗田 一穂	そよ風	1951(昭和 26)	顔料、紙	156.5 × 141.3	作者寄贈
34	村井 正誠	ゴルフジュアンの朝	1934(昭和 9)	油彩、キャンバス	145.3 × 112.1	作者寄贈
35	保田 龍門	少女	1925(大正 14)	ブロンズ	173.5 × 67.0 × 43.0	
36	高井 貞二	煙	1933(昭和 8)	油彩、キャンバス	91.1 × 117.0	高井志づ氏寄贈
37	高井 貞二	想ひを	1935(昭和 10)	油彩、キャンバス	112.5 × 145.8	作者寄贈
38	川口 軌外	ボヘミアン	1928(昭和 3)	油彩、キャンバス	117.0 × 80.7	
39	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和 9)	油彩、キャンバス	167.3 × 267.2	
40	川口 軌外	花と少女	1938(昭和 13)	油彩、キャンバス	117.1 × 91.2	
41	松田 文雄	老鍛冶屋	1940(昭和 15)	油彩、キャンバス	162.0 × 94.5	森林平氏寄贈
42	堀内 正和	四つの立方体(線)	1979(昭和 54)	鉄	85.0 × 208.0 × 98.0	
43	瑛九	自転車	1956(昭和 31)	油彩、キャンバス	50.0 × 60.8	
44	豊嶽	悲劇よりもより悲痛なるものの静寂	1953(昭和 28)	油彩・ガッシュ、紙	91.2 × 91.2	
45	池田 滿寿夫	骨を持つ人(C)	1955(昭和 30)	油彩、キャンバス	72.8 × 57.2	
46	加藤 正	空ろなる真昼(王国)	1951(昭和 26)	油彩、キャンバス	91.0 × 91.1	
47	吉原 英雄	たわむれ	1956(昭和 31)	油彩、板	129.9 × 91.0	
48	磯辺 行久	WORK 62-12	1962(昭和 37)	油彩・紙・大理石粉・塗料、木	182.2 × 127.6	
49	津高 和一	キム キム	1957(昭和 32)	油彩、キャンバス	91.3 × 117.0	
50	堂本 尚郎	二元的なアンサンブル	1962(昭和 37)	油彩、キャンバス	162.0 × 122.0	
51	白髮 一雄	地察星 青眼虎	1961(昭和 36)	油彩、キャンバス	194.0 × 130.6	
52	上前 智祐	作品	1963(昭和 38)	油彩他、板	184.0 × 94.0	作者寄贈

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
53	元永 定正	作品	1964 (昭和 39)	アクリル絵具・小石、キャンバス	281.0 × 181.2	
54	ロスコ、マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6	
55	ニーヴェルソン、ルイーズ	空のザグII	1974 (昭和 49)	木	95.0 × 136.0 × 22.0	
56	ウェッセルマン、トム	写真のある寝室のプロンドのいたずらがき	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、ボード	146.2 × 170.5	
57	ジョーンズ、ジャスパー	旗	1960-69 (昭和 35-44)	鉛	48.2 × 53.4	
58	クロス、チャック	自画像	1983 (昭和 58)	ペーパーパルプ、キャンバス	137.2 × 101.6	
59	リンク、サイモン	アート・コロニー 1986 年 10 月	1987 (昭和 62)	油彩、キャンバス	182.8 × 182.8	
60	シーガル、ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6 × 359.9 × 270.4	
61	榎忠	2・3・7・8 TCDD Propagation Dioxin	1985 (昭和 60)	鉄	197.0 × 95.0 × 80.0	
62	保田 春彦	進化の過程	2010 (平成 22)	木	55.0 × 180.0 × 45.0	個人蔵

展示室外の作品

エントランス、展示ホール周辺

63	ステラ、フランク	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル、キャンバス	304.0 × 760.0	
64	クルーガー、バーバラ	無題(私を覚えていて)	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7 × 268.1 × 5.0	
65	秋山陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	
66	保田 春彦	格子と壁	1998 (平成 10)	ブロンズ	60.0 × 29.9 × 44.0	作者寄贈
67	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
68	北堅吉彦	山並-senkoushu(鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0 × 1020.0	作者の厚意により保存
69	鈴木 久雄	塔体 I	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 52.0 × 54.0	個人蔵
70	鈴木 久雄	塔体 III	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 54.0 × 54.0	個人蔵
71	鈴木 久雄	四角上三角	1982 (昭和 57)	鉄、銅、鉛	53.0 × 42.0 × 29.5	作者寄贈
72	鈴木 久雄	錐底円	1982 (昭和 57)	鉄、銅、鉛	34.0 × 42.0 × 34.0	個人蔵
73	鈴木 久雄	風化儀式-IV	1983 (昭和 58)	鉄、白御影石	57.0 × 60.0 × 60.0	個人蔵
74	鈴木 久雄	風化儀式- III	1983 (昭和 58)	鉄、白御影石	35.4 × 59.8 × 59.9	

2階ホワイエ

75	フラナガン、パリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
----	-----------	-----------------	------------	------	-----------------------	--

ライトコート

76	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-1995 (平成 6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
77	ノグチ、イサム	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	

屋外

78	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	
79	建島 寛造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	作者寄贈
80	スネルソン、ケネス	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
81	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈



3-7. 特集展示 群像—交錯する声

会期：2017(平成29)年1月27日(金)～5月7日(日)

会場：展示室B(1階)

内容：ひとつの画面に多くの人を描いた作品を特集し、複雑な構図の面白さや、時代や社会によって変化する人物表現を紹介した。

担当学芸員：藤本真名美

関連事業：・フロアレクチャー(学芸員による展示解説)

日時：1月28日(土)3名、2月19日(日)14名、3月20日(月・祝)9名、4月16日(日)2名、5月6日(土)10名

14:00～ 藤本真名美

・子ども美術館部「人+ヒト+ひと…=??」

日時：4月22日(土)5名 14:00～ 青木加苗

制作物：・出品目録(A4判4頁)

・プレスリリース(A4判3頁)

展示点数：29作家46点

入場料金：一般340円(270円)、大学生230円(180円)()内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料 「コレクション展 2017－春」と共通

工夫：代表的な館蔵品だけでなく、展示機会の少ない作品や作家も含めて、幅広い時代やジャンルから出品作を選定した。

自己評価・課題・改善案：比較的珍しい「群像」という切り口によって、その成立背景や歴史的展開についても調査し、紹介することができた。作品解説、構図解説を充実させることと、フロアレクチャーへの参加を呼びかける効果的な広報が課題として残った。

関連記事：・「特集 群像—交錯する声」『わかやま探検ミュージアム』vol.40、白光印刷株式会社、2017年4月1日、p.4

情報掲載：・「カルチャーインフォメーション」『WACA-P』vol.71、和歌山県、平成29年1月、p.8

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2017年1月11日、20面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2017年1月21日、11面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2017年2月1日、14面

・「イベントガイド」『和歌山特報』、2017年2月11日、16面

・「ミュージアム」『紀州浪漫』vol.60、和歌山県観光連盟、2017年3月1日、p.19

・「展覧会 INFORMATION」『つくりびと』No.56、国民みらい出版、2017年3月、p.11

・「カルチャーインフォメーション」『WACA-P』vol.72、和歌山県、2017年3月、p.8

・「日の探訪」『県民福井』、2017年3月24日、6面

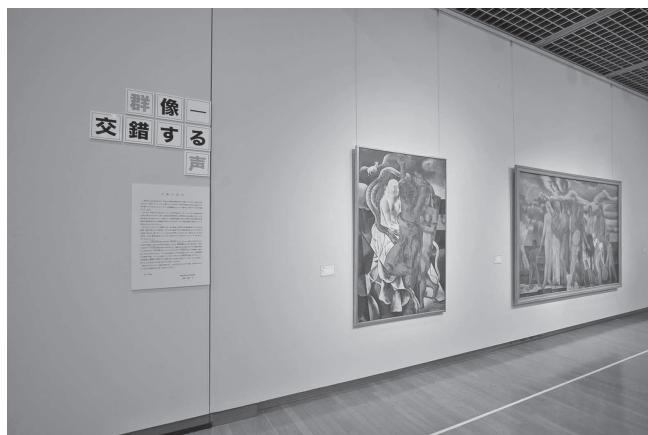
・「展覧会 INFORMATION」『つくりびと』No.57、国民みらい出版、2017年4月、p.15

「特集展示 群像—交錯する声」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
1	川口 勲外	無題	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	162.3×111.8	川口京村氏寄贈
2	川口 勲外	夏の海	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	165.7×267.0	川口京村氏寄贈
3	松本 純介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
4	石垣 栄太郎	ボーナス・マーチ	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	145.4×107.0	石垣綾子氏寄贈
5	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0	
6	石垣 栄太郎	人民戦線の人々	1937(昭和12)頃	油彩、キャンバス	148.5×207.0	
7	野長瀬 晚花	夕日に帰る漁夫 下絵	1920(大正9)	木炭・顔料、紙	169.4×360.5	野長瀬婉子氏寄贈
8	前川 千帆	『新東京百景』第2輯第5号「西の市」	1929(昭和4)	木版、紙	18.1×24.3	
9	川西 英	『神戸十二ヶ月風景』「四月 須磨桜花」	1931(昭和6)	木版、紙	15.8×27.2	
10	恩地 孝四郎	鎌倉	1938(昭和13)	木版、紙	19.1×27.8	
11	杉本 義夫	闇犬	1940(昭和15)頃	木版、紙	24.1×33.6	作者寄贈
12	伊東 健乃典	雛魚寝	制作年不詳	木版、紙	31.1×42.0	
13	武田(鈴木) 健夫	蒼生苦(新版画集団コレクション)	1937(昭和12)	木版、紙	30.0×49.0	
14	高井 貞二	松花江の船出	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	130.4×161.6	作者寄贈
15	高井 貞二	エミグラン트の街	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	129.4×158.7	
16	高井 貞二	回教徒	1942(昭和17)	油彩、キャンバス	130.1×161.8	作者寄贈
17	保田 龍門	光明皇后賜療	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	190.0×557.8×3.4	保田春彦氏寄贈
18	建畠 覚造	杜・対話7	1999(平成11)	木、化学粘土、ウレタン塗料	203.0×125.5×82.0	建畠嘉氏寄贈
19	福沢 一郎	なげきの市 II	1973(昭和48)	油彩、キャンバス	182.0×227.5	
20	福沢 一郎	なげきの市 I	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	182.0×228.0	
21	福沢 一郎	鬼も忙し地獄の整地	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	182.0×227.4	
22	浜田 知明	群盲	1960(昭和35)	エッチング・アクアチント、紙	28.9×29.0	
23	浜田 知明	風景	1953(昭和28)	エッチング、紙	35.4×29.0	
24	浜田 知明	ボス	1980(昭和55)	エッチング、紙	26.9×19.0	
25	浜田 知明	風化する街(B)	1978(昭和53)	エッチング・アクアチント、紙	22.4×29.8	
26	建畠 覚造	ORGAN No.16	1967(昭和42)	アルミニウム	43.0×46.0×18.0	
27	建畠 覚造	デッサン [ORGAN]	1967(昭和42)頃	鉛筆、紙	25.3×36.0	作者寄贈
28	纏囃	群集	1956(昭和31)	石版、紙	41.3×27.5	
29	纏田 繁	夜の大都会(2)	1957(昭和32)	石版、紙	30.5×45.3	荒木高子氏寄贈
30	古家 玲子	トラビスティヌ	1952-54(昭和27-29)	油彩、キャンバス	100.0×52.5	纏田幸彦氏寄贈
31	纏囃	田園	1956(昭和31)	石版、紙	53.4×72.8	
32	横尾 忠則	葬列I	1969(昭和44)	シリクスクリーン、アクリル板	74.8×113.6×9.5	

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
33	横尾 忠則	葬列Ⅱ	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、アクリル板	74.7 × 114.0 × 9.5	
34	玉置 正敏	汗	1980 (昭和 55)	油彩、キャンバス	181.5 × 227.4	作者寄贈
35	黒崎 彰	我らを許したまえ	1965 (昭和 40)	木版、紙	37.8 × 45.5	
36	黒崎 彰	深き淵より 2	1966 (昭和 41)	木版、紙	71.4 × 83.3	
37	中林 忠良	剥離される風景 IV	1972 (昭和 47)	エッチング・アクアチント他、紙	54.4 × 49.5	
38	北川 健次	アルバム写真	1979 (昭和 54)	銅版、紙	36.2 × 46.3	
39	森口 宏一	グリューネワルト・聖エラスムスと聖マウリス・より	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、アクリル板、ステンレススチール、他	90.0 × 65.0 × 9.5	作者寄贈
40	荒川 修作	最後の次に	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、紙	54.7 × 106.0	
41	宇佐 美圭司	山々は難破した船に似て No.2	2001 (平成 13)	油彩、キャンバス	290.9 × 436.4	個人蔵
42	村井 正誠	ならぶ人々	1975 (昭和 50)	油彩、キャンバス	193.9 × 259.2	作者寄贈
43	吉田 克朗	Work 8	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	69.3 × 74.8	
44	吉田 克朗	Work 9	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	72.7 × 75.1	
45	野田 哲也	日記 1970 年 4 月 22 日 ニューヨーク (e)	1970 (昭和 45)	木版 4 版・スクリーンプリント 1 版、紙 (和紙)	44.6 × 44.3	
46	野田 哲也	日記 1970 年 5 月 11 日	1970 (昭和 45)	木版 3 版・スクリーンプリント 2 版、紙 (和紙)	44.8 × 44.9	



普及事業

1 講演会、ワークショップなどの開催

- ・各展覧会に際して講演会やワークショップ、フロアレクチャーなどを開催した。(各展覧会報告の項を参照)
- ・「美術館でたのしむゴールデンウィーク！」の開催
ゴールデンウィーク中にバックヤードツアーなどを含むイベントを集中して開催した。
 - 平成 28 年 4 月 29 日（金・祝）ギャラリートーク「まるごと楽しむ春コレ」、15 名
 - 平成 28 年 4 月 30 日（土）こども美術館部「おんちさんとかたち探検」、5 名
 - 平成 28 年 5 月 1 日（日）ギャラリートーク「恩地孝四郎を知ろう」、13 名
 - 平成 28 年 5 月 3 日（火）フロアレクチャー「恩地展フロアレクチャー」、29 名
 - 平成 28 年 5 月 4 日（水）フロアレクチャー「びっくり！手仕事」贋写版印刷、24 名
 - 平成 28 年 5 月 5 日（木）バックヤードツアー「たんけん近代美術館・博物館」、18 名
- ・小学生を対象に、展示作品と関連したワークショップを行いながら作品を鑑賞する「こども美術館部」を 6 回開催した。各回 14：00—14：45
 - 平成 28 年 4 月 30 日（土）おんちさんとかたち探検（恩地孝四郎展）、5 名
 - 平成 28 年 6 月 11 日（土）ドロドロ?! ドローイング（特集展示 ドローイング—水彩・パステル・紙の世界）、16 名
 - 平成 28 年 8 月 6 日（土）おぼえるってどんなこと（なつやすみの美術館 6 きろくときおく）、24 名
 - 平成 28 年 10 月 8 日（土）ひっくりかえして見てみよう（特集 薔薇色の鏡—銅版画の技と表現）、4 名
 - 平成 28 年 12 月 3 日（土）くらべてみよう あの絵とこの絵（動き出す！絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち）、21 名
 - 平成 29 年 2 月 18 日（土）ぶぶんとぜんたい（泉茂 ハンサムな絵のつくりかた）、5 名

2 学校教育・社会教育との連携

1 学校・団体鑑賞の受入

- ・団体での来館数

平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

団体種別	美術館による対応有		自由鑑賞	
	件 数	参加人数	件 数	参加人数
一 般	3 件	89 名	24 件	446 名
教 員	19 件	237 名	0 件	0 名
大 学	3 件	141 名	3 件	59 名
高 等 学 校	19 件	550 名	4 件	75 名
中 学 校	72 件	1605 名	4 件	284 名
小 学 校	52 件	1795 名	5 件	200 名
幼 稚 園	3 件	241 名	0 件	0 名
その他の専門学校など	2 件	37 名	7 件	73 名
計	171 件	4695 名	47 件	1137 名
総計		218 件 5832 名		

2 学校・教員等と連携した事業

- ・施設利用の浸透を図り、学校教育との連携を深め、団体での来館に際して事前に要望のあった場合には担当者・教員との打ち合わせを行い、必要に応じて鑑賞用補助プリントを作成するなどの活動を行った。
- ・和歌山美術館教育研究会
 - 日 時：平成 28 年 4 月 16 日（土）12 名（教員 10 名 + 学芸員 2 名）、5 月 21 日（土）7 名（教員 3 名 + 学芸員 4 名）、6 月 4 日（土）10 名（教員 7 名 + 学芸員 3 名）、6 月 18 日（土）7 名（教員 5 名 + 学芸員 2 名）、6 月 25 日（土）7 名（教員 3 名 + 学芸員 3 名）、7 月 2 日（土）6 名（教員 2 名 + 学芸員 3 名）、10 月 8 日（土）8 名（教員 3 名 + 学芸員 3 名）
 - 内 容：平成 23 年度より、学校教育との連携強化を目的とした研究会を継続して開催している。平成 28 年度末までに 44 回の会合を開催。中学校を中心に夏休み中の宿題での来館を呼びかけ、期間中の展示の概要紹介、前年までの事例紹介、宿題を出す際の課題等について情報を交換する場を設けている。市内のほとんどの中学校から来館がある。平成 25 年度から、夏季休暇中に開催する展覧会「なつやすみの美術館」のワークシートの作成を教員たちと協力して行った。（23 頁参照）
 - ・和歌山大学教育学部との連携
和歌山大学教育学部と県教育委員会の連携事業の一環として、和歌山大学教育学部、同附属小学校・中学校と連携して展覧会を課題とした鑑賞、制作、指導法の策定に取り組んだ。

・中学校教科等研究会の開催

日 時：平成 28 年 4 月 13 日（水）、18 名

内 容：市内の中学校教科等研究会（美術科）開催に協力し、意見交換等を行った。

・和歌山大学教育学部の学芸員資格取得に関する一部開設授業科目への協力

日 時：平成 28 年 6 月 28 日（土）

内 容：「資料保存論」講義を当館で実施した。

・全国高校美術工芸教育研究会近畿地区府県代表者会議

日 時：平成 28 年 7 月 1 日（金）、24 名

内 容：全国高校美術工芸教育研究会近畿地区府県代表者会議開催に協力し、意見交換等を行った。

・和歌山大学教育学部美術専攻との連携

日 時：平成 28 年 7 月 3 日（日）、10 名

内 容：和歌山大学教育学部における美術科教育研究に協力し、研究会会場を提供するとともに、「なつやすみの美術館 6 きろくときおく」を題材とした意見交換等を行った。

・和歌山市美育協会鑑賞指導研究会

日 時：平成 28 年 8 月 3 日（水）、42 名

内 容：和歌山市美育協会に協力し、鑑賞に関する研修会を開催した。

・泉南美育研究会の開催

日 時：平成 28 年 8 月 18 日（木）、25 名

内 容：泉南美育研究会の開催に協力し意見交換等を行った。

・田辺市教育委員会教頭会研修の実施

日 時：平成 28 年 11 月 29 日（火）、42 名

内 容：田辺市教育委員会による教頭会の研修実施に協力した。

・和歌山大学教育学部附属中学校美術科研究授業への協力

日 時：平成 29 年 2 月 15 日（水）～2 月 22 日（水）

内 容：当館周辺でのインスタレーション授業に協力した。

・『わかやま探検ミュージアム』（季刊・県内全小学校 4～6 年生に配布）の隔号に展覧会紹介記事を掲載した。

・和歌山大学美術館部への協力

当館の活動への協力を主な目的として設立されたサークル（平成 27 年 10 月～）に対し、指導助言を行った。サークルは、なつやすみの美術館展において、来館者とのトーク活動を行った。（23 頁参照）

3 博物館実習生・インターンシップ・教員研修などの受け入れ

・大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期 間：平成 28 年 7 月 29 日（金）～31 日（日）、8 月 1 日（火）～4 日（木）（計 6 日間）

受 入 校	受入人数
成 安 造 形 大 学	1 名
同 志 社 女 子 大 学	1 名
和 歌 山 大 学	1 名
計 3 大 学	3 名

・文部科学省の推進するキャリア教育の一環として、教育委員会並びに各学校の取り組んでいる職場体験学習、インターンシップ等を受け入れた。

平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

受件数	人 数	日 数	延人数
高校生 4 校	7 名	6 日	14 名
中学生 13 校	27 名	27 日	66 名
計 17 校	34 名	33 日	80 名

・教員の地域体験研修の受入

日時：平成 28 年 7 月 28 日（木）、29 日（金）、8 月 18 日（木）、19 日（金）

2 校より 3 名を受け入れた。

3 機関誌「NEWS」の刊行

年2回、各2,500部を発行した。

・No.87+88（平成29年3月1日発行）

- 藤本真名美：「恩地孝四郎展 抒情とモダン」記念講演会より
井上 芳子：日本の美術：ルリユールへの誘い
植野比佐見：薔薇色の鏡 銅版画について
奥村 泰彦：特集展示 ドローイングー水彩・パステル・紙の世界
植野比佐見：修復について一村井正誠『百靈廟』の場合
前谷康太郎：『Reconsider』—「光について」出展を振り返って
奥村 一郎：特集「光について」
青木 加苗：「文化的景観」と美術館——ICOMミラノ大会に参加して
宮本 久宣：新収蔵作品より 木村荘八《水道橋》
青木 加苗：教育普及活動より 夏の「ポスト」を知っていますか？
メールマガジン/Facebookページ/twitterご案内、友の会案内



・No.89+90（平成29年3月30日発行）

- 宮本 久宣：大正美術の支援者・日本アニメの創始者 北山清太郎
青木 加苗：「動き出す！絵画」展関連事業より
植野比佐見：大きな人はいいなと思うのです 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた
藤本真名美：飛翔する詩人の魂——恩地孝四郎『『氷島』の著者（萩原朔太郎像）』
青木 加苗：もうひとつの美術館部「こども美術館部」ができるまで
Museum Calendar、メールマガジン/Facebookページ/twitterご案内、友の会案内



ニュース

4 広報および情報提供

1 メディア等への情報発信

- ・県内外の新聞社、放送局、出版社等約330か所に事業案内を送付し（うち約140か所にメールによるプレスリリース）、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。
・展覧会や特別事業ごとに県庁記者クラブ、教育記者クラブにて資料提供を行い、県内の新聞社、放送局に事業案内の報道、掲載を依頼した。
・カレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供することで、美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等の周知、利用促進を図った。
・展覧会ごとに、ポスター、チラシ等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関など約2,900か所に配布した。
・県発行の広報誌『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
・地元放送局制作の番組取材に協力し、展覧会等の紹介を行った。
・泉州・紀北ミュージアムネットワークを通した広報活動を行った。
・和歌山県職員に対し電子掲示板、府内メール等で展覧会の案内をした。
・ミュージアムぐるっとバス・関西2017に加入。
・美術館の認知度を高めるため、施設内におけるロケーション撮影等に協力した。

(1) 申請者：(株) 南方コーポレーション

目的：通販カタログ用モデル撮影のため

日 時：平成28年5月31日（火）

(2) 申請者：あどおーみ（株）

目的：和歌山トヨタ情報誌『KIZUNA マガジン』掲載記事のため

日 時：平成29年3月3日（金）

(3) 申請者：(株) ジョーカー

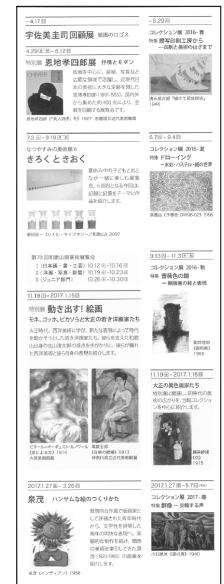
目的：TBS月曜ゴールデン「税務調査官 窓際太郎の事件簿」撮影のため

日 時：平成29年3月21日（火）（5月8日放送）

(4) 申請者：(株) イエロージャム

目的：トヨタ自動車公式Instagram撮影のため

日 時：平成29年3月22日（水）



カレンダー

- ・特別展「動き出す！絵画」関連

[有料広告]

- (1) タウン誌『アガサス』『ニュース和歌山』『リビング和歌山』『LISM』への広告掲載
- (2) 週刊誌『週刊朝日』『AERA』『Hanako』への広告掲載
- (3) JR 和歌山駅前壁面広告
- (4) JR 大阪駅デジタルサイネージ広告
- (5) 県庁前広告看板
- (6) 県庁北別館県民ギャラリー広告看板
- (7) テレビ和歌山「5 チャン DO！」生出演

[記事掲載・出演・ポスター掲出]

- (1) 雑誌『NATTS』『CLasism』『サンデー毎日』に記事掲載
- (2) 新聞『朝日新聞』『産経新聞』『毎日新聞』『読売新聞』『新美術新聞』『アリカイナ』『紀伊民報』『ニュース和歌山』『日高新報』『わかやま新報』『和歌山特報』に記事掲載
- (3) テレビ「あすの WA ! (NHK)」「あすの WA ! 和歌山アーカイブス (NHK)」「マンスリー県政(テレビ和歌山)」「はばたく紀の国(テレビ和歌山)」に出演
- (4) ラジオ「人間万歳(和歌山放送)」「ボックス(和歌山放送)」「グッディ !(和歌山放送)」「教育の窓(和歌山放送)」「教育の窓(和歌山放送)」に出演。「えのこじま凸凹ラジ(ミニ FM)」で特集
- (5) 地元企業 オークワ、紀陽銀行 各店舗でのポスター掲示、チラシ設置

2 WEBによる広報

- ・ホームページで美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールの情報を提供した。
- ・メールマガジンを html 化し、画像を掲載して美術館で開催されるさまざまな展覧会及びプログラムへの参加をよびかけた。(平成 28 年 4 月 13 日発行の 102 号から平成 29 年 3 月 1 日発行の 111 号まで計 10 回発行。登録読者数 html 版 571 名、テキスト版 33 名、計 604 名)
- ・Facebook、twitter を通じての情報提供を実施している。

3 広報印刷物の制作

- ・平成 28 年度展覧会カレンダー 6.1 × 10.5cm 巻き 5 ツ折 (10 頁)
- ・ポスター、チラシ等 (各展覧会報告の項を参照)

4 県民への直接的情報提供

- ・作者や展覧会等についての専門的内容に関する問い合わせ・質問 (電話・来館等) 24 件に対応した。

5 県民や地域との連携

1 ボランティア活動の受け入れ

ボランティアグループ「虹」の会員および個人参加者により、図書資料の仕分け、データ入力、配架、図録編集校正等が行われた。
受入人数：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 活動延 120 人

2 友の会等の支援組織の活動への協力

(1) 和歌山県立近代美術館友の会

楽しみながら美術に親しむ会として「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、当館の活動に支援を受けるとともに、美術作品を鑑賞し、語り合う場を設けることに協力した。

(ア) 会員の状況

一般会員：186 名、学生：1 名、賛助会員：9 名、名誉会員：5 名 計 201 名

(イ) 助成事業の実績

友の会は、会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことが出来るよう常設展及び企画展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行った。

- ・展覧会入場者延人数：351 人

「宇佐美圭司回顧展」24 人、「恩地孝四郎展」60 人、「なつやすみの美術館」36 人、「動き出す！絵画」117 人、「泉茂」67 人、常設展 47 人

- ・図録購入：19 冊

(ウ) 主催事業

・バックヤードツアー

日 時：平成 28 年 8 月 27 日（土）13：00～15：00、16 名

・美術鑑賞ツアー

田辺市美術館、稻むらの火の館を見学

日 時：平成 28 年 7 月 17 日（日）、46 名

京都市美術館特別展「伊藤若冲展」鑑賞、東本願寺「涉成園」見学

日 時：平成 28 年 10 月 16 日（日）、89 名

・ミュージアムコンサート「プロムナードコンサート楽しいマリンバのしらべ」

日 時：平成 28 年 12 月 3 日（土）15：00～16：30、約 120 名

演奏者：新井貞子、菊野二美歌、細田紗希、坂下久実子、大利宏美

会 場：2 階ホール

・版画プレゼント

古本有理恵氏制作の版画（4 種類）の中から 1 点をプレゼントするとともに作者による講演会を開催した。

日 時：平成 29 年 2 月 4 日（土）

講演会 2 階ホール 14：00～15：00、約 20 名

茶話会 1 階応接室 15：00～16：00、約 30 名

・館広報誌・その他への情報提供

美術館が発行するミュージアムカレンダー、美術館ニュース、広報紙など配布し、その他への情報提供をした。

(2) NPO 和歌山文化芸術支援協会 (wacss)

同会が実施する事業に協力した。

(ア) 「森のちから IX 森・HIKARI・海」への協力

日 時：平成 28 年 9 月～10 月

主 催：NPO 和歌山文化芸術支援協会

内 容：串本に作家を招いて滞在制作と発表を行う活動に協力した。田辺市中辺路町近露で実施された当事業の第 1 回目に参加し、それをきっかけに串本町に移住した作家、林憲昭氏にも協力を得て、東京藝術大学先端芸術表現科教授・佐藤時啓氏を招聘し、現地での制作、ワークショップ、発表を行うもので、9 月 24 日～25 日に開催されたアート・ツアーに同行し、石垣記念館の案内を奥村泰彦教育普及課長が、公開展示オープニングイベント アーティスト・トーク「森を語る III」の司会を青木加苗学芸員が務めた。

(イ) ワークショップへの協力

日 時：平成 28 年 8 月 28 日（日）

主 催：和歌山県、一般財団法人和歌山県文化振興財団

企画運営・協力：NPO 和歌山文化芸術支援協会

内 容：「なつやすみの美術館 6 きろくときおく」の関連事業として、出品作家の妻木良三氏を招いて布を用いたパフォーマンス・ワークショップを実施した。（23 頁参照）

(ウ) 「福原隆造+グレゴール・カムニカル デュオ・ダンスパフォーマンス 友愛と摩擦」への協力

日 時：平成 29 年 2 月 8 日（水）、9 日（木）

主 催：NPO 和歌山文化芸術支援協会

内 容：スロベニア在住のダンサー・福原隆造氏の帰国公演の実施に協力した。1 日目は雄湊小学校を訪問して 6 年生と交流。2 日目は美術館エントランスでダンス・パフォーマンスを行い、雄湊小学校 5 年生が観賞に加わった。

3 地域と連携した事業

・第 70 回和歌山県美術展覧会（県展）

主 催：和歌山県

共 催：和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、和歌山県美術家協会、毎日新聞社和歌山支局、一般財団法人 和歌山県文化振興財団、橋本市、新宮市、上富田町

協 賛：公益財団法人 大桑教育文化振興財団

本展会期：平成 28 年 10 月 12 日（水）～10 月 23 日（日）

本展会場：展示室 C（2 階）

内 容：第 70 回和歌山県美術展覧会（県展）を開催した。

入場料金：無料

*華道等については県民ギャラリーで同時開催。

- ・第2回和歌山県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）

主 催：和歌山県
共 催：和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、和歌山県美術家協会、毎日新聞社和歌山支局、一般財団法人 和歌山県文化振興財団、橋本市、新宮市、上富田町
協 賛：公益財団法人 大桑教育文化振興財団
協 力：和歌山県美育連盟、和歌山県書写教育研究会

本展会期：平成 28 年 10 月 26 日（水）～10 月 30 日（日）
本展会場：展示室 C（2 階）
内 容：第2回和歌山県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）を開催した。
入場料金：無料
- ・第 11 回わかやまマジカルミュージックツアー

主 催：わかやまマジカルミュージックツアー事務局
日 時：平成 28 年 4 月 24 日（土）、3000 ～ 4000 名
会 場：アプローチプラザほか
- ・県警音楽隊たそがれコンサート

主 催：和歌山県警察音楽隊
日 時：平成 28 年 6 月 10 日（金）、6 月 24 日（金）、7 月 8 日（金）、7 月 22 日（金）、8 月 5 日（金）、8 月 26 日（金）、約 600 名
会 場：アプローチプラザ
- ・ミュージアム クリフ映画会

主 催：和歌山県 BBS 連盟
日 時：平成 28 年 7 月 22 日（金）、約 100 名
会 場：アプローチプラザ
- ・脇村獎学会情報交換会への学芸員派遣「各館の直近の周年事業（展覧会他）の取組について」（奥村泰彦教育普及課長、平成 28 年 8 月 12 日）
- ・和歌山県福祉事業団「第2回 アールブリュット和歌山展 魂のあうところ」推進委員会への協力

主 催：和歌山県福祉事業団
日 時：平成 28 年 12 月 9 日（金）
会 場：ぎゃらりーなかがわ（御坊市）
- ・第 21 回「名月に舞う」

主 催：和歌山文化協会
日 時：平成 28 年 9 月 17 日（土）、約 120 名
会 場：アプローチプラザ周辺
- ・秋のシャンソンカーニバル

主 催：和歌山シャンソン友の会
日 時：平成 28 年 10 月 9 日（日）、約 100 名
会 場：アプローチプラザ周辺
- ・第 37 回和歌山地方史研究会大会

主 催：和歌山地方史研究会
日 時：平成 29 年 3 月 5 日（日）、約 40 名
会 場：ホール

6 県内博物館・図書館施設等と連携した事業

- ・県立 5 館が連携してスタンプラリーを実施した。
- ・県立博物館と共同でバックヤードツアーを開催した。（平成 28 年 5 月 5 日）
- ・和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議の活動に参加した。（平成 29 年 2 月 28 日）

- ・「風土記まつり」へ参加した。(平成 28 年 11 月 13 日)
和歌山県立紀伊風土記の丘主催の同行事に参加し、子供向けのワークショップ、出張ミュージアムショップの運営を行った。
- ・県立図書館「図書館で涼もう 2016：アート体験！ドローイング」を実施した。(平成 28 年 8 月 18 日)

7 国内外の美術館や関連組織等と連携した事業展開

- ・「林康夫展」(兵庫陶芸美術館) へ出品の特別協力を行った。
- ・「没後 10 年 吉原英雄展」(中信美術館) の企画と出品の特別協力を行った。
- ・全国美術館会議 教育普及研究部会に參加した。(奥村泰彦、奥村一郎、青木加苗)
- ・全国美術館会議 美術館運営制度研究部会に參加した。(青木加苗)
- ・ICOM Milano 2016 に参加した。(青木加苗)

8 観光資源として活用できる方策

- ・和歌山県多言語観光ウェブサイト「Visit Wakayama」に美術館情報を掲載した。
- ・観光ガイドなどへの広報を行い、展覧会のみならず訪問先として施設全体を紹介してもらうよう取り組んだ。

作品貸付

下記9件の展覧会に作品の貸付を行った。

展覧会名、会期、貸出先、作家名《作品名》、制作年、所蔵註記の順に記載。

1 ビアズリーと日本 [前年度から継続]

平成27年12月6日～平成28年1月31日 宇都宮美術館
平成28年2月6日～3月27日 滋賀県立近代美術館
平成28年4月29日～6月26日 新潟県立万代島美術館
平成28年7月23日～8月28日 石川県立美術館
田中恭吉《毒いちご》 1913
田中恭吉〔木立〕 1914頃
田中恭吉〔踊り子〕 1914頃
田中恭吉〔和歌山城 不明門付近〕 1914頃
武井武雄《地上の祭》 1938
武井武雄《宇宙説》 1942

2 昭和の洋画を切り拓いた若き情熱

1930年協会から独立へ

平成28年4月2日～5月22日 鳥取県立博物館
平成28年7月9日～8月28日 田辺市立美術館
川口軌外《ボヘミアン》 1928
木下孝則《猫》 1926
木下孝則《女優の像》 1926
木下義謙《風景（バルコン）》 1928

3 動き出す！絵画 ペール・北山の夢

平成28年9月17日～11月6日 東京ステーションギャラリー
木村荘八《水道橋》 1918
小林徳三郎《風景》 1918
高須光治《自画像》 1915
田中恭吉《南国（紀伊にて）》 1912
田中恭吉《池袋にて》 1914
岸田劉生《黒き帽子の自画像》 1914（受託作品）
『現代の洋画』第2号 1912年5月10日発行
『現代の洋画』第3号 1912年6月1日発行
『現代の洋画』第4号 1912年7月1日発行
『現代の洋画』第5号 1912年8月1日発行
『現代の洋画』第6号 1912年9月13日発行
『現代の洋画』第7号 1912年10月10日発行
『現代の洋画』第8号 1912年11月6日発行
『現代の洋画』第9号 1912年12月1日発行
『現代の洋画』第10号 1913年1月1日発行
『現代の洋画』第11号 1913年2月6日発行
『現代の洋画』第14号 1913年5月1日発行
『現代の洋画』第15号 1913年6月1日発行
『現代の洋画』第16号 1913年7月1日発行
『現代の洋画』第17号「後期印象派」 1913年8月1日発行
『現代の洋画』第17号 1913年9月1日発行
『現代の洋画』第18号 1913年10月1日発行
『現代の洋画』第19号 1913年11月15日発行
『現代の洋画』第21号 1913年12月15日発行

『現代の洋画』第23号「版画号」 1914年2月1日発行

『現代の洋画』第24号「ロダンの芸術」上巻 1914年3月5日発行

『現代の洋画』第25号「ロダンの芸術」下巻 1914年4月8日発行

『現代の洋画』第26号 1914年5月3日発行

『現代の洋画』第28号 1914年7月3日発行

『現代の美術』第3巻1号 1914年8月5日発行

『現代の美術』第3巻2号 1914年9月3日発行

『現代の美術』第4巻1号 1915年5月3日発行

『現代の美術』第4巻2号 1915年6月3日発行

『現代の美術』第4巻3号 1915年7月3日発行

『第一回ヒュウザン会展覧会目録』 1912年10月20日発行

『第二回ヒュウザン会展覧会目録』 1913年3月11日発行

『ヒュウザン』第1号 1912年11月6日発行

『生活社主催第一回油絵展覧会出品目録』 1913年10月16日発行

『現代之美術社主催美術展覧会出品目録』 1915年10月発行

『第二回草土社展覧会』出品目録 1916年4月発行

『第三回草土社展覧会』出品目録 1916年11月発行

カミーユ・モークレール『フランス印象派(1860-1900)』1903年発行

4 日本におけるキュビズム ピカソ・インパクト

平成28年10月1日～11月13日 鳥取県立博物館

平成28年11月23日～平成29年1月29日 埼玉県立近代美術館

平成29年2月12日～3月26日 高知県立美術館

川口軌外《裸婦群像》 1925頃

川口軌外《日傘と人》 1953

山田光《作品 - 黒釉》 1956

5 鈴木久雄 彫刻の速度

平成28年10月17日～11月12日 武蔵野美術大学 美術館・図書館

鈴木久雄《四角上三角》 1982

鈴木久雄《風化儀式3》 1983

鈴木久雄《单錐台2》 1984

6 林康夫展 (特別協力)

平成28年10月22日～平成29年2月12日 兵庫陶芸美術館

林康夫《作品》 1949

林康夫《人体》 1950

林康夫《作品51-2》 1951

林康夫《作品51-3》 1951

林康夫《作品（弧）》 1955

林康夫《作品58-2》 1958

林康夫《作品66-21》 1966

林康夫《ホットケーキ》 1971

林康夫《Face》 1973

林康夫《肖像又はゲート》 1974

林康夫《Focus VI-B》 1984

林康夫《Phase 85-2》 1985

7 近代花鳥画の巨匠 榊原紫峰展

平成 28 年 10 月 29 日～12 月 4 日 笠岡市立竹喬美術館
榊原紫峰《松に栗鼠》 1919 頃

8 動き出す！絵画 ペール・北山の夢

平成 29 年 1 月 28 日～3 月 12 日 下関市立美術館
木村荘八《水道橋》 1918
高須光治《自画像》 1915
田中恭吉《南国（紀伊にて）》 1912
田中恭吉《池袋にて》 1914
エドヴァルド・ムンク《病める子》 1895
岸田劉生《黒き帽子の自画像》 1914（受託作品）
岸田劉生《麗子肖像》 1920（受託作品）
フィンセント・ファン・ゴッホ《馬鈴薯を食べる人々》 1885（受託作品）
『現代の洋画』第 2 号 1912 年 5 月 10 日発行
『現代の洋画』第 3 号 1912 年 6 月 1 日発行
『現代の洋画』第 4 号 1912 年 7 月 1 日発行
『現代の洋画』第 5 号 1912 年 8 月 1 日発行
『現代の洋画』第 6 号 1912 年 9 月 13 日発行
『現代の洋画』第 7 号 1912 年 10 月 10 日発行
『現代の洋画』第 8 号 1912 年 11 月 6 日発行
『現代の洋画』第 9 号 1912 年 12 月 1 日発行
『現代の洋画』第 10 号 1913 年 1 月 1 日発行
『現代の洋画』第 11 号 1913 年 2 月 6 日発行
『現代の洋画』第 14 号 1913 年 5 月 1 日発行
『現代の洋画』第 15 号 1913 年 6 月 1 日発行
『現代の洋画』第 16 号 1913 年 7 月 1 日発行
『現代の洋画』第 17 号「後期印象派」 1913 年 8 月 1 日発行
『現代の洋画』第 17 号 1913 年 9 月 1 日発行
『現代の洋画』第 18 号 1913 年 10 月 1 日発行
『現代の洋画』第 19 号 1913 年 11 月 15 日発行
『現代の洋画』第 21 号 1913 年 12 月 15 日発行
『現代の洋画』第 23 号「版画号」 1914 年 2 月 1 日発行
『現代の洋画』第 24 号「ロダンの芸術」上巻 1914 年 3 月 5 日発行
『現代の洋画』第 25 号「ロダンの芸術」下巻 1914 年 4 月 8 日発行
『現代の洋画』第 26 号 1914 年 5 月 3 日発行
『現代の洋画』第 28 号 1914 年 7 月 3 日発行
『現代の美術』第 3 卷 1 号 1914 年 8 月 5 日発行
『現代の美術』第 3 卷 2 号 1914 年 9 月 3 日発行
『現代の美術』第 4 卷 1 号 1915 年 5 月 3 日発行
『現代の美術』第 4 卷 2 号 1915 年 6 月 3 日発行
『現代の美術』第 4 卷 3 号 1915 年 7 月 3 日発行
『第一回ヒュウザン会展覧会目録』 1912 年 10 月 20 日発行
『第二回ヒュウザン会展覧会目録』 1913 年 3 月 11 日発行
『ヒュウザン』第 1 号 1912 年 11 月 6 日発行
『生活社主催第一回油絵展覧会出品目録』 1913 年 10 月 16 日発行
『現代之美術社主催美術展覧会出品目録』 1915 年 10 月発行
『第二回草土社展覧会』出品目録 1916 年 4 月発行
『第三回草土社展覧会』出品目録 1916 年 11 月発行
カミーユ・モークレール『フランス印象派（1860-1900）』 1903 年発行

9 没後 10 年 吉原英雄展（特別協力）

平成 29 年 2 月 15 日～3 月 15 日 中信美術館（京都）
吉原英雄《ひまわり》 1956
吉原英雄《きりきり舞い》 1956
吉原英雄《潛水 A》 1957
吉原英雄《ボンゴのおどり》 1959
吉原英雄《トゥ・ディ》 1960
吉原英雄《リトグラフ・ブルー No. 2》 1961
吉原英雄《リトグラフ・レッド》 1962
吉原英雄《ターン・ダウン》 1963
吉原英雄《出会い 3》 1964
吉原英雄《ヤング・レディ》 1968
吉原英雄《彼女は空に》 1968
吉原英雄《シーソー 1》 1968
吉原英雄《ミラー・オブ・ザ・ミラー ニューヨーク 1 モーニング・コード》 1972
吉原英雄《ミラー・オブ・ザ・ミラー ニューヨーク 2 ランチ》 1972
吉原英雄《ミラー・オブ・ザ・ミラー ニューヨーク 3 パーティー》 1972
吉原英雄《版画集「公園」1 梅の季節》 1974
吉原英雄《版画集「公園」2 かきつばた》 1974
吉原英雄《版画集「公園」3 夏の日のベンチ》 1974
吉原英雄《版画集「公園」4 午後》 1974
吉原英雄《版画集「公園」5 雨の日》 1974
吉原英雄《版画集「公園」6 芝生》 1974
吉原英雄《二つの地平 B》 1988

調査・研究・発表活動および対外協力活動

奥村泰彦

- ・「コレクション展 2016一夏」および「特集 ドローイング 水彩・パステル・紙の世界」展を担当、フロアレクチャー（32頁参照）
- ・執筆：「特集展示 ドローイング—水彩・パステル・紙の世界」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.87+88、p.7
- ・執筆：「Ceramic Proposition 2016」『陶芸の提案 2016—用を放擲して—』ギャラリー白、2016年、pp.4-5
- ・執筆：「関西の美術館で観る名画 秋の頃 野長瀬晩花」『ふれあい』納税月報臨時増刊通巻123号、公益財団法人納税協会連合会、2016年、p.13
- ・執筆：「南野馨展／大原千尋展 - 菜器ー」DM、ギャラリー白、2016年
- ・講演：「美術館を利用した鑑賞教育—方法と実践」第70回和歌山県図工・美術研究大会（2016年11月21日、山崎北小学校）
- ・講演：「トークシリーズ 障害のある人のアートと評価3 美術館のものさし」（2016年11月25日、たんぽぽの家アートセンターHANA）
- ・講演記録：「美術館のものさし」『障害のある人のアートと評価 あなたの「ものさし」聞かせてください』一般財団法人 たんぽぽの家、2017年3月31日、pp.44-55
- ・対談：「和歌山アートの学校 現代アートってどう見るの…自由に見ていいの呪縛をとく」（高等教育機関コンソーシアム和歌山採択事業）和歌山大学「教養の森」センター 深教授 菅原真弓氏と対談（「美術史から紐解く編」2016年11月27日、「美学から紐解く編」2017年1月14日、いずれもイオンモール和歌山イオンホール）
- ・対談：「陶芸の提案 2016—用を放擲して—」、ギャラリートーク、2016年4月4日（ギャラリー白）
- ・平成28年度和歌山県文化表彰選考委員
- ・「新美術館建設準備室所蔵油彩画修復業務委託等公募型プロポーザル方式有識者会議」（2016年7月22日、大阪新美術館建設準備室）
- ・「2016県展」審査員（2016年7月27日、兵庫県立美術館）
- ・公益財団法人脇村奨学会情報交換会、2016年8月12日
- ・「森のちから IX」（NPO 和歌山芸術文化支援協会主催）実施に協力。2016年9月24日、25日、アート・ツアーバーに随行
- ・和歌山県福祉事業団「第2回 アールブリュット和歌山展 魂の出会いところ」推進委員会、2016年12月9日
- ・公益財団法人堀江オルゴール博物館理事
- ・所属学会：美学会、美術史学会、美学芸術学会、アートドキュメンテーション学会、版画学会（平成28年度運営委員）

井上芳子

- ・「恩地孝四郎」展企画構成、図録編集および「出品目録」の編集（8頁参照）
- ・「特集展示 本の美術 ルリユールへの誘い」を東京製本倶楽部との共催として実施、ワークショップを開催（8頁参照）
- ・大規模展第二部「大正の異色画家たち」を担当、フロアレクチャー（41頁参照）
- ・「本の美術：ルリユールへの誘い」『東京製本倶楽部会報』73号、2016年7月7日、pp.3-6
- ・「本の美術：ルリユールへの誘い」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.87+88号、p.4

植野比佐見

- ・「コレクション展 2016一春」および「特集展示 謄写印刷工房から印刷と美術のはざまで」を担当、フロアレクチャー（前年度より継続、2015年度年報を参照）

- ・「コレクション展 2016一秋」および「特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現」を担当、フロアレクチャー（36頁参照）
- ・「泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」展を担当、講演会、フロアレクチャー（28頁参照）
- ・執筆：「薔薇色の鏡 銅版画について」「修復について—村井正誠《百靈廟》の場合」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.87+88、p.5-6
- ・執筆：「大きな人はいいなと思うのです 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.89+90、p.7-9
- ・企画協力：「PAINTINGS 1971-93」（2017年2月25日～3月26日、the three konohana（大阪））
- ・講演：「泉茂 ハンサムな絵のつくりかた」（2017年3月4日、the three konohana（大阪））
- ・執筆：TOSHABAN: On the Development of the Mimeograph Between Printing and Art in Modern Japan, "THE MIMEOGRAPH, A TOOL FOR RADICAL ART AND POLITICAL CONTESTATION," 2016, Bergen
- ・執筆：版画史研究会編輯『版画家名覧』

奥村一郎

- ・「恩地孝四郎」展を担当、図録編集および作品解説を執筆、「恩地孝四郎文献目録」を編集、フロアレクチャーほか関連事業を担当（8頁参照）
- ・「なつやすみの美術館6 きろくときおく」展を担当、フロアレクチャー、ワークショップ、たまごせんせいと「わくわくアートツアーワークショップ」（23頁参照）
- ・執筆：「特集「光について」」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.87+88、p.10
- ・執筆：「恩地孝四郎展 上 抽象表現のパイオニア」産経新聞、2016年5月12日、23面
- ・執筆：「恩地孝四郎展 中 近代化する時代を表現」産経新聞、2016年5月13日、22面
- ・執筆：「恩地孝四郎展 下 布やレースを使った技法生み出す」産経新聞、2016年5月14日、23面
- ・執筆：「恩地孝四郎展 上 具象との間に数々の名作」産経新聞、2016年5月24日、23面
- ・「きろくときおくをめぐるワークショップ」（主催：和歌山県、一般財団法人和歌山県文化振興財団）への協力。2016年8月28日（23頁参照）
- ・「なつやすみの美術館6」を題材とした和歌山大学教育学部美術専攻の美術科教育研究への協力（2016年7月）
- ・「全国美術館会議 第48回教育普及研究部会」（2016年9月5日、名古屋市美術館）に出席
- ・鼎談：「なぜ渡米派は評価されない？」高橋秀治×奥村一郎×才士真司、「日系アメリカ人アーティスト研究シンポジウム」（2016年10月9日、岡山大学）にて
- ・アーティスト・サポート・プログラム enoco [study?] #4、選定作家審査および成果発表講評（2017年3月18日、大阪府立江之子島文化芸術創造センター）
- ・執筆：「中村大三郎画塾『塾誌』について—翻刻と解題—3」『広島女学院大学国際教養学部紀要』第4号、2017年3月31日、pp.1-25（共著）
- ・所属学会：日本移民学会

宮本久宣

- ・「動き出す！絵画 パール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」展を担当、図録編集および章解説、作品解説、作家解説を執筆、関連年譜、北山清太郎関連雑誌細目および出品目録を編集、

- フロアレクチャー、講演会ほか関連事業を担当（16頁参照）
- ・執筆「絵を動かした人 ペール北山と大正期の美術」『動き出す！絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち』展図録、pp.12-23
 - ・執筆：「新収蔵作品より 木村荘八《水道橋》」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.87+88、p.13
 - ・執筆：「大正美術の支援者・日本アニメの創始者 北山清太郎」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.89+90、pp.1-2
 - ・執筆：「動き出す！絵画」『美連協ニュース』No.130、2016年5月号、p.26
 - ・執筆：「動き出す！絵画 ペール北山の夢」『新美術新聞』No.1418、2016年9月11日、1面
 - ・執筆：「動き出す！絵画 ペール北山の夢」ウェブサイト『アートアニュアルオンライン』2016年9月15日
 - ・執筆：「ペール北山の夢（下）」『紀伊民報』第22282号、2016年11月12日、7面
 - ・執筆：「動き出す！絵画 ペール北山の夢（中）パリ留学 深まる作風 藤島武二「巴里寓居の紀念」』『讀賣新聞』、2016年12月22日、26面
 - ・ギャラリートーク：「動き出す！絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」展オープニングリレートーク（2016年9月17日、東京ステーションギャラリー）
 - ・レクチャー：「原田直次郎様一話啓上仕候」（2016年7月24日、島根県立石見美術館）
 - ・レクチャー：「動き出す！絵画 ペール北山の夢」展について（2016年10月27日、田辺ロータリークラブ／2016年10月28日、和歌山南ロータリークラブ／2016年12月7日、紀伊田辺ライオンズクラブ）
 - ・所属学会：美術史学会

青木加苗

- ・「動き出す！絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」展を担当、図録編集および章解説、作品解説、作家解説を執筆、関連年譜、北山清太郎関連雑誌細目および出品目録を編集、フロアレクチャー、講演会ほか関連事業を担当（16頁参照）
- ・「なつやすみの美術館6 きろくときおく」展、こどもギャラリートーク、たまごせんせいと「わくわくアートツアーア」担当（23頁参照）
- ・執筆：「恩地孝四郎展」図録、作品解説執筆（8頁参照）
- ・執筆「がんばれ日本！あるいは「動けなかった」彼らのために—『現代の洋画』と西洋の美術」『動き出す！絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち』展図録、pp.234-239
- ・執筆：「『文化的景観』と美術館—ICOMミラノ大会に参加して」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.87+88、pp.11-12
- ・執筆：「教育普及活動より「夏の『ポスト』を知っていますか？」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.87+88、pp.14-15
- ・執筆：「『動き出す！絵画』展 関連事業より」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.89+90、pp.3-6
- ・執筆：「もうひとつの美術館部『こども美術館部』ができるまで」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.89+90、pp.13-14
- ・執筆「ペール北山の夢（上）」『紀伊民報』第22276号、2016年11月5日、8面
- ・執筆「動き出す！絵画 ペール北山の夢（上）大正の若者 憧れと熱 ピエール＝オーギュスト・ルノワール「泉による女」』『讀賣新聞』、2016年12月21日、34面
- ・執筆「動き出す！絵画 ペール北山の夢（下）自己表現 強い眼差し

- 岸田劉生「黒き帽子の自画像」『讀賣新聞』、2016年12月23日、32面
- ・執筆「河野通勢旧蔵資料調査から」『美 愛 真』第32号、調布市武者小路実篤記念館、2017年3月31日、p.5
 - ・小学生対象の鑑賞会「こども美術館部」全6回を担当（49頁参照）
 - ・ギャラリートーク：「動き出す！絵画 ペール北山の夢—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」展オープニングリレートーク（2016年9月17日、東京ステーションギャラリー）
 - ・レクチャー：「動き出す！絵画 ペール北山の夢」展について（2016年10月25日、和歌山ロータリークラブ／2016年10月27日、田辺ロータリークラブ／2016年10月28日、和歌山南ロータリークラブ／2016年12月7日、紀伊田辺ライオンズクラブ）
 - ・成安造形大学「コミュニティデザイン概論」特別講師（2016年5月26日）
 - ・京都市立芸術大学大学院美術研究科非常勤講師「美術史特論2」（2016年9月20日、21日、23日）
 - ・和歌山市中学校夏期教育研修会講師（2016年8月23日）
 - ・「図書館で涼もう 2016：アート体験！ドローイング」講師（2016年8月18日、和歌山県立図書館）
 - ・しみず保田紙行灯アート展審査員（2016年10月26日、体験交流工房わらし）
 - ・「森のちから IX 森・HIKARI・海」（9月／主催：NPO 和歌山芸術文化支援協会）への協力およびアーティスト・トーク「森を語るIII」の司会（潮岬青少年の家、2016年9月24日）
 - ・第24回 ICOM（国際博物館会議）総会 ミラノ大会（2016年7月4日～6日、ミラノ）出席
 - ・全国美術館会議 美術館運営制度研究部会会合出席（第24回：2016年4月26日、国立西洋美術館／第25回：2016年9月30日、ブリヂストン美術館／第26回：2017年3月27日、国立西洋美術館）
 - ・全国美術館会議 第49回教育普及研究部会会合出席（2017年2月20日、21日、大分県立美術館）
 - ・和歌山大学美術館部サークル外部指導員
 - ・所属学会：美学会、美術史学会、意匠学会、美術科教育学会、ICOM（ICFA）

藤本真名美

- ・「恩地孝四郎」展を担当、図録編集および作品解説を執筆、「恩地孝四郎文献目録」を編集、フロアレクチャー（8頁参照）
- ・「コレクション展 2017-春」を担当（45頁参照）
- ・特集展示「群像一交錯する声」を担当（47頁参照）
- ・執筆：「『恩地孝四郎展 情抒とモダン』記念講演会より」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.87+88、p.1-3
- ・執筆：「飛翔する詩人の魂——恩地孝四郎《『氷島』の著者（萩原朔太郎像）》』『和歌山県立近代美術館ニュース』No.89+90、p.10-12
- ・執筆：「恩地孝四郎のデッサンを見る」『美術の窓』第35巻第3号通巻410号、生活の友社、2016年3月20日、pp.36-39
- ・執筆：「恩地孝四郎展 中 空中旅行を追体験」『産経新聞』2016年5月25日、25面
- ・執筆：「恩地孝四郎展 下 父の複雑な心境投影」『産経新聞』2016年5月26日、27面
- ・研究発表：「谷口香嶋と近代京都の工芸界」近代京都科研研究会（2016年9月3日、京都工芸繊維大学）
- ・所属学会：大正イマジュリィ学会

収集事業

和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- 日本画 1. 下村觀山、川端龍子を軸とする院展の作家たち
2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち
- 洋 画 3. 川口軌外を軸とする 1930 年協会、初期独立美術協会の作家たち
4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち
5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち
- 版 画 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見亭、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画
- 彫 刻 7. 本県にゆかりのある建畠覚造、保田春彦を軸とする現代彫刻
- その他 8. 戦後美術
ア パンリアル美術協会
イ 走泥社
ウ デモクラート美術家協会
エ 具体美術協会
9. 現代の美術
10. 海外の美術

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員

榎本長治 会社社長
酒井哲朗 福島県立美術館名誉館長
建畠 哲 多摩美術大学学長／埼玉県立近代美術館館長

第 39 回美術作品選定委員会

日時：2017（平成 29）年 1 月 15 日（日）午後 2 時 30 分より開催
出席：榎本長治委員、酒井哲朗委員、建畠哲委員
内容：購入候補作品ならびに受贈候補作品について、受け入れの妥当性について協議を行った。

2016（平成 28）年度収蔵作品点数

購入作品	6 点
受贈作品	64 点
受贈資料	1 点

2016(平成28)年度 購入作品

各作品について、作者名、作品名、制作年、材質・技法・寸法 (cm、特記なき平面作品はイメージサイズ)、台帳番号を記した。作者名(五十音順、日本人作家／外国人作家)、制作年の順に配列。

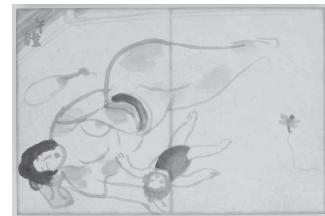
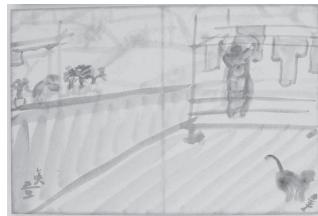


4. 小柳 裕 KOYANAGI Yutaka
Shrine (Source of Light 14-7)
2014 (平成 26)
油彩、アクリル、キャンバス
162.4 × 132.2
[11938]

5. 清水 登之 SHIMIZU Toshi
ヨコハマ・ナイト
1921 (大正 10)
油彩、キャンバス
76.2 × 96.5
[11940]

6. 野長瀬 晚花 NONAGASE Banka
街の四季
1916 (大正 5)
顔料、紙、画帖 1 冊 (12 図)
23.8 × 35.8 (見開き 1 面)
[11941]

「春の宵」

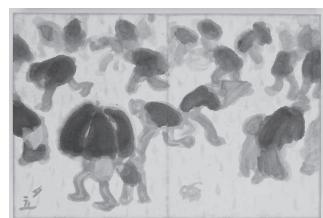


「かけらふ」

「真昼」

「新緑」

「午睡」



「夕立」

「衣更」

「秋の風」

「落葉」



「たそかれ」



「初雪」



「顔見世」

2016(平成28)年度 受贈作品

各作品について、作者名、作品名、制作年、材質・技法、寸法(cm、特記なき平面作品はイメージサイズ)、寄贈者名、台帳番号を順に記した。作品種別ごとに、作者名(五十音順)、制作年の順に配列。



1. 泉茂 IZUMI Shigeru
Painting (BS5011)
1963 (昭和 38)
油彩、キャンバス
106.7 × 91.5
泉照子氏寄贈
[11901]



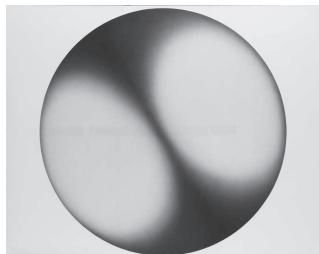
2. 泉茂 IZUMI Shigeru
Painting (CF8031)
1964 (昭和 39)
油彩、キャンバス
111.5 × 144.5
泉照子氏寄贈
[11902]



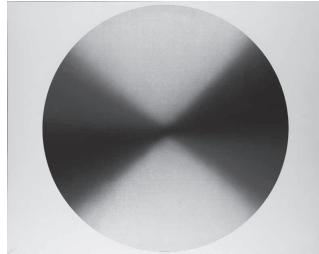
3. 泉茂 IZUMI Shigeru
Painting (CF8035)
1964 (昭和 39)
油彩、キャンバス
111.6 × 144.8
泉照子氏寄贈
[11903]



4. 泉茂 IZUMI Shigeru
Painting (CP8036)
1964 (昭和 39)
油彩、キャンバス
96.4 × 144.5
泉照子氏寄贈
[11904]



5. 泉茂 IZUMI Shigeru
Painting (KF1505)
1972 (昭和 47)
油彩、キャンバス
181.5 × 227.0
泉照子氏寄贈
[11905]



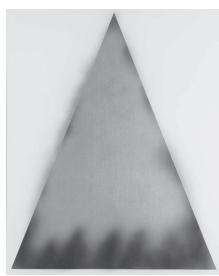
6. 泉茂 IZUMI Shigeru
Painting (KF1506)
1972 (昭和 47)
油彩、キャンバス
182.0 × 227.0
泉照子氏寄贈
[11906]



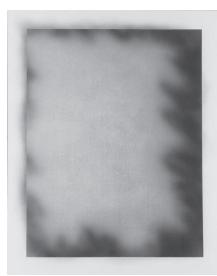
7. 泉茂 IZUMI Shigeru
Painting (LF1007)
1973 (昭和 48)
油彩、キャンバス
162.0 × 130.5
泉照子氏寄贈
[11907]



8. 泉茂 IZUMI Shigeru
集合
1977 (昭和 52)
油彩、キャンバス
92.0 × 71.5
泉照子氏寄贈
[11908]



9. 泉茂 IZUMI Shigeru
Painting (RF1001)
1979 (昭和 54)
油彩、キャンバス
162.2 × 130.5
泉照子氏寄贈
[11909]



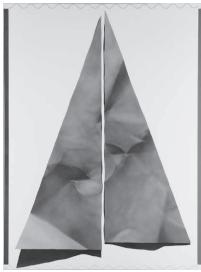
10. 泉茂 IZUMI Shigeru
Painting (RF1002)
1979 (昭和 54)
油彩、キャンバス
161.8 × 130.2
泉照子氏寄贈
[11910]



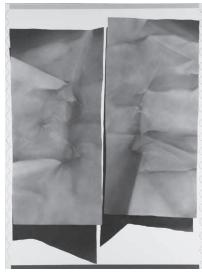
11. 泉茂 IZUMI Shigeru
伸びる三角
1981 (昭和 56)
油彩、キャンバス
260.0 × 196.0
泉照子氏寄贈
[11911]



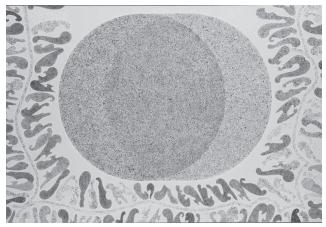
12. 泉茂 IZUMI Shigeru
皺三角
1983(昭和 58)
油彩、キャンバス
163.0 × 130.8
泉照子氏寄贈
[11912]



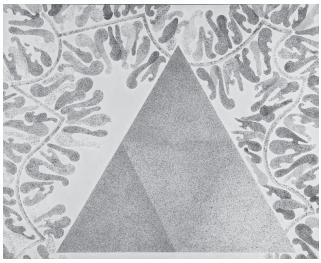
13. 泉茂 IZUMI Shigeru
割れる三角
1983(昭和 58)
油彩、キャンバス
259.0 × 194.0
泉照子氏寄贈
[11913]



14. 泉茂 IZUMI Shigeru
割れる矩形
1983(昭和 58)
油彩、キャンバス
259.0 × 194.0
泉照子氏寄贈
[11914]



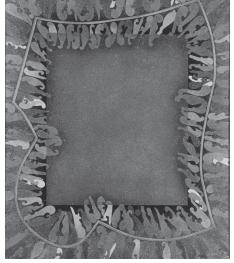
15. 泉茂 IZUMI Shigeru
ラブソディ・イン・オータム
1987(昭和 62)
アクリル絵具、キャンバス
130.4 × 194.1
泉照子氏寄贈
[11915]



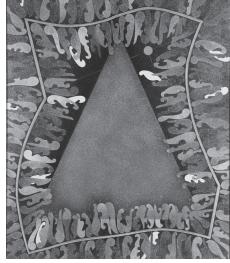
16. 泉茂 IZUMI Shigeru
秋のソナチネ
1987(昭和 62)
アクリル絵具、キャンバス
131.0 × 162.8
泉照子氏寄贈
[11916]



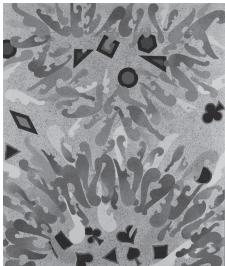
17. 泉茂 IZUMI Shigeru
鎮魂歌
1988(昭和 63)
アクリル絵具、キャンバス
260.0 × 195.3
泉照子氏寄贈
[11917]



18. 泉茂 IZUMI Shigeru
聖域
1991(平成 3)
アクリル絵具、キャンバス
194.4 × 162.3
泉照子氏寄贈
[11918]



19. 泉茂 IZUMI Shigeru
侵入
1991(平成 3)
アクリル絵具、キャンバス
194.0 × 162.5
泉照子氏寄贈
[11919]



20. 泉茂 IZUMI Shigeru
分裂
1992(平成 4)
アクリル絵具、キャンバス
194.3 × 162.2
泉照子氏寄贈
[11920]



21. 泉茂 IZUMI Shigeru
焦燥
1993(平成 5)
アクリル絵具、キャンバス
162.3 × 130.4
泉照子氏寄贈
[11921]



22. 泉茂 IZUMI Shigeru
[不詳]
1993(平成 5)
アクリル絵具、キャンバス
194.1 × 162.4
泉照子氏寄贈
[11922]



23. 奥田善巳 OKUDA Yoshimi
CO-255
1985(昭和 60)
油彩、キャンバス
130.5 × 97.0
駒田哲男氏、駒田陽子氏寄贈
[11882]



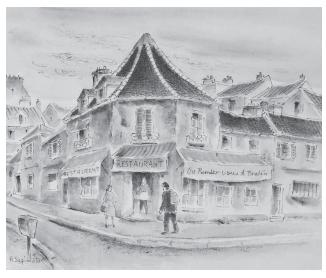
24. 奥田善巳 OKUDA Yoshimi
CO-565
1985(昭和 60)
油彩、キャンバス
218.5 × 291.5
駒田哲男氏、駒田陽子氏寄贈
[11883]



25. 木下佳通代 KINOSITA Kazuyo
'85-CA250
1985(昭和 60)
油彩、キャンバス
130.5 × 97.0
駒田哲男氏、駒田陽子氏寄贈
[11884]



26. 小柳裕 KOYANAGI Yutaka
A View with the Steelworks
2014(平成 26)
油彩、アクリル、キャンバス
153.0 × 202.2
小柳裕氏寄贈
[11936]



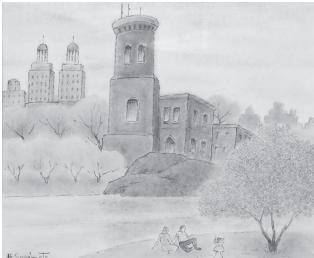
27. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
パリの街はずれ
不詳(戦後期)
水彩、紙
44.0 × 51.5
中津海茂氏寄贈
[11926]



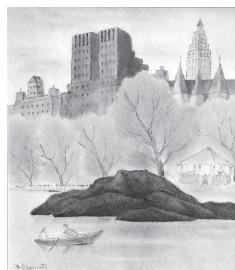
28. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
井戸に行く道
不詳 (戦後期)
水彩、紙
44.0 × 51.5
中津海茂氏寄贈
[11927]



29. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
街路へ通ずる門
不詳 (戦後期)
水彩、紙
51.5 × 44.0
中津海茂氏寄贈
[11928]



30. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
ニューヨーク風景 (桜)
不詳 (戦後期)
水彩、紙
51.0 × 60.2
中津海茂氏寄贈
[11929]



31. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
ニューヨーク風景 (ボート)
不詳 (戦後期)
水彩、紙
60.2 × 51.0
中津海茂氏寄贈
[11930]



32. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
ニューヨーク風景 (公園)
不詳 (戦後期)
水彩、紙
60.2 × 51.0
中津海茂氏寄贈
[11931]



33. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
Winter Setting Sun
不詳 (戦後期)
木版、紙
40.5 × 30.5
中津海茂氏寄贈
[11932]



34. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
修道院の背面
1964 (昭和 39)
油彩、キャンバス
72.0 × 60.0
Madeleine S. Sugimoto 氏寄贈
[11877]



35. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
秋のパリ
1965 (昭和 40)
油彩、キャンバス
140.0 × 130.0
Madeleine S. Sugimoto 氏寄贈
[11878]



36. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
サウス・フェリー、ニューヨーク
1967 (昭和 42)
油彩、キャンバス
162.0 × 130.0
Madeleine S. Sugimoto 氏寄贈
[11879]



37. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
気象台
1968 (昭和 43)
油彩、キャンバス
96.0 × 130.0
Madeleine S. Sugimoto 氏寄贈
[11880]



38. ヘンリー・杉本 SUGIMOTO Henry
コイトタワー
1969 (昭和 44)
油彩、キャンバス
130.0 × 97.0
Madeleine S. Sugimoto 氏寄贈
[11881]



39. 鈴木 久雄 SUZUKI Hisao
錐底円
1982 (昭和 57)
鉄、銅、鉛
高さ 34.0 × 42.0 × 34.0
鈴木久雄氏寄贈
[11943]



40. 鈴木 久雄 SUZUKI Hisao
風化儀式 IV
1983 (昭和 58)
鉄、塙山白御影石
高さ 57.0 × 60.0 × 60.0
鈴木久雄氏寄贈
[11944]



41. 鈴木 久雄 SUZUKI Hisao
塔体 I
1989 (昭和 64 / 平成元)
鍛造鉄
高さ 230.0 × 52.0 × 54.0
鈴木久雄氏寄贈
[11945]



42. 鈴木 久雄 SUZUKI Hisao
塔体 III
1989 (昭和 64 / 平成元)
鍛造鉄
高さ 230.0 × 54.0 × 54.0
鈴木久雄氏寄贈
[11946]



43. 中ハシ 克シゲ NAKAHASHI Katsushige
BONSAI
1985 (昭和 60)
ブロンズ、鉄に彩色
104.0 × 47.0 × 43.0
駒田哲男氏、駒田陽子氏寄贈
[11885]



44. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
[無題]
1968 (昭和 43) 頃
黒陶
11.0 × 32.0 × 28.0
宮下英子氏寄贈
[11886]



45. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
[無題]
1968 (昭和 43) 頃
黒陶
13.5 × 33.0 × 34.0
宮下英子氏寄贈
[11887]



46. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
胎座
1970 (昭和 45)
陶
50.5 × 42.0 × 31.0
宮下英子氏寄贈
[11888]



47. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
やすむ風
1978 (昭和 53)
陶
37.5 × 31.0 × 31.0
宮下英子氏寄贈
[11889]



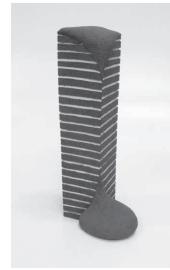
48. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
無題
1980 (昭和 55)
陶 (2点組)
55.0 × 13.0 × 14.0 / 51.0 × 13.0 × 14.0
宮下英子氏寄贈
[11890]



49. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
視覚の角度
1983 (昭和 58)
陶
8.5 × 11.0 × 15.0
宮下英子氏寄贈
[11891]



50. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
過去からの道標
1983 (昭和 58)
陶
30.5 × 8.0 × 8.0
宮下英子氏寄贈
[11892]



51. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
化石する泉 II
1985 (昭和 60)
陶
45.0 × 22.0 × 14.0
宮下英子氏寄贈
[11893]



52. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
存在の意味
1986 (昭和 61)
陶
40.0 × 64.0 × 32.5
宮下英子氏寄贈
[11894]



53. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
牡丹 (元禄)
1990 (平成 2)
陶
23.5 × 48.0 × 48.0
宮下英子氏寄贈
[11895]



54. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
牡丹 (現代)
1990 (平成 2)
陶
37.5 × 45.5 × 45.5
宮下英子氏寄贈
[11896]



55. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
通過する風
1994 (平成 6)
陶
47.5 × 50.0 × 19.0
宮下英子氏寄贈
[11897]



56. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
陽の跡
2002 (平成 14)
陶
37.0 × 28.5 × 6.5
宮下英子氏寄贈
[11898]



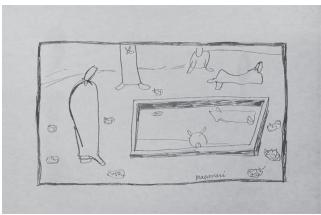
57. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
あゆむ風
2002 (平成 14)
陶
27.5 × 15.0 × 7.5
宮下英子氏寄贈
[11899]



58. 宮下 善爾 MIYASITA Zenji
時空の距離
2008 (平成 20)
陶
24.5 × 16.8 × 6.5
宮下英子氏寄贈
[11900]



59. 村井 正誠 MURAI Masanari
パンチュール (水辺)
不詳 (1930 年代)
鉛筆、紙
8.9 × 18.4
三木哲夫氏寄贈
[11933]



60. 村井 正誠 MURAI Masanari
パンチュール（水辺）
不詳（1930 年代）
インク、紙
10.6 × 18.6
三木哲夫氏寄贈
[11934]



61. 村井 正誠 MURAI Masanari
パンチュール（静物）
不詳（1930 年代）
油彩、ガラス
5.9 × 9.0
三木哲夫氏寄贈
[11935]



62. 村井 正誠 MURAI Masanari
ボウトレ・アラブ
不詳（1930 年代）
リトグラフ、紙
34.4 × 28.5
村井伊津子氏寄贈
[11923]



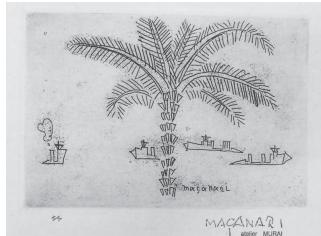
63. 村井 正誠 MURAI Masanari
二人
1999（平成 11）
リトグラフ、紙
34.7 × 35.0
村井伊津子氏寄贈
[11924]



64. 村井 正誠 MURAI Masanari
ひと
1999（平成 11）
リトグラフ、紙
62.4 × 47.3
村井伊津子氏寄贈
[11925]

2016(平成 28)年度 受贈資料

作者名、作品名、制作年、材質・技法、寸法 (cm、特記なき平面作品はイメージサイズ)、寄贈者名を記した。



1. 村井 正誠 MURAI Masanari
ゴルフジュアンの海
不詳（1930 年代）／再刷：2014（平成 26）
エッティング、紙
12.2 × 17.9
村井伊津子氏寄贈

補遺

2013(平成 25)年度 受贈作品

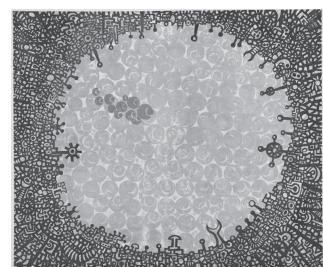
『2013（平成 25）年度 年報』に未掲載であった受贈作品 82 点を、補遺として掲載する。各作品について、作者名、作品名、制作年、材質・技法、寸法 (cm、特記なき平面作品はイメージサイズ)、寄贈者名、台帳番号を順に記した。作品種別ごとに、作者名（五十音順）、制作年の順に配列。



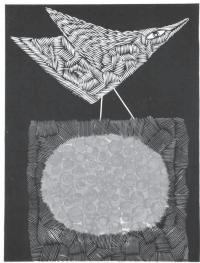
1. 西 博民 NISHI Hakumin
岡口門と城山を望む
不詳
油彩、キャンバス
45.5 × 53.2
堀内俊男氏寄贈
[11947]



2. 吹田 文明 FUKITA Fumiaki
人
1958（昭和 33）
木版、紙
60.5×45.5 イメージ／63.2×49.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11948]



3. 吹田 文明 FUKITA Fumiaki
機械と群集の中より逃れる
1958（昭和 33）
木版、紙版、紙
60.5×72.0 イメージ／61.2×73.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11949]



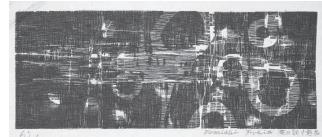
4. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
鳥と眼球体
1958(昭和33)
木版、紙版、紙
60.1×45.8 イメージ／63.3×49.1 シート
吹田文明氏寄贈
[11950]



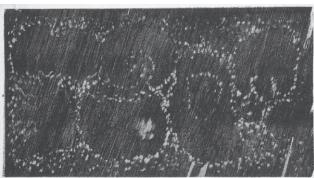
5. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
みみづく
1958(昭和33)
木版、紙版、紙
30.1×23.9 イメージ／31.8×24.8 シート
吹田文明氏寄贈
[11951]



6. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
形
1961(昭和36)
木版、紙
33.3×26.2 イメージ／35.5×28.0 シート
吹田文明氏寄贈
[11952]



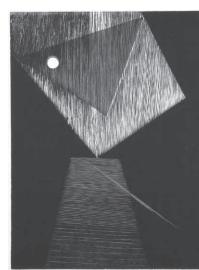
7. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
夜の記憶
1962(昭和37)
木版、紙
10.1×26.1 イメージ／13.5×28.1 シート
吹田文明氏寄贈
[11953]



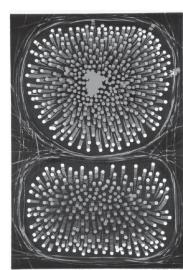
8. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
夜の雨
1962(昭和37)
木版、紙
21.9×39.8 イメージ／23.9×41.2 シート
吹田文明氏寄贈
[11954]



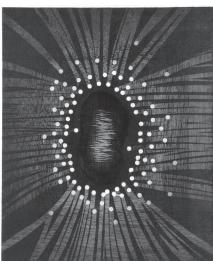
9. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
鳥の巣
1962(昭和37)
木版、紙
39.7×21.4 イメージ／41.9×22.9 シート
吹田文明氏寄贈
[11955]



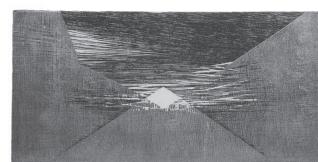
10. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
夜の構図
1964(昭和39)
木版、紙
60.3×45.5 イメージ／63.5×47.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11956]



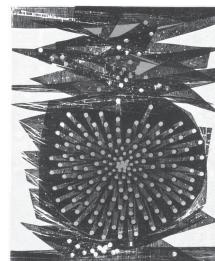
11. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
群生
1964(昭和39)
木版、紙
91.6×61.7 イメージ／98.1×63.8 シート
吹田文明氏寄贈
[11957]



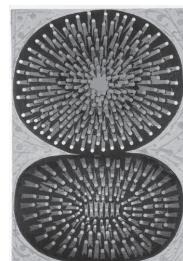
12. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
青い十字
1965(昭和40)
木版、紙
74.4×61.5 イメージ／80.6×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11958]



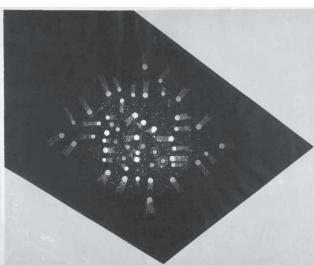
13. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
空間の菱形
1966(昭和41)
木版、紙
17.3×34.7 イメージ／21.0×38.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11959]



14. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
初雪
1966(昭和41)
木版、紙
73.8×60.7 イメージ／76.8×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11960]



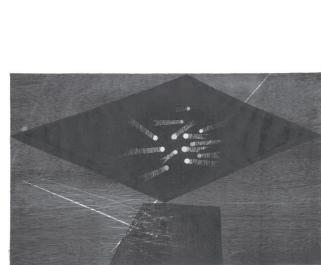
15. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
愛の2人
1966(昭和41)
木版、紙
91.2×62.3 イメージ／97.3×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11961]



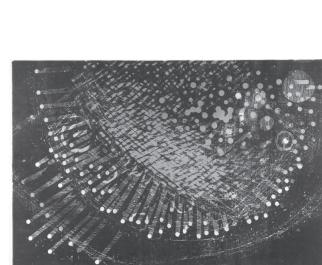
16. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
座標 黄
1967(昭和42)
木版、紙
60.5×73.2 イメージ／63.4×75.6 シート
吹田文明氏寄贈
[11962]



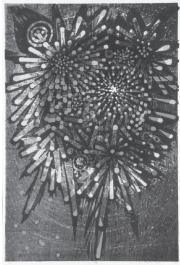
17. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
白い夢
1967(昭和42)
木版、紙
60.3×72.8 イメージ／62.3×77.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11963]



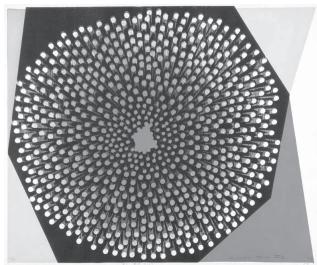
18. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
銀河系 No.2
1967(昭和42)
木版、紙
49.0×78.9 イメージ／52.1×83.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11964]



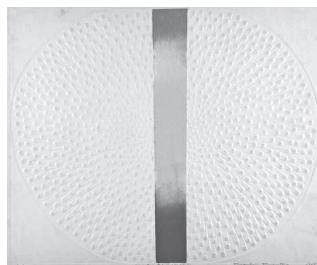
19. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
霧と雷
1967(昭和42)
木版、紙
60.4×61.3 イメージ／63.3×94.0 シート
吹田文明氏寄贈
[11965]



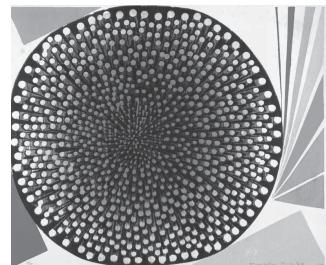
20. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
菊
1968(昭和43)
木版、紙
90.5×60.4 イメージ／97.5×63.2 シート
吹田文明氏寄贈
[11966]



21. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
虹色のカット
1968(昭和43)
木版、紙
60.2×72.2 イメージ／63.3×75.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11967]



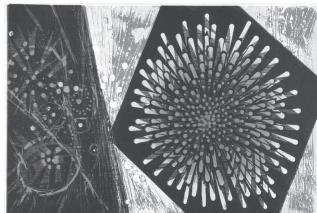
22. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
虹は花の色を盗んで咲く
1968(昭和43)
木版、紙
60.2×73.0 イメージ／62.2×75.6 シート
吹田文明氏寄贈
[11968]



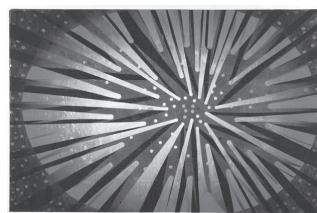
23. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
明日は今日よりも美しく
1968(昭和43)
木版、紙
60.5×73.0 イメージ／63.0×76.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11969]



24. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
星の伝説
1968(昭和43)
木版、紙
91.7×61.1 イメージ／94.9×63.3 シート
吹田文明氏寄贈
[11970]



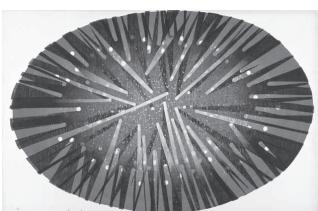
25. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
開かれた地平線
1969(昭和44)
木版、紙
61.5×91.1 イメージ／62.8×93.6 シート
吹田文明氏寄贈
[11971]



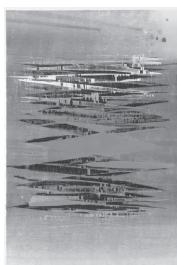
26. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
美しき伝説
1969(昭和44)
木版、紙
59.8×91.2 イメージ／63.5×95.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11972]



27. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
雨のあと
1970(昭和45)
木版、紙
90.5×61.0 イメージ／95.8×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11973]



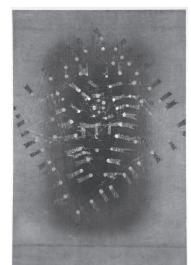
28. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
遠い国
1970(昭和45)
木版、紙
91.5×61.2 イメージ／63.4×95.8 シート
吹田文明氏寄贈
[11974]



29. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
流水
1970(昭和45)
木版、紙
81.8×61.0 イメージ／96.9×63.3 シート
吹田文明氏寄贈
[11975]



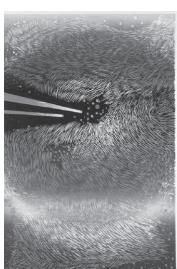
30. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
星の標的
1970(昭和45)
木版、紙
91.7×60.8 イメージ／95.6×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11976]



31. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
十字星
1970(昭和45)
木版、紙
91.6×60.8 イメージ／95.8×63.3 シート
吹田文明氏寄贈
[11977]



32. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
暮色
1970(昭和45)
木版、紙
91.4×60.3 イメージ／96.0×63.3 シート
吹田文明氏寄贈
[11978]



33. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
tide 潮
1970(昭和45)
木版、紙
91.5×60.7 イメージ／97.2×63.3 シート
吹田文明氏寄贈
[11979]



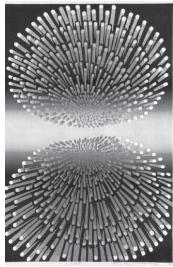
34. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
Don (白)
1970(昭和45)
木版、紙
90.6×60.1 イメージ／95.5×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11980]



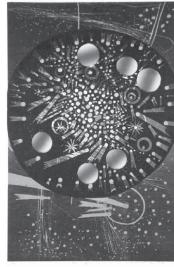
35. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
開幕
1971(昭和46)
木版、紙
91.2×61.2 イメージ／95.8×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11981]



36. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
青空に消えた虹の紙
1972(昭和47)
木版、紙
92.3×61.1 イメージ／99.5×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11982]



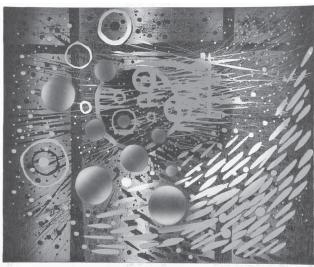
37. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
2つの世界
1973(昭和48)
木版、紙
91.6×61.0 イメージ／96.3×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11983]



38. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
銀河
1974(昭和49)
木版、紙
92.1×60.8 イメージ／96.9×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11984]



39. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
青の世界C
1974(昭和49)
木版、紙
91.3×60.8 イメージ／95.5×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11985]



40. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
球形の詩
1974(昭和49)
木版、紙
59.8×72.7 イメージ／63.5×76.3 シート
吹田文明氏寄贈
[11986]



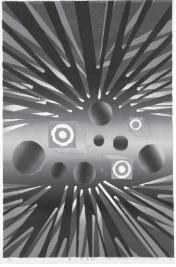
41. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
星を抱くC
1975(昭和50)
木版、紙
91.3×61.0 イメージ／99.8×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11987]



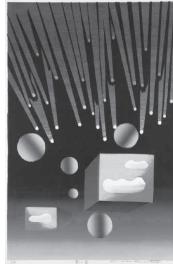
42. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
夜明けの歌B
1975(昭和50)
木版、紙
91.6×61.2 イメージ／96.3×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11988]



43. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
白い風景
1975(昭和50)
木版、紙
91.0×60.7 イメージ／95.8×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11989]



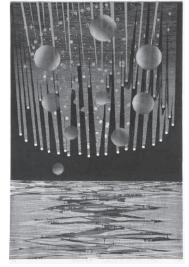
44. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
青の世界E
1976(昭和51)
木版、紙
91.1×60.5 イメージ／96.7×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11990]



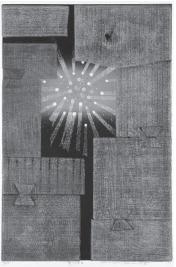
45. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
雲と星
1976(昭和51)
木版、紙
91.2×60.5 イメージ／97.4×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11991]



46. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
銀河の標的
1976(昭和51)
木版、紙
58.5×45.1 イメージ／63.6×49.3 シート
吹田文明氏寄贈
[11992]



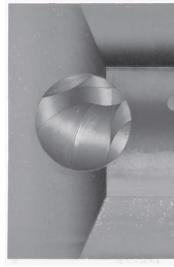
47. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
球形の空(赤)
1977(昭和52)
木版、紙
90.8×60.8 イメージ／96.8×63.6 シート
吹田文明氏寄贈
[11993]



48. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
聖なる日B
1977(昭和52)
木版、紙
92.0×61.0 イメージ／96.9×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[11994]



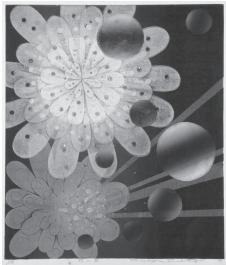
49. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
傷ついた球形A
1977(昭和52)
木版、紙
69.2×57.0 イメージ／62.0×73.8 シート
吹田文明氏寄贈
[11995]



50. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
傷ついた球形B
1977(昭和52)
木版、紙
57.0×69.3 イメージ／61.8×71.9 シート
吹田文明氏寄贈
[11996]



51. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
円舞曲
1978(昭和53)
木版、紙
92.0×61.0 イメージ／97.9×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11997]



52. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
花と花
1979(昭和 54)
木版、紙版、紙
69.0×59.4 イメージ／74.9×63.3 シート
吹田文明氏寄贈
[11998]



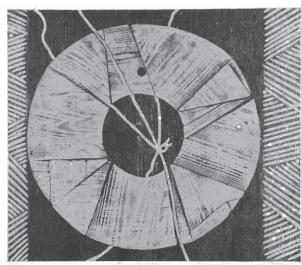
53. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
雲
1980(昭和 55)
木版、紙
69.2×60.2 イメージ／75.7×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[11999]



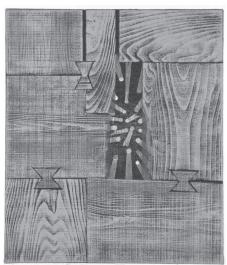
54. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
十字架の星
1980(昭和 55)
木版、紙
89.0×60.4 イメージ／90.2×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12000]



55. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
蝶行く
1980(昭和 55)
木版、紙
68.9×60.2 イメージ／75.4×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[12001]



56. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
赤いひも No.2
1981(昭和 56)
木版、紙
58.4×67.4 イメージ／63.4×72.9 シート
吹田文明氏寄贈
[12002]



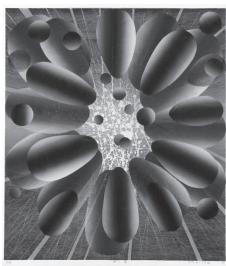
57. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
聖なる夜
1981(昭和 56)
木版、紙
69.1×59.3 イメージ／75.7×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[12003]



58. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
銀河の創世
1982(昭和 57)
木版、紙
68.5×60.0 イメージ／74.4×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12004]



59. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
蒼
1982(昭和 57)
木版、紙
68.3×59.8 イメージ／73.5×62.7 シート
吹田文明氏寄贈
[12005]



60. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
赤い星
1983(昭和 58)
木版、紙
68.1×59.5 イメージ／75.5×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12006]



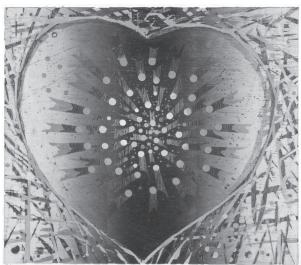
61. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
球
1983(昭和 58)
木版、紙
68.6×60.0 イメージ／74.4×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12007]



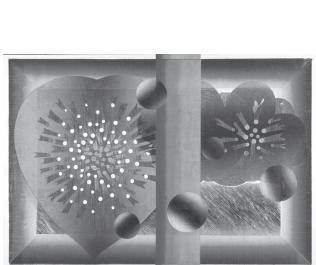
62. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
未明
1984(昭和 59)
木版、紙
65.3×45.8 イメージ／74.5×54.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12008]



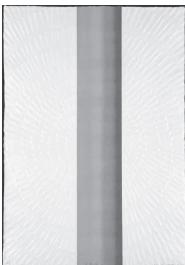
63. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
祭り II
1985(昭和 60)
木版、紙
90.0×60.0 イメージ／96.9×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[12009]



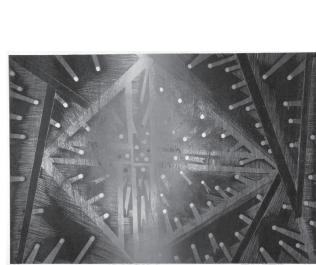
64. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
星座 赤
1987(昭和 62)
木版、紙
59.6×68.2 イメージ／63.4×72.1 シート
吹田文明氏寄贈
[12100]



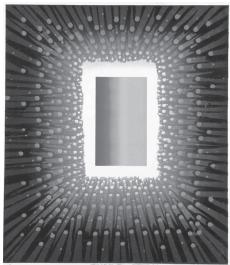
65. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
明日は雨
1988(昭和 63)
木版、紙
63.4×88.5 イメージ／63.4×92.5 シート
吹田文明氏寄贈
[12011]



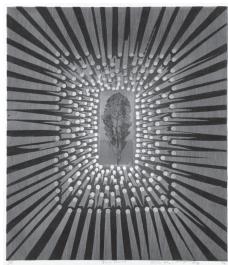
66. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
天使の翼 B
1990(平成 2)
木版、紙
97.2 × 67.0 シート
吹田文明氏寄贈
[12012]



67. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
サザン・クロス
1991(平成 3)
木版、紙
59.9×87.7 イメージ／63.3×92.5 シート
吹田文明氏寄贈
[12013]



68. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
捕われた虹 II
1994(平成 6)
木版、紙
67.5×58.5 イメージ／73.7×62.8 シート
吹田文明氏寄贈
[12014]



69. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
ランドスケープ
1994(平成 6)
木版、紙
69.2×59.9 イメージ／76.8×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12015]



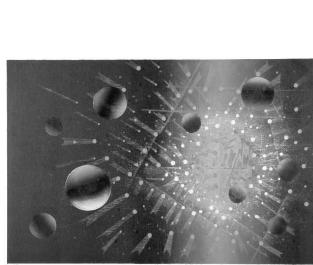
70. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
南の夜明け
(戦後 50 年の鎮魂詩 III)
1994(平成 6)
木版、紙
91.3×60.1 イメージ／95.4×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12016]



71. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
南に散りし友に捧ぐ II
(戦後 50 年の鎮魂詩)
1995(平成 7)
木版、紙版、紙
87.7×60.1 イメージ／93.5×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12017]



72. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
南に散りし友に捧ぐ
(戦後 50 年の鎮魂詩) IV
1996(平成 8)
木版、紙
67.9×59.1 イメージ／73.5×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[12018]



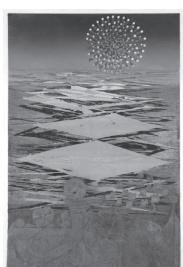
73. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
さらば十字星
1997(平成 9)
木版、紙
60.0×91.1 イメージ／63.5×95.3 シート
吹田文明氏寄贈
[12019]



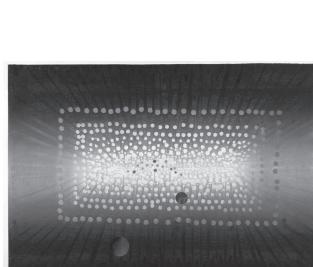
74. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
宇宙華
1998(平成 10)
木版、紙版、紙
87.8×60.0 イメージ／92.2×63.5 シート
吹田文明氏寄贈
[12020]



75. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
祈り
1999(平成 11)
木版、紙
89.4×59.8 イメージ／93.8×63.6 シート
吹田文明氏寄贈
[12021]



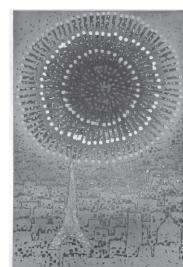
76. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
遠い音
2000(平成 12)
木版、紙
89.0×60.0 イメージ／93.6×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12022]



77. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
夢はるか(赤)
2001(平成 13)
木版、紙
59.7×88.8 イメージ／63.5×93.7 シート
吹田文明氏寄贈
[12023]



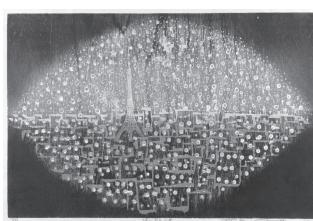
78. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
矢羽根飛ぶ A
2003(平成 15)
木版、金箔、紙
60.1×89.7 イメージ／652×96.2 シート
吹田文明氏寄贈
[12024]



79. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
7月14日パリ祭の夜
2004(平成 16)
木版、紙
89.0×59.9 イメージ／93.6×63.4 シート
吹田文明氏寄贈
[12025]



80. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
哀しみの二ヶ
2005(平成 17)
木版、紙
60.4×59.3 イメージ／65.9×96.3 シート
吹田文明氏寄贈
[12026]



81. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
塔のある風景
2006(平成 18)
木版、紙
59.7×90.2 イメージ／64.8×94.7 シート
吹田文明氏寄贈
[12027]



82. 吹田文明 FUKITA Fumiaki
僕のワインレッドの手編のセーター
2008(平成 20)
木版、紙
89.7×60.3 イメージ／954×64.9 シート
吹田文明氏寄贈
[12028]

図書資料収集

2016（平成 28）年度購入

逐次刊行物 15 タイトル 129 冊

- 1 アサヒカメラ 12 冊
- 2 イラストレーション 4 冊
- 3 仮面 5 冊
- 4 近代画説 1 冊
- 5 芸術新潮 12 冊
- 6 ジャポニスム研究 35 冊
- 7 新建築 12 冊
- 8 西洋美術研究 1 冊
- 9 版画芸術 3 冊
- 10 美術研究 3 冊
- 11 美術手帖 17 冊
- 12 美術フォーラム 21 2 冊
- 13 美之国 12 冊
- 14 +81 4 冊
- 15 炎芸術 6 冊

単行本 59 タイトル 66 冊

- 1 梅澤精一『増補 日本南画史』東方書院 1929 年
- 2 京都市立芸術大学『卒業制作 日本画聚英』京都書院 1980 年
- 3 赤井達郎『京都の美術史』思文閣出版 1989 年
- 4 京都市立芸術大学『卒業制作 図案聚英』京都書院 1990 年
- 5 河北倫明『河北倫明美術時評集 5』思文閣出版 1992 年
- 6 鴻池樂斎『下村為山画集』思文閣出版 1994 年
- 7 幸野豊一『幸野楳嶺 本画篇・習画篇』藝艸堂 1995 年
- 8 木村重信『木村重信著作集』第 1 卷～第 8 卷 思文閣出版 1999～2004 年
- 9 中根勝『日本印刷技術史』八木書店 1999 年
- 10 廣田孝『竹内栖鳳 近代日本画の源流』思文閣出版 2000 年
- 11 山口靜一『フェノロサ社会論集』思文閣出版 2000 年
- 12 李禹煥『余白の芸術』みすず書房 2000 年
- 13 佐野真由子ほか『万国博覧会と人間の歴史』思文閣出版 2004 年
- 14 松岡智子『児島虎次郎研究』中央公論美術出版 2004 年
- 15 木下長宏『岡倉天心』ミネルヴァ書房 2005 年
- 16 京都国立近代美術館『村上華岳展』日本経済新聞社 2005 年
- 17 古田亮『狩野芳崖・高橋由一』ミネルヴァ書房 2006 年
- 18 苦木虎雄『鴎外研究年表』鴎出版 2006 年
- 19 エドモンド・ドウ・ヴァール『バーナード・リーチ再考 スタジオ・ポタリーと陶芸の現代』思文閣出版 2007 年
- 20 西原大輔『橋本関雪』ミネルヴァ書房 2007 年
- 21 林洋子『藤田嗣治 作品をひらく - 旅・手仕事・日本 -』名古屋大学出版会 2008 年
- 22 木々康子『林忠正-浮世絵を越えて日本美術のすべてを』ミネルヴァ書房 2009 年
- 23 島田康寛『甲斐庄楠音画集 ロマンチック・エロチスト』求龍堂 2009 年
- 24 『人物レファレンス事典 美術篇』日外アソシエーツ 2010 年
- 25 横尾忠則『横尾忠則全ポスター』国書刊行会 2010 年
- 26 稲賀繁美『東洋意識 夢想と現実のあいだー 1887-1953』ミネルヴァ書房 2012 年
- 27 清水恵美子『岡倉天心の比較文化史的研究—ボストンでの活動と芸術思想』思文閣出版 2012 年
- 28 スティーヴン・キャヴァリア『世界アニメーション歴史事典』ゆまに書房 2012 年
- 29 袖井林二郎『夢二 異国への旅』ミネルヴァ書房 2012 年
- 30 吉良智子『戦争と女性画家』ブリュッケ 2013 年
- 31 竹居明男『『日出新聞』記者金子静枝と明治の京都』芸艸堂 2013 年
- 32 植田彩芳子『明治絵画と理想主義 横山大観と黒田清輝をめぐって』吉川弘文館 2014 年
- 33 嘉納邦子、島田康寛『小磯良平全作品集（東京美術俱楽部カタログ・レゾネシリーズ）』求龍堂 2014 年
- 34 濱尾典昭ほか『谷中安規 モダンとデカダン』国書刊行会 2014 年
- 35 富坂賢ほか『通天閣日記 横山松三郎と明治初期の写真・洋画・印刷』思文閣出版 2014 年

- 36 長谷川章『絵画と都市の境界 タブローとしての都市の記憶』ブリュッケ 2014年
- 37 ハンス・プリンツホルン『精神病者はなにを創造したのか：アウトサイダー・アート／アール・ブリュットの原点』ミネルヴァ書房 2014年
- 38 古田亮『視覚と心象の日本美術史』ミネルヴァ書房 2014年
- 39 ラッファエレ・ミラーニほか『風景の美学』ブリュッケ 2014年
- 40 北澤憲昭『“列島”の絵画—「日本画」のレイト・スタイル』ブリュッケ 2015年
- 41 樋木野衣『日本美術全集 19 拡張する戦後美術』小学館 2015年
- 42 ジョン・V・マシュイカ『ビフォーザバウハウス』三元社 2015年
- 43 角田拓朗『五姓田義松史料集』中央公論美術出版 2015年
- 44 西村清和『分析美学基本論文集』勁草書房 2015年
- 45 蟹川順子『油彩への衝動』中央公論美術出版 2015年
- 46 池田祐子『ウィーン—総合芸術に宿る夢（西洋近代の都市と芸術）』竹林舎 2016年
- 47 河原典史ほか『メディアー移民をつなぐ、移民がつなぐ』クロスカルチャー出版 2016年
- 48 余和沙『美と大衆—ジャポニズムとイギリスの女性たち』ブリュッケ 2016年
- 49 島田康寛、前川公秀『浅井忠全作品集（東京美術俱楽部カタログ・レゾネシリーズ）』求龍堂 2016年
- 50 島本浣『日仏「美術全集」史—美術（史）啓蒙の200年』三元社 2016年
- 51 ジョセフ・アルバース『配色の設計—色の知覚と相互作用 Interaction of Color』ビー・エヌ・エヌ新社 2016年
- 52 ジルケ・フォン・ベルスヴォルト＝ヴァルラーべ『李禹煥 他者との出会い—作品に見る対峙と共存』みすず書房 2016年
- 53 瀬尾典昭『近代日本水彩画一五〇年史』国書刊行会 2016年
- 54 野田哲也『野田哲也全作品 1964-2016』阿部出版 2016年
- 55 針生一郎ほか『改訂版 戦争と美術 1937-1945』国書刊行会 2016年
- 56 ミン・ティアンボ『GUTAI: 周縁からの挑戦』三元社 2016年
- 57 李禹煥『出会いを求めて—現代美術の始源 [新版]』みすず書房 2016年
- 58 久留島典子ほか『文化財としてのガラス乾板—写真が紡ぎなおす歴史像』勉強出版 2017年
- 59 三上美和『原三溪と日本近代美術』国書刊行会 2017年

保存事業

作品・資料の状態調査、保存修復、保存環境の整備等

1 作品・資料の状態調査

- 展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、マウントや額裏板の改良・交換を中心に処置を進めた。

2 作品・資料の保存環境

- 展示室、収蔵庫等作品保管区画の温湿度観察
- 収蔵庫、展示資材倉庫等の清掃
- 総合虫害管理システム（IPM）により、外部の専門家に委託してモニタリングを館内 110 箇所で 4 回実施（5 月、8 月、11 月、2 月）。重点的に調査すべき 15 箇所で 8 回実施（4 月、6 月、7 月、9 月、10 月、12 月、1 月、3 月）
- 空気環境測定（収蔵庫・展示室・展示ケース内のホルムアルデヒド・酢酸・蟻酸を測定。6 月、12 月の 2 回）
- 展示室等のブンガノンによる燻蒸を実施（2 階・1 階・地下：2 月）
- 空中浮遊菌調査（収蔵庫・展示室など 25 箇所をエアーサンプラーにより採取、培養検査。6 月、12 月の 2 回）

3 作品・資料の保存修復

- 館外の保存修復専門家による状態調査を実施・記録し、修復が必要と判断された作品のうち、優先順位を考慮しながら保存修復処置を進めている。

- 1 北山清太郎（編）『現代の洋画』第 17 号 1913 年 冊子
- 2 清水武次郎 《白い花》 1960 年 膳写版、紙
- 3 清宮彬 《第三回草土社ポスター》 1916 年 木版、紙
- 4 清宮彬 《第五回草土社展覧会ポスター》 1917 年 木版、紙
- 5 清宮彬 《第六回草土社展覧会ポスター》 1918 年 木版、紙
- 6 逸見享 《詩人の家（萩原朔太郎の家）》 1936 年 木版、紙
- 7 南薰造 《風景》 木版、紙
- 8 南薰造 《浦の漁灯》 1913 年 木版、紙
- 9 マックス・クリンガー 《穏者の墓の傍らのジンプリチウス》 1881 年 銅版、紙

（主な処置内容）

ドライクリーニング、紙片除去、鉄サビ処置、粘着テープ除去、補修、補彩、フラットニング

4 作品・資料の管理

- 作品の状態調査、展示、貸出記録、台帳・データベースの管理を日常的に実施、更新処理を行っている。

5 作品・資料のデータ公開

- 展覧会出品目録、新収蔵作品目録を年報に掲載。

管理運営

組織



機構及び職員配置

館長：熊田 司
 副館長：雜賀 敏浩
 総務課 総務課長：稻葉 茂之
 主査：北村 利恵（和歌山県立博物館主査兼務）
 主査：福原 沙織（和歌山県立博物館主査兼務）
 主査：松山 公一（和歌山県立博物館主査兼務）
 副主査：湊 泰希（和歌山県立博物館副主査兼務）
 技術専門員：佐々木 利純（非常勤嘱託）
 教育普及課 教育普及課長：奥村 泰彦
 主査学芸員：奥村 一郎
 学芸員：青木 加苗
 学芸課 学芸課長：井上 芳子
 主任学芸員：植野 比佐見
 主査学芸員：宮本 久宣
 学芸員：藤本 真名美
 非常勤嘱託：5名、報酬職員（事務補助）：1名、賃金職員（監視）：13名

和歌山県立近代美術館協議会委員

任期 2 年：2014（平成 26）年 11 月 3 日～2016（平成 28）年 11 月 2 日、2016（平成 28）年 11 月 3 日～2018（平成 30）年 11 月 2 日（全員再任）

	氏名（○会長、○副会長）	役職 [備考]
○	榎本 長治	会社社長
	川瀬 和男	会社社長
○	酒井 哲朗 **	福島県立美術館 名誉館長
	清水 達三 *	日本画家、和歌山県美術家協会 会長
	建畠 哲 *	多摩美術大学 学長／埼玉県立近代美術館 館長
	谷奈々	（財）和歌山社会経済研究所 研究委員
	廣本 直子	紀の国トレイナート 主宰
	真砂 美香	紀の川市社会教育委員／わかやまメディアリテラシー研究会 代表
	宮本 信吾	和歌山市立雜賀崎小学校 校長／和歌山県美育連盟 副会長
	山脇佐江子 *	前姫路市立美術館 館長／独立行政法人国立美術館 監事
	雪山行二 *	富山県立近代美術館 館長
	渡部幹雄	和歌山大学附属図書館 館長

氏名五十音順、現在 委員 12 名

* は、和歌山県立近代美術館評価部会委員。** は部会長。現在委員 5 名

第 60 回和歌山県立近代美術館協議会

2016（平成 28）年 6 月 7 日午後 1 時 30 分より開催。2015（平成 27）年度事業報告、2016（平成 28）年度事業説明を受けて、当館の運営について協議が行われた。

第 61 回和歌山県立近代美術館協議会

2016（平成 28）年 8 月 31 日午後 2 時より開催。2017（平成 29）年度事業案についてなど、当館の運営について協議が行われた。

第 4 回和歌山県立近代美術館評価部会

2016（平成 28）年 6 月 7 日午後 3 時 30 分より開催。2015（平成 27）年度事業に関する美術館評価、及び 2016（平成 28）年度事業に関する美術館評価（目標設定の報告）などについて、評価が行われた。

安全と快適性

1 施設・設備の維持管理

1. 施設・設備の定期的な保守管理、日常的なメンテナンス、修繕、関係職員への教育等による安全確保
 - ・施設・設備の定期的な保守管理、日常のメンテナンスを行うと共に、経年劣化による修繕箇所を把握し、トイレ設備、屋根防水、空調設備等の修繕を予算の範囲内で実施したことにより安全確保を行った。
2. 施設・設備の改修や新たな整備
 - ・点字ブロック改修
 - ・空調設備及び照明器具の改修に向け財政当局と協議を行った。
3. 日常的なメンテナンス等による施設の美観の保持・衛生管理
 - ・日々メンテナンスを行い設備の保持、施設の美観等衛生管理を行った。
4. 長期修繕計画
 - ・長期修繕計画に基づき、修繕計画を行った。

2 快適性の向上

1. バリアフリー対策・ユニバーサルデザイン等の対応
 - ・点字ブロックの改修を行った。
2. 利用者に対する接遇
 - ・職員に対し、利用者への適切な対応をするよう指導した。
3. 快適性向上のための上記以外の取り組み
 - ・館内の美化および設備のメンテナンスなどに取り組んだ。

3 危機管理

1. 危機管理・防災体制
 - ・地震及び火災時の避難訓練を実施した。
2. 個人情報の保護・データ管理
 - ・講演会等の展覧会関連事業開催に伴う参加者及び学芸員育成にかかる実習生の情報管理を適切に行つた。

4 職員研修

- ・研修への参加には、できる限り対応したが、各職員 2 回以上は達成できなかった。

5 情報公開・利用者のニーズなどの把握

1. 使命、目標、計画などの方針の公開
 - ・和歌山県立近代美術館の使命を平成 28 年 3 月 4 日よりホームページで公開している。
2. 実績や評価結果の公開
 - ・平成 27 年度実績評価について、平成 28 年 10 月 1 日にホームページで公開した。
 - ・平成 28 年度実績評価について、ホームページ公開予定。
3. 入館者情報（年齢層・地域・情報入手手段等）の把握
 - ・アンケートにより入館者情報の把握を行つた。
4. 利用者の満足度・ニーズなどの把握
 - ・アンケートにより利用者の満足度・ニーズなどの調査を行つた。
5. 調査結果等を反映した運営
 - ・階段や床の汚れを清掃した。

2016（平成28）年度 展覧会入館者数

展 覧 会 名	特 別 展・企 画 展						常 設 展						第70回県展	第2回ジュニア県展		
	宇佐美圭司回顧展 (前年度より継続)		恩地孝四郎 叙情とモダン	なつやすみの美術館 きろくときおく	動き出す！絵画	泉茂 ハンサムな絵のつくりかた	合 計		コレクション展 (前年度より継続)		特集「ドローイング」	特集「薔薇色の鏡」	特集「群像」	合 計		
会 期	3月1日～3月31日 (参考)	4月1日～4月17日	4月29日～6月12日	7月2日～9月19日	11月19日～2017年1月15日	1月27日～3月26日		3月29日～3月31日 (参考)	4月1日～5月29日	6月7日～9月4日	9月13日～11月3日	11月19日～2017年1月15日	1月27日～3月31日		10月12日～16日、 19日～23日	10月26日～30日
日 数	27	15	39	69	45	51	219	3	51	78	45	45	55	274	10	5

有料

個 人	一 般	493	278	1199	1975	5125	717	9294	44	1187	2229	453	4137	694	8700	
	団 体		0	0	0	167	0	167	0	0	1	0	41	0	42	
	紀 陽	28	32	0	149	282	0	463	6	32	80	51	220	0	383	
	友 の 会	38	24	60	36	117	67	304	1	76	47	36	73	49	281	
	割 引	13	43	204	498	230	154	1129	1	230	533	158	333	158	1412	
大 学 生	大 学 生	41	16	82	153	146	76	473	6	70	154	26	112	77	439	
	団 体	0	0	0	158	0	0	158	0	0	183	0	0	0	183	
	紀 陽	2	0	31	10	18	2	61	0	32	12	2	15	2	63	
	割 引	5	1	10	41	2	5	59	0	8	42	33	3	5	91	
	小 計	620	394	1586	3020	6087	1021	12108	58	1635	3281	759	4934	985	11594	

無料

高 齢 者	369	179	938	600	5308	525	7550	42	844	772	601	3473	470	6160	
障 害 者	71	42	113	195	545	157	1052	8	132	219	99	341	132	923	
そ の 他	403	188	832	883	3379	552	5834	17	745	1076	265	1974	431	4491	
県内留学生	6	3	7	6	9	3	28	0	7	8	8	8	5	36	
高 校 生	18	6	45	366	436	45	898	7	46	385	30	240	44	745	
中 学 生	27	8	39	4174	214	28	4463	3	38	4177	82	145	27	4469	
小 学 生	23	11	163	665	613	56	1508	2	146	672	75	444	60	1397	
幼 児	25	21	50	210	273	43	597	3	55	213	40	190	41	539	
団 体	170	0	425	559	2149	775	3908	0	324	629	299	1167	799	3218	
小 計	1112	458	2612	7658	12926	2184	25838	82	2337	8151	1499	7982	2009	21978	3881 2417
合 計	1732	852	4198	10678	19013	3205	37946	140	3972	11432	2258	12916	2994	33572	3881 2417

有 料										合 計	
個 人					大 学 生						
一 般	団 体	紀 陽	友 の 会	割 引	大 学 生	団 体	紀 陽	割 引			
17994	209	846	585	2541	912	341	124	150	23702		

無 料										合 計
高 齢 者	障 害 者	そ の 他	県内留学生	高 根生	中 学 生	小 学 生	幼 児	団 体		
13710	1975	10325	64	1643	8932	2905	1136	7126	47816	

入館者数合計
71518

紀陽：紀陽文化財団の助成による入館者　その他：招待券、招待状、優待券による入館者　割引：メールマガジンなどの持参による入館者

関係法規・規則・規定等

○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和 45 年 10 月 6 日

和歌山県条例第 64 号

改正 平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

和歌山県立近代美術館設置及び管理条例 (平 6 条例 18・改称)

(設置)

第 1 条 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）を設置する。

(平 6 条例 18・一部改正)

(位置)

第 2 条 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目 4 番 14 号に置く。
(平 6 条例 18・一部改正)

(事業)

第 3 条 近代美術館は、第 1 条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。
- (2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平 6 条例 18・一部改正)

(使用料)

第 4 条 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例（昭和 22 年和歌山県条例第 28 号）の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

(委任)

第 5 条 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例は、昭和 45 年 11 月 2 日から施行する。

附 則 (平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和 45 年 10 月 22 日

和歌山県教育委員会規則第 20 号

改正 昭和 53 年 4 月 1 日教育委員会規則第 12 号
昭和 56 年 5 月 28 日教育委員会規則第 7 号
昭和 63 年 3 月 31 日教育委員会規則第 13 号
平成 元 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号
平成 6 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号
平成 13 年 3 月 30 日教育委員会規則第 11 号
平成 17 年 2 月 25 日教育委員会規則第 2 号
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 15 号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館管理規則

(目的)

第 1 条 この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例（昭和 45 年和歌山県条例第 64 号。以下「条例」という。）第 5 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

(開館時間)

第 2 条 近代美術館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。
2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

(休館日)

第 3 条 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 每週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日）
- (2) 年始（1 月 1 日から同月 3 日まで）
- (3) 年末（12 月 29 日から同月 31 日まで）
- (4) 前 3 号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日

2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第 1 号から第 3 号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

- 3 非常変災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。
- (1) 休館の期間
- (2) 非常変災その他急迫の事情の概要
- (3) その他必要と認める事項

(職員)

第 4 条 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

(課の設置及び所掌事務)

第 5 条 近代美術館に、次の課を置く。

- 総務課
- 教育普及課
- 学芸課

2 総務課においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 館長印、館印その他公印の管守に関する事。
- (2) 職員の身分、服務その他人事に関する事。
- (3) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関する事。
- (4) 予算、決算及び会計に関する事。
- (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関する事。
- (6) その他学芸課の主管に属しない事。

3 教育普及課においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 美術に関する知識の向上及び普及並びに美術の振興に関する事。
- (2) 学校等の教育、学術又は文化に関する諸施設に対する助言及び支援並びに当該施設との協力に関する事。
- (3) 国内外の美術館等関係諸団体との連絡及び協力に関する事。
- (4) 近代美術に関する展覧会、講演会及び研究会等の立案、調整及び実施に関する事。
- (5) 美術館活動（美術品等の展示及び収集並びに美術の普及活動等をはじめとして広く美術館において行う諸活動をいう。）に

係る調査研究に関すること。

4 学芸課においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 美術品及び美術に関する資料の収集、管理及び保存に関すること。
- (2) 近代美術に関する展覧会の立案、調整及び実施に関すること。
- (3) 近代美術に関する調査研究及び資料の刊行に関すること。
- (4) 近代美術館協議会に関すること。

(入館の拒絶、制限及び退館命令)

第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 伝染性疾患のある者
- (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
- (3) 館内の秩序を乱すと認められる者
- (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不適当と認めた者

2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。

(損害賠償の義務)

第7条 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第8条 この規則に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規則は、昭和 45 年 11 月 2 日から施行する。

附 則 (昭和 53 年 4 月 1 日教育委員会規則第 12 号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和 56 年 5 月 28 日教育委員会規則第 7 号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和 63 年 3 月 31 日教育委員会規則第 13 号)

この規則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成元年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号)

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 6 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号)

この規則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 13 年 3 月 30 日教育委員会規則第 11 号)

この規則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 17 年 2 月 25 日教育委員会規則第 2 号)

この規則は平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 15 号)

この規則は平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

○和歌山県博物館協議会条例

昭和 57 年 3 月 29 日
和歌山県条例第 11 号

改正 平成 24 年和歌山県条例 28 号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

和歌山県博物館協議会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 20 条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、15 人以内とする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

第5条 協議会に、会長及び副会長 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

第7条 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。

2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。

3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。

4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

付 則

この条例は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 24 年 3 月 23 日条例第 28 号)
この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

第7条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館（以下「美術館」という。）の運営の状況等を評価することを目的として、和歌山県立近代美術館評価部会（以下「部会」という。）を設置する。

（業務）

第2 条 部会の業務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 美術館の運営について評価する項目を定め、各項目について評価を行う。
- (2) 館長が行った新規採用学芸員に係る条件付き採用期間中の評価及び既存の学芸員に係る3年に1度の評価に関し、意見を述べる。

（委員）

第3 条 委員の定数は、5人以内とする。

- 2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長（以下「協議会会長」という。）が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。

（任期）

第4 条 委員の任期は、2年とし、再任することができる。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（部会長）

第5 条 部会に、部会長を置く。

- 2 部会長は、委員のうちから協議会会長が指名する。
- 3 部会長は、会務を総理する。ただし、部会長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

（会議）

第6 条 部会の会議は、美術館長（以下「館長」という。）が招集する。

- 2 部会の会議には、館長が、必要に応じて、委員ではない者の出席を求めることができる。

（庶務）

第7 条 委員会の庶務は、美術館において処理する。

（その他）

第8 条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、館長が定める。

○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和 46 年 10 月 12 日

和歌山県教育委員会規則第 26 号

改正 昭和 56 年 8 月 29 日教委規則第 15 号

平成元年 3 月 31 日教委規則第 8 号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

（目的）

第1 条 この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品（以下「美術品」という。）の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

（貸付）

第2 条 和歌山県立近代美術館長（以下「館長」という。）は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認めた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

○和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱
(平成元年8月1日教育長決定)
改正 平成 14 年 3 月 1 日

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱を次のように定める
和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

（目的）

第1 条 和歌山県博物館協議会条例(昭和 57 年和歌山県条例第 11 号)
第 7 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館（以下「美術館」という。）において収集する美術作品の選定に関する事務を適正かつ円滑に行うことの目的として、和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（業務）

第2 条 委員会は、美術館において収集する美術作品の選定に関する事項を審議する。

（構成）

第3 条 委員会は、委員 5 名以内をもって構成する。
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長（以下「協議会会長」という。）が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。
3 委員の任期は、2年とし、再任することができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第4 条 委員会に、委員長を置く。
2 委員長は、委員のうちから協議会会長が指名する。
3 委員長は、会務を総理する。ただし、委員長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

（会議）

第5 条 委員会の会議は、和歌山県立近代美術館長（以下「館長」という。）が招集する。
2 委員会の会議には、館長が、必要に応じて、委員ではない者の出席を求めることができる。

（庶務）

第6 条 委員会の庶務は、美術館において処理する。

（その他）

第7 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、館長が定める。

附 則

この要綱は、平成元年 8 月 1 日から施行する。

改正文 (平成 14 年教育長決定) 抄

この要綱は、平成 14 年 3 月 1 日から施行する。

○和歌山県立近代美術館評価部会設置要綱
平成 26 年 4 月 1 日施行
(目的)
第1 条 和歌山県博物館協議会条例(昭和 57 年和歌山県条例第 11 号)

- 2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

第3条 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所
- (2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量
- (3) 使用目的
- (4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要
- (5) 借受期間
- (6) 借受期間中における保管及び管理の方法
- (7) その他参考となる事項

(貸付承認)

第4条 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書(別記様式)を申請者に交付する。

(貸付期間)

第5条 美術品の貸付期間は、通常2月以内(以下「1期間」という。)とする。ただし、館長が必要と認めたときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(借受書等)

第6条 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

- (1) 借り受けた美術品の名称及び数量
- (2) 借受期間
- (3) 返納期日
- (4) 返納場所
- (5) 貸付条件に従う旨
- 2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があつたとき、これを行う。
- 3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換えに返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(遵守事項等)

第7条 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

- 2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。
- 3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(貸付料)

第8条 美術品の貸付料は、1点につき1期間3,090円とし、第5条ただし書の貸付期間の延長の場合にあっては、1月以内の延長期間については1,540円とし、1月を超える延長期間については3,090円とする。

- 2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することがある。
- 3 既納の貸付料は、これを返還しない。

(貸付けの取消し)

第9条 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることがある。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 和歌山県立美術館美術品貸付規程(昭和42年和歌山県教育委員会規則第22号)は、廃止する。

附 則(昭和56年8月29日教育委員会規則第15号)

この規則は、昭和56年9月1日から施行する。

附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

別記様式(第4条関係)

番号	年	月	日						
美術品貸付承認書									
殿									
和歌山県立近代美術館長									
年月日									
年月日まで									
記									
1 貸付品	種別	作者名	題名						
	材質	形状	製作年						
2 貸付期間	年	月	日から	年	月	日まで			
3 貸付料	金	円	上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。						
4	美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受者において負うものとする。								
5	美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引換えに引き渡すものとする。								
6	その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。								

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和46年10月12日

和歌山県教育委員会告示第12号

改正 平成6年3月31日教委告示第1号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

第2条 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあつたときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれを無償で受託するものとする。

(寄託)

第3条 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第1号

様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならぬ。

(受入れ及び返還)

- 第4条** 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第2号様式による受託証書を交付するものとする。
- 2 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の1月前に別記第3号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。
 - 3 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。
 - 4 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

- 第5条** 寄託期間は、3年とする。ただし、館長が必要と認めたときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。
- 2 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

- 第6条** 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、又は所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出て、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

- 第7条** 受託証書を失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

- 第8条** 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(補則)

- 第9条** この規程に定めるもののほか美術品の寄託に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会告示第1号)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

別記第1号様式(第3条関係)

美術作品保管依頼書

種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製 作 年 月 日	
附 属 品	
作 品 の 所 在 地	
寄 託 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで

上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し入れます。

年 月 日
和歌山県立近代美術館長 殿

住所
氏名 印
記

- 1 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。
- 2 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。
- 3 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。

別記第2号様式(第4条関係)

文書番号
年 月 日
受託証書

作品名	年 月 日 から
附属品	年 月 日 まで
寄託期間	

上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。

年 月 日
住所
氏名 様 印
和歌山県立近代美術館長

返還請求書

作品名

附属品

寄託期間

年 月 日から
年 月 日まで

上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。

年 月 日

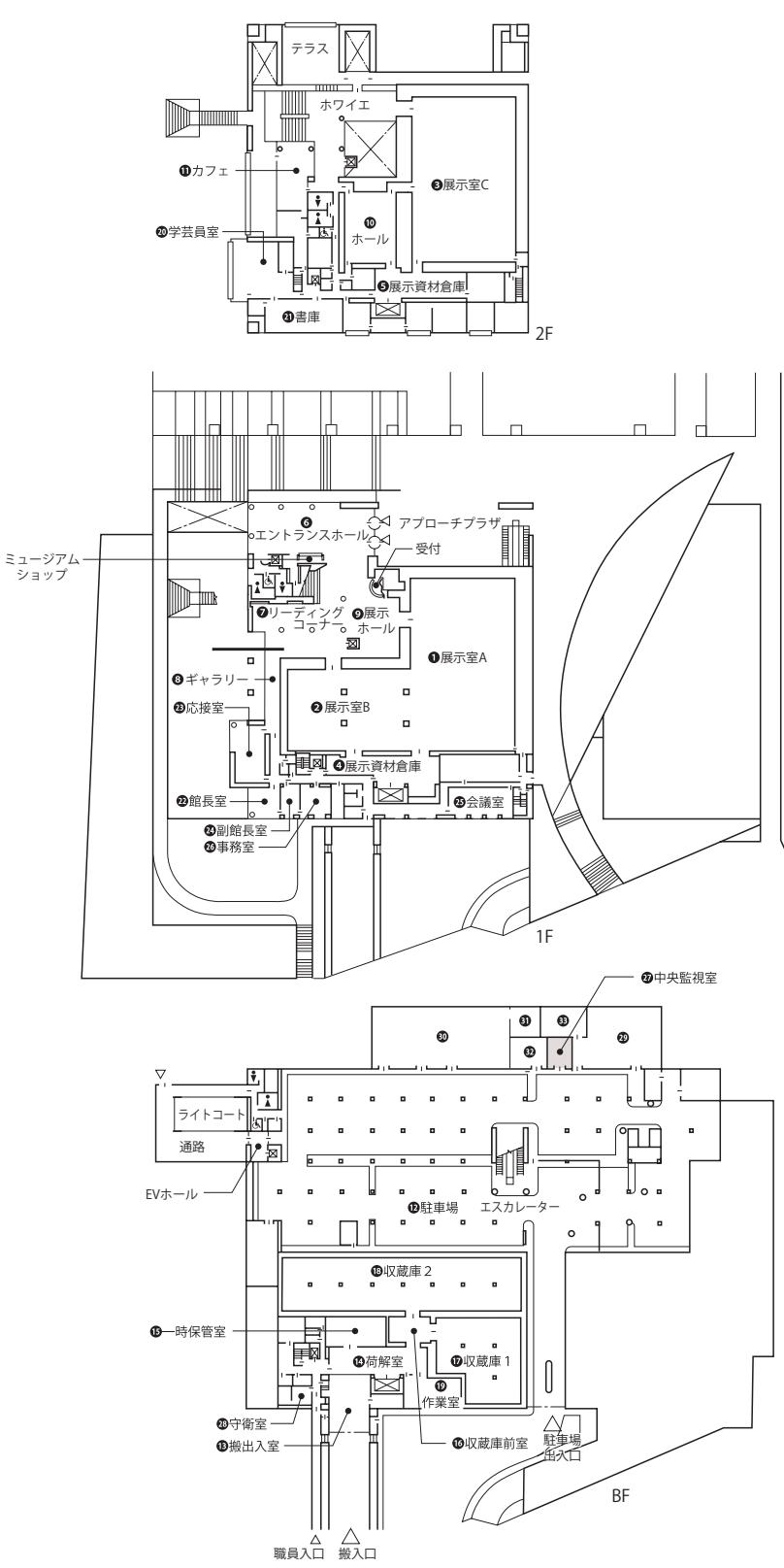
和歌山県立近代美術館長 殿

住所

氏名

(印)

建築概要



部門別面積表

部門	室名	面積 (m ²)
展示部門		
①	展示室 A	1,057.0
②	展示室 B	486.1
③	展示室 C	1,038.6
④	展示資材倉庫 (1F)	136.2
⑤	展示資材倉庫 (2F)	121.5
	(小計)	2,839.4
サービス部門		
⑥	エントランスホール	402.2
⑦	リーディングコーナー	217.8
⑧	ギャラリー	46.9
⑨	展示ホール	134.0
⑩	ホール	181.5
	ホール前室、映写室、控室 A、倉庫	74.6
⑪	カフェ	105.1
	厨房	62.0
	テラス	217.9
	化粧室	181.9
⑫	駐車場	2,480.1
	EVホール、廊下、階段、その他	1,670.7
	(小計)	5,774.7
収蔵部門		
⑬	搬出入室	108.4
⑭	荷解室	130.0
⑮	一時保管室	81.0
⑯	収蔵庫前室	61.4
⑰	収蔵庫 1	342.5
⑱	収蔵庫 2	685.6
⑲	作業室	82.0
	(小計)	1,490.9
調査部門		
⑳	学芸員室、倉庫	123.2
㉑	書庫	113.1
	(小計)	236.3
管理部門		
㉒	館長室	
㉓	応接室	
㉔	副館長室	
㉕	会議室	
㉖	事務室	
㉗	中央監視室	
㉘	守衛室	
	控室 B	
	控室 C	
	控室 D	
	更衣室	
	救護室	
㉙	電気室	212.4
㉚	マシンルーム	364.9
㉛	消火ポンプ室	38.7
㉜	ハロンポンベ室	51.2
㉝	発電機室	58.1
	空調機械室	295.5
	倉庫、その他	31.1
	(小計)	1,496.6
	合計	11,837.9
階数		
2 F	各階面積	2,916.8
1 F		3,436.8
B F		5,484.3
	合計 (延床面積)	11,837.9

近代美術館・博物館 建築概要

所 在 地 和歌山市吹上一丁目 4 番 14 号
敷地面積 23,356.78m²
監 理 和歌山県土木部營繕課
設計監理 (株) 黒川紀章建築都市設計事務所
施 工 竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体
きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体
日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総 工 費 137 億 8086 万円
〔総事業費 192 億 633 万 1 千円 (用地費含む)〕
工事期間 1991 年 10 月～ 1994 年 3 月

建物概要

構 造 RC 造 (鉄筋コンクリート構造)
地上 2 階地下 1 階建
建築面積 7,087.17m²
(美術館部分 4,500.62m² 博物館部分 2,586.55m²)
延床面積 18,704.50m² (駐車場 3,460.40m² を含む)
(美術館部分 11,837.90m² 博物館部分 6,866.60m²)
仕 上 外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイド仕上、アルミカーテンウォール
屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え
庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイド仕上

設備概要

電気設備
受電設備 3φ3W6600V 60Hz
変圧器 1φ600KVA (うち美術館 300KVA 博物館 300KVA)
3φ1550KVA (うち美術館 900KVA 博物館 650KVA)
自家発電設備 ディーゼル機関 4 サイクル 440PS 1800rpm
3φ3W6600V 375KVA
蓄電池設備 キュービクル式直流電源装置
容量 300AH

空調設備
熱源設備 空気熱源熱回収型スクリュー式ヒートポンプ冷凍機
165RT+110RT
蓄熱槽 1560m³
排煙設備 自然排煙 + 機械排煙 6 系統 (うち美術館 4 系統 博物館 2 系統)

衛生設備
給水設備 受水槽 上水 10m³、雑用水 29m³
受水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備 汚水・雨水分流式 (公共下水道へ放流)
消防設備 ハロンガス消火 (収蔵部門各室・展示部門各室・書庫)
／屋内消火栓／スプリンクラー／消火器／泡消火 (駐車場)
自動火災報知設備 (館内守衛室にて集中管理)
煙感知器 光電式スポット型 美術館 239 台 博物館 139 台
熱感知機 差動スポット型 美術館 91 台 博物館 52 台
定温スポット型 美術館 17 台 博物館 13 台

防災・防犯設備 (館内守衛室にて集中管理)
受信盤 複合 GR 型 1020 回線
ITV 監視装置、防災アンプ (720W)
監視カメラ 美術館 29 台 (うち展示室 9 台) 博物館 15 台 (うち展示室 6 台)
防犯センサー

展示・保存環境

		面積	床材	天井高
展示部門	展示室 A ケース	1,057.0m ² L13,706 × D1,200 × H3,372 + L31,070 × D1,200 × H3,372 (mm)	ナラフローリング	5m
	展示室 B	486.1m ²	同上	4m
	展示室 C ケース	1,038.6m ² L25,211 × D1,200 × H3,372 (mm)	同上	5m
	1F 展示資材倉庫	136.2m ²	ビニアスタイル	4m
	2F 展示資材倉庫	121.5m ²	同上	4m
収蔵部門	収蔵庫 1 (立体) 収蔵庫 2 (平面) 前室 一時保管室 作業室 荷解室 搬出入口	342.5m ² 685.6m ² 61.4m ² 81.0m ² 82.0m ² 130.0m ² 108.4m ²	耐水合板下地 ブナフローリング 同上 モザイクパーチェット ビニアスタイル 同上 モルタル金ゴテ／エポキシ系塗床	4m 4m 4m 4m 5.8m 5.8m 4.8m
展示照明	ハロゲンダウンライト／蛍光灯 (着脱式) ／スポットライト (着脱式) すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能			
空調	展示室 収蔵庫 展示室 収蔵庫	2 系統 2 系統 設定温度 通年 22°C 設定湿度 通年 55% 設定温度 通年 22°C 設定湿度 通年 55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量 3.0 トン H3,000 × W5,000 × D2,500 (mm)			

案内

利用案内

- 開館時間 9:30 ~ 17:00 (入場は 16:30 まで)
 休館日 毎週月曜日 (祝日のときはその翌平日)
 年末年始 (12 月 29 日 ~ 1 月 3 日)
 展示替え期間
 駐車場 有料 (90 台収容)

交通案内

JR 和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約 10 分
 「県庁前」下車、徒歩 2 分
 (和歌山城の南、県庁前交差点すぐ)



2016(平成28)年度 和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2018

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337

2018(平成30)年3月31日発行

印刷 株式会社 協和

